

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2001 年 10 月 11 日 (11.10.2001)

PCT

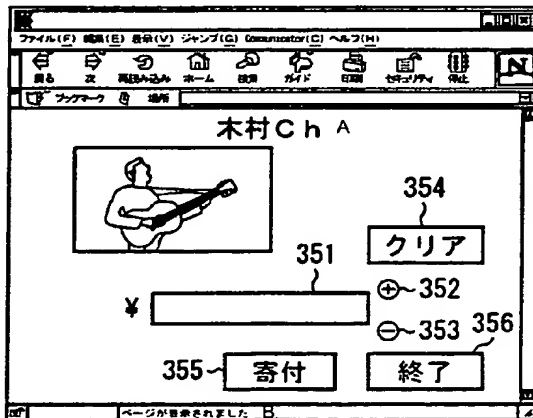
(10) 国際公開番号
WO 01/75714 A1

- (51) 国際特許分類: G06F 17/60
- (21) 国際出願番号: PCT/JP01/02407
- (22) 国際出願日: 2001 年 3 月 26 日 (26.03.2001)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願2000-97884 2000 年 3 月 30 日 (30.03.2000) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): ソニー株式会社 (SONY CORPORATION) [JP/JP]; 〒141-0001 東京都品川区北品川6丁目7番35号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者; および
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 吉峯幸郎 (YOSHIMINE, Takao) [JP/JP]; 筒井基次 (TSUTSUI, Mototsugu) [JP/JP]; 末吉隆彦 (SUEYOSHI, Takahiko) [JP/JP]; 中村年範 (NAKAMURA, Toshinori) [JP/JP]; 花谷博幸 (HANAYA, Hiroyuki) [JP/JP]; 内山信幸 (UCHIYAMA, Nobuyuki) [JP/JP]; 〒141-0001 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 弁理士 田辺恵基 (TANABE, Shigemoto); 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1丁目11番11-508号 グリーンファンタジアビル5階 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (国内): CA, CN, KR, US.

[続葉有]

(54) Title: DONATION PROCESSING SYSTEM

(54) 発明の名称: 寄付処理システム



A... KIMURA (NAME OF PERSON) CHANNEL
354... CLEAR
355... DONATION
356... END
B... PAGE DISPLAYED

(57) Abstract: A donation processing system which generates donation data of a specified amount of money corresponding to donation buttons selected from within a contents display screen, and transmits the donation data to an ASP control server via the Internet to thereby enable a donation to a contents producer to be indirectly conducted via the ASP control server in the form of donation data corresponding to the contents.

(57) 要約:

本発明は、コンテンツ表示画面の中から選択された寄付ボタンに対応した所定金額の寄付データを生成し、当該寄付データをインターネットを介してASPの管理サーバに送信することにより、当該ASPの管理サーバを介してコンテンツ制作者側に対する寄付行為をコンテンツに対応した寄付データとして間接的に行うことができる。



WO 01/75714 A1



(84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR).

— 補正

添付公開 類:
— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

明 細 書

寄付処理システム

技術分野

本発明は寄付処理装置、寄付処理方法、寄付受付装置、寄付受付方法、プログラム格納媒体及び寄付処理システムに関し、例えばインターネットを介してコンテンツを提供するコンピュータネットワークシステムに適用して好適なものである。

背景技術

従来、コンピュータネットワークシステムにおいて、例えば個人が作成した映像及び又は音声からなるコンテンツをインターネットを介して提供する場合、ユーザはパーソナルコンピュータを使用して作成した個人のホームページを開設することが一般的に行われている。

このように個人のホームページを開設する場合、ユーザはパーソナルコンピュータを介してホームページ作成プログラムを入手し、当該ホームページ作成プログラムに基づいて複数のコンテンツとハイパーリンクしたホームページを制作し、これをインターネットサービスプロバイダ（以下、これをISPと呼ぶ）のサーバに蓄積しておく。

そしてISPは、インターネットを介してアクセスしてきたクライアントに対してサーバからホームページを提供し、そのホームページ上のアンカーがクリックされた場合、ハイパーリンクされたコンテンツを続いて提供するようになされている。

ところでかかる構成のコンピュータネットワークシステムにおいては、コンテンツの提供を受けたクライアントが、そのコンテンツに対して感動や共感を覚え

たり、もしくはコンテンツが優れていると感じた場合、そのコンテンツ制作者に対する感想を電子メールで送信することはできるが、クライアントからコンテンツ制作者に対して寄付を行うことは困難であった。

発明の開示

本発明は以上の点を考慮してなされたもので、コンテンツ制作者に対して寄付行為を容易に実行し得る寄付処理装置、寄付処理方法、寄付受付装置、寄付受付方法、プログラム格納媒体及び寄付処理システムを提案しようとするものである。

かかる課題を解決するため本発明においては、コンテンツ提供装置からネットワークを介して供給されたコンテンツの画像データを受信し、当該画像データに基づいて所定の寄付ボタンが設けられたコンテンツ表示画面を表示し、当該コンテンツ表示画面の中から寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応した所定金額の寄付データを生成し、当該寄付データをネットワークを介してコンテンツ提供装置に送信するようにする。

本発明によれば、コンテンツ表示画面の中から選択された寄付ボタンに対応した所定金額の寄付データを生成し、当該寄付データをネットワークを介してコンテンツ提供装置に送信することにより、当該コンテンツ提供装置を介してコンテンツ制作者に対する寄付行為をコンテンツに対応した寄付データとして間接的に行うことができる。

また本発明においては、供給したコンテンツに対する評価としてユーザが任意に決定した金額の寄付データを当該ユーザの端末装置から受信し、寄付データをコンテンツに対応付けて記憶し、寄付データに応じた金額をユーザに対して課金するようにする。

本発明によれば、供給したコンテンツに対する評価としてユーザが任意に決定した金額の寄付データを当該ユーザの端末装置から受信してコンテンツに対応付けて記憶すると共に、寄付データに応じた金額をユーザに対して課金することに

より、コンテンツ制作者に対する寄付処理及びユーザに対する課金処理を同時に行って寄付受付処理を実行することができる。

さらに本発明においては、要求に応じてコンテンツを提供するコンテンツ提供装置と、当該コンテンツ提供装置からネットワークを介して供給されたコンテンツを受け当該コンテンツの制作者に対して寄付を行う寄付処理装置とによって構成される寄付処理システムにおいて、寄付処理装置は、コンテンツ提供装置からネットワークを介して供給されたコンテンツの画像データを受信する受信手段と、当該受信手段によって受信した画像データに基づいて所定の寄付ボタンが設けられたコンテンツ表示画面を表示する表示手段と、コンテンツ表示画面の中から寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応した所定金額の寄付データを生成する寄付データ生成手段と、当該寄付データ生成手段によって生成された寄付データをネットワークを介してコンテンツ提供装置に送信する送信手段とを具え、コンテンツ提供装置は、寄付処理装置からネットワークを介して送信された寄付データを受け、当該寄付データをコンテンツに対応付けて記憶する記憶手段と、寄付データに応じた金額を寄付処理装置のユーザに対して課金する課金処理手段とを設けるようにする。

本発明によれば、コンテンツ表示画面の中から選択された寄付ボタンに対応した所定金額の寄付データを生成し、当該寄付データをネットワークを介してコンテンツ提供装置に送信し、当該寄付データを受信してコンテンツに対応付けて記憶すると共に、寄付データに応じた金額をユーザに対して課金することにより、コンテンツ制作者に対する寄付行為をコンテンツに対応した寄付データとして間接的に行うことができる。

図面の簡単な説明

図 1 は、インターネットを利用した電子商取引の原理の説明に供する略線図である。

図 2 は、第 1 の実施の形態におけるコンテンツ提供システムの構成を示す略線

的ブロック図である。

図3は、ユーザPCの構成を示す略線的ブロック図である。

図4は、デスクトップ画面を示す略線図である。

図5は、ユーザ情報登録画面を示す略線図である。

図6は、ユーザ情報ファイルを示す略線図である。

図7は、コンテンツ提供プロバイダの構成を示す略線的ブロック図である。

図8は、ASPの管理サーバによるユーザ登録手続き処理手順を示すフローチャートである。

図9は、ユーザ情報DBに登録されたユーザ情報DBテーブルの内容を示す略線図である。

図10は、キャプチャ画面を示す略線図である。

図11は、確認画面を示す略線図である。

図12は、編集画面を示す略線図である。

図13は、オンデマンド型パーソナルキャスティング制御画面を示す略線図である。

図14は、プルダウンメニューを示す略線図である。

図15は、マイチャンネルジャンル表画面を示す略線図である。

図16は、コーデック選択画面を示す略線図である。

図17は、オンデマンド型提供スケジュール管理画面を示す略線図である。

図18は、CM提供リクエスト画面を示す略線図である。

図19は、CMリンク設定画面を示す略線図である。

図20は、コンテンツID設定画面を示す略線図である。

図21は、オンデマンド型提供スケジュールコントロールファイルの内容を示す略線図である。

図22は、オンデマンド型におけるASPへのコネクト処理手順を示すフローチャートである。

図23は、提供スケジュールの確認及び変更処理手順を示すフローチャートで

ある。

図 2 4 は、オンデマンド型のキャストイング処理手順を示すフローチャートである。

図 2 5 は、パーソナルキャストイングサービスのホームページ画面を示す略線図である。

図 2 6 は、マイチャンネル用のジャンル表画面を示す略線図である。

図 2 7 は、映像ジャンル「車」に関するチャンネル表示画面を示す略線図である。

図 2 8 は、選択されたチャンネルボタンに対応するコンテンツが表示されたコンテンツ表示画面を示す略線図である。

図 2 9 は、ライブ型パーソナルキャスト制御画面を示す略線図である。

図 3 0 は、ライブ型提供スケジュール管理画面の表示処理手順を示すフローチャートである。

図 3 1 は、パブリックチャンネル用のライブ型提供スケジュール管理画面を示す略線図である。

図 3 2 は、ライブ型提供スケジュールコントロールファイルの内容を示す略線図である。

図 3 3 は、予約処理手順を示すフローチャートである。

図 3 4 は、マイチャンネル用のライブ型提供スケジュール管理画面を示す略線図である。

図 3 5 は、マイチャンネル用のライブ型提供スケジュールコントロールファイルの内容を示す略線図である。

図 3 6 は、予約不能メッセージ表示画面を示す略線図である。

図 3 7 は、ライブ型における A S P へのコネクト処理手順を示すフローチャートである。

図 3 8 は、ライブ型でマイチャンネルを介して行うキャストイング処理手順を示すフローチャートである。

図 3 9 は、マイチャンネル用のライブ映像スケジュール表示画面を示す略線図である。

図 4 0 は、選択されたチャンネルボタンに対応するライブ映像のコンテンツが表示されたコンテンツ表示画面を示す略線図である。

図 4 1 は、ライブ型でパブリックチャンネルを介して行うキャスティング処理手順を示すフローチャートである。

図 4 2 は、パブリックチャンネル用のチャンネル表示画面を示す略線図である。

図 4 3 は、パブリックチャンネル用のライブ映像スケジュール表示画面を示す略線図である。

図 4 4 は、音楽ライブチャンネルで選択されたライブ映像のコンテンツが表示されたコンテンツ表示画面を示す略線図である。

図 4 5 は、寄付金額選択画面を示す略線図である。

図 4 6 は、寄付金額を直接入力可能なコンテンツ表示画面を示す略線図である。

図 4 7 は、寄付確認画面を示す略線図である。

図 4 8 は、寄付処理終了画面を示す略線図である。

図 4 9 は、クレジットカード番号入力画面を示す略線図である。

図 5 0 は、CM映像付コンテンツの提供処理手順を示すフローチャートである。

図 5 1 は、利益還元処理手順を示すフローチャートである。

図 5 2 は、第 2 の実施の形態におけるネットワークシステムの全体構成を示す略線図である。

図 5 3 は、カメラ付デジタル携帯電話機の外観構成を示す略線的斜視図である。

図 5 4 は、カメラ部を回動したときの表示部を示す略線的斜視図である。

図 5 5 は、カメラ付デジタル携帯電話機の回路構成を示すブロック図である。

。 発明を実施するための最良の形態

以下図面について、本発明の実施の形態を詳述する。

(1) インターネットを利用した電子商取引の原理

インターネットは、多数のコンピュータを通信リンクを介して相互に接続することにより構築したコンピュータネットワークであり、コンピュータ間で電子メール、ゴファー (Gopher) 及びWWW (World Wide Web) 等の各種サービスを利用して情報を送受信し得るようになされている。

すなわち図1に示すように、インターネット300を介してクライアントPC (Personal Computer) 302-1~302-NへWWW等の各種サービスを提供するWWWサーバ301 (WebサーバやWebサイト等とも呼ばれている) は、図形や画像等のグラフィックス情報によって構成されるWebページを内部のハードディスクに格納している。

このWWWサーバ301やWebページ等のWWW上で用いられる各リソースは、インターネット300上で識別するためのアドレッシング技術であるURL (Uniform Resource Locator) によって一意的に認識可能となっている。

従って、インターネット300に接続されているクライアントPC 302-1~302-Nは、HTTP (Hyper Text Transfer Protocol) 等の所定の転送プロトコルで例えば閲覧を希望するWebページのURLがユーザによって指定されると、当該URLに従ってWWWサーバ301にWebページの閲覧要求を行う。

そしてクライアントPC 302-1~302-Nは、WWWサーバ301に対して閲覧要求した結果、当該WWWサーバ301から送信されたWebページを受信すると、内部のハードディスクに予め格納されたWWWブラウザを介して当該Webページを表示部に表示するようになされており、これによりユーザに対

してWebページを閲覧させ得るようになされている。

ここでWebページとしては、HTML (Hyper Text Markup Language) を使用して定義されているものが代表的であり、当該Webページを定義しているHTMLドキュメントには、Webページをどのように表示させるかを指定するためにHTMLで規定されたタグ（予約語）と呼ばれる記号が含まれている。

因みにHTMLドキュメントには、グラフィックス、コントロール及びその他の機能を表示する様々なタグが含まれていると共に、Webページの閲覧を要求するWWWサーバ301又は他のWWWサーバで利用できるWebページのURLをリンク先として指定することも可能になっている。

従ってWebページは、当該Webページの提供者が意図する表示方法でクライアントPC302-1～302-Nの表示部に表示されることになる。

ところで最近、インターネット300を利用した電子商取引に上述のWWWが用いられている。

この場合WWWサーバ301においては、販売対象の商品を電子的にリスト化した商品カタログで構成されるWebページを用意しており、顧客の閲覧要求に応じてそのWebページを当該顧客が所有するクライアントパーソナルコンピュータ302-1～302-Nに送信する。

これによりクライアントPC302-1～302-Nは、WWWサーバ301からインターネット300を介して受信したWebページを表示部に表示し、その結果、販売対象の商品カタログを顧客に閲覧させ得るようになされている。

クライアントPC302-1～302-Nは、表示部に表示した商品カタログのWebページ上で購入希望の商品がユーザによって指定されると、その旨をWWWサーバ301にインターネット300を介して通知する。

これを受けたWWWサーバ301は、クライアントPC302-1～302-Nに対して顧客情報を要求し、当該クライアントPC302-1～302-Nから商品を購入する顧客の氏名、顧客の所有するクレジットカード番号、商品の配

達先を示す住所等の顧客情報を受信する。

次にWWWサーバ301は、上述の顧客情報を受信すると、商品の注文確認用のWebページをクライアントPC302-1～302-Nに送信し、当該Webページ上で注文内容を顧客に確認させ、その後、商品の配送のスケジュールを調整する。

このようなインターネット300を利用した電子商取引においては、インターネット300を介して顧客に例えば音楽等の電子的なコンテンツを電子的に配送したり、配送業者等を利用して顧客に例えばパーソナルコンピュータ等の物理的な商品を配送する等して、種々の商品に対する電子商取引を実現し得るようになっている。

因みに、Webページを定義するものとしては、HTMLの他にXML (eXtensible Markup Language) と呼ばれるものがあり、当該XMLはHTMLと同様にタグを用いるものの、文書の構造やその意味を表現し得ると共に、文書型定義 (DTD: Document Type Definition) によりタグに対して階層構造やデータ型等の属性を指定することができる。

従ってWWWサーバ301においては、WebページがXMLを使用して定義されていれば、例えばデータベースに予め記憶している受注コード、商品コード、単価、数量等の情報処理用のデータを各種タグにそれぞれ埋め込むことができるので、Webページを閲覧用のみならず、そのタグに埋め込んだ情報処理用のデータを用いて受注計算等の情報処理を自動的に実行するために利用することもできる。

(2) 第1の実施の形態

図2において、1は全体としてインターネットを利用した電子商取引を実現する本発明の第1の実施の形態におけるコンテンツ提供システムを示し、コンテンツ制作者が使用するユーザPC (Personal Computer) 2と、

当該ユーザPC2によって制作されたコンテンツを蓄え、要求に応じて提供するコンテンツ提供プロバイダ3と、Webサイト上で指定したコンテンツの提供をコンテンツ提供プロバイダ3から受ける複数のクライアントPC4（4A～4N）と、コンテンツ制作者がユーザPC2を介してインターネット上でオンラインショッピングを行うためのオンライン通信販売会社6と、コマーシャル映像（以下、これをCM映像と呼ぶ）を作成し、当該CM映像をコンテンツ提供プロバイダ3からクライアントPC4へ提供するように依頼するコマーシャルクライアント（以下、これをCMクライアントと呼ぶ）7とが互いにインターネット5を介して接続されている。

このコンテンツ提供システム1は、ユーザPC2で制作された個人のコンテンツに対するクライアントPC4からのアクセス回数に応じて、コンテンツ提供プロバイダ3が受ける利益をコンテンツ制作者に正当に還元する（以下、これを利益還元と呼ぶ）システムであり、一段と優れたコンテンツの制作をコンテンツ制作者に促すと共に、Webサイトに対するクライアントPC4のアクセス回数を増加させることを目的とした、インターネット5上の全く新たなビジネスモデルを構築している。

ここで、破線で囲われたコンテンツ提供プロバイダ3、オンライン通信販売会社6及びCMクライアント7は互いに提携関係にあってビジネスアライアンス8を構築しており、コンテンツ制作者（ユーザPC2）に対して様々な形態で利益還元処理を行うようになされている。

なおオンライン通信販売会社6及びCMクライアント7は、オンライン通信販売管理装置及びCM提供サーバ装置をそれぞれ有しており、当該オンライン通信販売管理装置及びCM提供サーバ装置を介してコンテンツ提供プロバイダ3の制御サーバや管理サーバとそれぞれデータ通信し得るようになされている。

ここでオンライン通信販売管理装置は、インターネット5を介して接続を行うネットワークインターフェース、制御部、記憶部及び顧客管理データベース等の種々のオンライン通信販売に関するハードウェアで構成されており、CM提供サ

サーバ装置もインターネット5を介して接続を行うネットワークインターフェース、制御部、記憶部、CM映像提供サーバ及びCMクライアント7と契約関係にあるコンテンツ提供プロバイダ3の顧客管理データベース等のCM映像に関するハードウェアで構成されている。

(3) ユーザPCのユーザ登録手続き

このコンテンツ提供システム1においてユーザPC2は、まずコンテンツ提供プロバイダ3に対してユーザ登録手続きを行う必要があり、当該ユーザ登録手続きについて以下詳細に説明する。

図3に示すように、ユーザPC2はバス11を介してCPU10、ハードディスクドライブ(HDD)12、RAM(Random Access Memory)13、IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)1394インターフェース14、ネットワークインターフェース16及び液晶ディスプレイでなる表示部17が互いに接続されて構成されている。

このようなユーザPC2においては、HDD12に基本プログラムであるOS(Operating System)の他、各種アプリケーションソフトウェアが格納されており、これらのアプリケーションソフトウェアをRAM13上に適宜立ち上げて所定の処理を実行するようになされている。

すなわちユーザPC2は、図4に示すようにOSを起動することにより表示部17に表示したデスクトップ画面19(マイクロソフト社のウィンドウズ画面)のオンラインサインアップアイコン20がコンテンツ制作者によってクリックされると、CPU10がHDD12から自動オンラインサインアップソフトウェアを立ち上げることにより、図5に示すようなユーザ情報登録画面21を表示部17に表示する。

このユーザ情報登録画面21は、画面タイトルにもあるようにパーソナルキャスティングサービスを申し込む際のユーザ情報を登録するためのものであり、コ

ンテンツ制作者はこの画面に従って「氏名」、「住所」、「電話番号」、「電子メールアドレス」、「生年月日」、「クレジットカード番号」、「第1希望ユーザID」、「第2希望ユーザID」、「第3希望ユーザID」、「希望チャンネル名」、「パスワード」及び「パスワード確認」の入力を行い、最後に「申し込みサービス」を「使い放題コース」或いは「ビギナーコース」のいずれかから選択する。

ここでパーソナルキャスティングサービスとは、本発明のコンテンツ提供システム1において新たに開始するコンテンツの提供形態であり、オンデマンド型及びライブ型と呼ばれるコンテンツの提供形態が用いられ、その内容については後程詳細に説明する。

ユーザ情報登録画面21においては、コンテンツ制作者によって入力されたユーザ情報の内容を無効にするためのキャンセルボタン22と、コンテンツ制作者によって入力されたユーザ情報で申し込みを行うための申込みボタン23とが設けられている。

従ってユーザPC2のCPU10は、ユーザ情報の入力終了した後に申込みボタン23がクリックされると、図6に示すようにユーザ情報登録画面21（図5）と同一内容のユーザ情報ファイル25を作成し、これをネットワークインターフェース16（図3）からインターネット5（図2）を介してコンテンツ提供プロバイダ3に所定のプロトコルで送信すると共に、HDD12にユーザ情報ファイル25を書き込んで記憶しておく。

コンテンツ提供プロバイダ3は、図7に示すようにユーザPC2をインターネット5に接続するためのインターネットサービスプロバイダ（以下、これをISPと呼ぶ）31と、ユーザPC2から供給されたコンテンツを蓄積し、クライアントPC4からの要求に応じて提供するアプリケーションサービスプロバイダ（以下、これをASPと呼ぶ）32とから構成されている。

ISP31は、全体を統括管理する制御サーバ33と、ユーザPC2に対する課金管理を行う課金管理データベース34と、インターネット5を介してユーザPC2とのネットワーク接続を行うネットワークインターフェース35とが互い

にLAN (Local Area Network) 42を介して接続されており、制御サーバ33の制御に基づいて課金管理及びネットワーク制御を行うようになされている。

ASP 32は、全体を統括管理するための管理サーバ36と、ユーザPC 2のユーザ情報ファイル25を管理するためのユーザ情報データベース37と、コンテンツの提供スケジュールを管理するための提供スケジュール管理データベース38と、コンテンツの蓄積及び提供を行うためのコンテンツサーバ39と、コンテンツの視聴者であるクライアントPC 4 (ビューワー) に関するビューワー情報を管理するためのビューワー情報データベース40と、CMクライアント7から供給されたCM映像をCM映像ID (Identification) に対応させて蓄積管理するためのCM管理データベース44とが互いにLAN 43を介して接続されており、管理サーバ36の制御に基づいてユーザ情報管理、提供スケジュール管理、コンテンツの蓄積提供処理、ビューワー情報管理及びCM提供管理を行うようになされている。

このコンテンツ提供プロバイダ3は、ユーザ登録手続きの際にユーザPC 2から送信されたユーザ情報ファイル25をISP 31のネットワークインターフェース35及びASP 32のネットワークインターフェース41を介して管理サーバ36で受け取る。

ASP 32の管理サーバ36は、ユーザ情報ファイル25を受け取ると、内部のハードディスクから立ち上げたユーザ登録手続プログラムに従って、図8に示すルーチンRT 1の開始ステップから入ってステップSP 1に移る。

ステップSP 1においてASP 32の管理サーバ36は、ユーザPC 2から送信されたユーザ情報ファイル25の内容を読み出してクレジットカード番号の桁数をチェックし、正しい桁数であったときには次のステップSP 2に移る。

なおASP 32の管理サーバ36は、クレジットカード番号が正しい桁数ではないとき、その旨をインターネット5を介してユーザPC 2に通知し、正しい桁数のクレジットカード番号を入力するように促す。

ステップS P 2においてA S P 3 2の管理サーバ3 6は、ユーザ情報データベース3 7にアクセスし、送られてきたユーザ情報ファイル2 5のクレジットカード番号が重複していないかどうかをチェックし、重複していない場合にのみ次のステップS P 3に移る。

ステップS P 3においてA S P 3 2の管理サーバ3 6は、ネットワークインターフェース4 1からインターネット5を介してクレジットカード会社の与信チェックサーバ2 6にアクセスし、そのクレジットカード番号が有効か否かの与信チェックを行い、当該クレジットカード番号が使用可能な状態であったときのみ次のステップS P 4に移る。

ステップS P 4においてA S P 3 2の管理サーバ3 6は、ユーザ情報データベース3 7に再度アクセスし、ユーザ情報ファイル2 5の第1～第3希望ユーザIDが既に使用されているか否かを調べ、第1～第3希望ユーザIDのいずれかが未だ使用されていない場合、次のステップS P 5に移る。

ステップS P 5においてA S P 3 2の管理サーバ3 6は、第1～第3希望ユーザIDのうち希望順位の高い未使用のユーザIDを選定し、当該ユーザIDに対応したURL (U n i f o r m R e s o u r c e L o c a t o r) を決定した後、ユーザ情報ファイル2 5に基づいて図9に示すようなユーザ情報DBテーブル4 5を生成し、これをユーザ情報データベース3 7に新たに登録し、次のステップS P 6に移る。

ここでユーザ情報データベース3 7に新たに登録されたユーザ情報DBテーブル4 5には、ユーザ情報ファイル2 5の内容に加えてユーザIDに対応して決定されたURL、利益還元を受けるときに必要なコンテンツ制作者が獲得した累積ポイント数、当該累積ポイント数に応じたユーザのランクを表すユーザステータス(ステージ1)、接続開始日時、接続終了日時、現時点のインターネット5に対するI S P 3 1のインターネット接続料及びA S P 3 2の申込みサービス(「使い放題コース」)に対するサービス利用料が新たに追加されている。

このようにA S P 3 2の管理サーバ3 6は、ユーザIDに対応したURLを決

定した後ユーザ情報データベース 37に登録することにより、個々のコンテンツ制作者が制作したコンテンツの動画ファイル(URL)に対応したコンテンツサーバ 39の予め決められた専用の記憶領域に占有的に書き込む権利を与えるようになされている。

またASP 32の管理サーバ 36は、ユーザ情報データベース 37のユーザ情報DBテーブル 45をコンテンツ制作者毎に管理するようになされており、クライアントPC 4からのアクセス回数に応じてコンテンツ制作者の累積ポイント数を増加して更新し、当該累積ポイント数に応じてコンテンツ制作者のユーザステータスを変更したり、接続開始日時、接続終了日時、現在のインターネット接続料及び申込みサービスに対するサービス利用料に関する種々のデータを逐次更新する。

因みにユーザステータスとは、累積ポイント数に応じたコンテンツ制作者に対する格付けで、低いほうから順にステージ1、ステージ2、プロフェッショナルステージと位置付けられるようになされている。従ってユーザステータスの高いコンテンツ制作者ほど、多くの利益還元を受けることが可能である。

ステップSP 6においてASP 32の管理サーバ 36は、選定したユーザIDと共に当該ユーザIDに対応したURLをネットワークインターフェース 41からインターネット 5を介してユーザPC 2に通知する。

このときASP 32の管理サーバ 36は、「ユーザIDに対応したURLに自動的に接続し、ユーザPC 2で制作されたコンテンツの動画ファイル(URL)に対応したコンテンツサーバ 39の専用の記憶領域に自動的に書き込む」ようにプログラムされた自動アップロードソフトウェアをシェアウェアとしてインターネット 5を介してユーザPC 2に対して供給するようになされている。

これによりユーザPC 2のCPU 10は、自動アップロードソフトウェアをインターネット 5を介してダウンロードし、当該自動アップロードソフトウェアに基づいてデスクトップ画面 19(図4)に自動アップロードソフトウェアのアップロードアイコン 27を表示する。

そしてユーザPC2のCPU10は、デスクトップ画面19のアップロードアイコン27がコンテンツ制作者によってクリックされると、自動アップロードソフトウェアに従ってインターネット5からISP31を経由してASP32に接続し、当該ASP32の管理サーバ36に対して「URLに対応するコンテンツサーバ39の専用の記憶領域にコンテンツの動画像ファイルを自動的に書き込む」指示を与えるようになされている。

これによりASP32の管理サーバ36は、ユーザPC2から供給されたコンテンツの動画像ファイルをURLに基づくコンテンツサーバ39の専用の記憶領域に書き込み、クライアントPC4からの要求に応じてコンテンツの動画像ファイルをコンテンツサーバ39の専用の記憶領域から読み出して提供することができる。

このようにユーザPC2のCPU10は、コンテンツ制作者によるユーザ情報の登録手続きによってユーザIDが選定されると共にURLが決定され、ASP32から自動アップロードソフトウェアをダウンロードしてしまえば、URLをコンテンツ制作者に意識させたり入力させることなく、アップロードアイコン27に対するクリック操作だけで、制作したコンテンツの動画像ファイルをコンテンツサーバ39の専用の記憶領域にアップロードすることを一段と容易に実行し得るようになされている。

この結果コンテンツ提供システム1においては、あたかも自分専用チャンネル（以下、これをマイチャンネルと呼ぶ）を介してコンテンツを提供する個人放送局を開設したかのようなシステムを構築し得るようになされている。

ステップSP7においてASP32の管理サーバ36は、ユーザ登録手続き処理を完了したので、ユーザ登録完了通知メールを作成し、これをネットワークインターフェース41からインターネット5を介してユーザPC2に送信し、次のステップSP8でユーザ登録手続き処理を全て終了する。

ところでASP32の管理サーバ36は、要求に応じて個人のユーザ情報DBテーブル45をビジネスアライアンスを構築しているISP31の制御サーバ3

3や、ユーザPC2からISP31のアクセスポイントまでの回線接続を行う電話会社（図示せず）及びオンライン通信販売会社6のオンライン通信販売管理装置に対して送信するようになされている。

この結果ISP31の制御サーバ33及びオンライン通信販売会社6のオンライン通信販売管理装置もユーザ情報DBテーブル45を保持することになる。

従ってユーザPC2は、ISP31、電話会社及びオンライン通信販売会社6のオンライン通信販売管理装置等にアクセスする都度、コンテンツ制作者に対して面倒な登録手続きを強いることがなく、最初に行ったユーザ登録手続き処理だけで済むようになされている。

因みにASP32の管理サーバ36は、ISP31の制御サーバ33、電話会社及びオンライン通信販売会社6のオンライン通信販売管理装置に対して個人のユーザ情報DBテーブル45の内容を送信することに関して、ユーザ登録手続きのときに予めコンテンツ制作者に対して承諾をとるようになされている。

（４） パーソナルキャストサービス形態

本発明のコンテンツ提供システム1においては、上述したようにパーソナルキャストサービスによるコンテンツの提供形態としてオンデマンド型とライブ型とがある。

オンデマンド型は、パーソナルキャストサービスのユーザ登録時に予めユーザPC2が取得したURLに対応するコンテンツサーバ39の専用の記憶領域に予めコンテンツを格納しておき、当該コンテンツサーバ39の専用の記憶領域を介して、要求のあったクライアントPC4に対してコンテンツを提供するサービス形態であり、あたかも個人放送局のように自分専用チャンネル（マイチャンネル）を介して要求のあったクライアントPC4にコンテンツを提供できるようにしたものである。

一方ライブ型は、不特定多数のパーソナルキャストサービスの登録ユーザだけが特定ジャンルの映像チャンネル（例えば結婚式チャンネル、音楽ライブ

チャンネル、演劇ライブチャンネル及びイベントライブチャンネル) 毎にURLで指定されたコンテンツサーバ39の専用の記憶領域を時間帯毎に区分けして共有使用し、当該コンテンツサーバ39の専用の記憶領域を介して、要求のあったクライアントPC4に対してライブ映像のコンテンツをストリーミング再生して送信することによりリアルタイムに提供するサービス形態である。

このようにライブ型は、特定ジャンルの映像チャンネル毎にURLで指定されたコンテンツサーバ39の専用の記憶領域に対する使用時間帯枠を予約することにより不特定多数の登録ユーザが自由にコンテンツを提供し得るようになされており、あたかも公共的な映像チャンネル(以下、これをパブリックチャンネルと呼ぶ)を介して要求のあったクライアントPC4にライブ映像のコンテンツを提供できるようにしたものである。

(5) オンデマンド型によるパーソナルキャスティングサービス

次に、コンテンツ提供システム1のオンデマンド型によるパーソナルキャスティングサービスの説明を具体的に行う。

(5-1) オンデマンド型のコンテンツ制作処理

ユーザPC2(図3)のCPU10は、まずHDD12から画像取込ソフトウェアを起動することにより、図10に示すようなキャプチャー画面50を表示部17に表示する。

この場合ユーザPC2のCPU10は、IEEE1394インターフェース14を介して接続されたデジタルビデオカメラ18と画像取込ソフトウェアによるキャプチャー画面50とを連動させるようになされており、コンテンツ制作者によるムービーモード切換ボタン53のクリック操作に応じてオンデマンドモードに設定する。

そしてユーザPC2のCPU10は、デジタルビデオカメラ18で撮影した映像をファインダ表示エリア51に表示してコンテンツ制作者に確認させると共

に、当該コンテンツ制作者によるキャプチャーボタン52のクリック操作に基づいてデジタルビデオカメラ18による収録を開始し、キャプチャーボタン52の再クリック操作に基づいて収録を終了する。

このときユーザPC2のCPU10は、キャプチャーボタン52のクリック操作に応じて収録したデジタルビデオカメラ18の動画像データをIEEE1394インターフェース14を介して取り込み、HDD12に一旦記録する。

次にユーザPC2のCPU10は、図11に示すように画像取込ソフトウェアに従って確認画面55を表示部17に表示する。この確認画面55には、HDD12に一旦記録した動画像データを再生して表示する映像表示エリア56、再生中の動画像データに対するタイムコードを表示するタイムコード表示エリア57、収録時の日付を表示する日付表示エリア58、動画像データに対する再生、停止、早戻し、早送り等の操作を行う操作ボタン59、動画像データの一部又は全部をHDD12から削除する削除ボタン60及びOKボタン61が設けられており、確認画面55上で収録した動画像データのシーンをコンテンツ制作者に対して確認させて所望のシーンだけを残すように編集し得るようになっている。

従って、収録した動画像データのシーンをコンテンツ制作者が確認画面55上で確認し編集した後、当該コンテンツ制作者がOKボタン61をクリックすると、ユーザPC2のCPU10は次にHDD12から編集ソフトウェアを起動することにより、図12に示すような編集画面65を表示部17に表示する。

この編集画面65には、デジタルビデオカメラ18で収録した動画像データの確認画面55を表示し得るようになされた3種類の確認画面表示エリア66～68と、3種類の動画像データに対する合成順序を決定するための順番ボタン69と、決定された合成順序で3種類の動画像データを合成するための合成ボタン70と、OKボタン71とが設けられている。

従ってユーザPC2のCPU10は、コンテンツ制作者による順番ボタン69のクリック操作によって3種類の動画像データに対する合成順序を決定し、合成ボタン70のクリック操作に応じて3種類の動画像データを合成順序に従って合

成することにより動画像ファイルを生成し、当該動画像ファイルをASP32のコンテンツサーバ39に蓄積するコンテンツとしてHDD12に一旦格納するようになされている。

(5-2) オンデマンド型のスケジュール予約

その後ユーザPC2のCPU10は、コンテンツ制作者によってOKボタン71がクリックされるか、デスクトップ画面19(図4)のアップロードアイコン27がクリックされると、ユーザ登録時にASP32から予めダウンロードした自動アップロードソフトウェアを起動し、図13に示すようなオンデマンド型パーソナルキャスト制御画面75を表示部17に表示する。

このオンデマンド型パーソナルキャスト制御画面75には、モード表示欄76に現在オンデマンドモードが設定されていることを示す「オンデマンド」の文字が表示され、ISP名表示欄77にISP31の会社名が自動的に表示されると共に、ASPチャンネル表示欄78にオンデマンドモードで自動的に設定される「マイチャンネル」の文字が表示される。

またオンデマンド型パーソナルキャスト制御画面75には、オプションボタン81が設けられており、当該オプションボタン81がコンテンツ制作者によってクリックされると、ユーザPC2のCPU10は自動アップロードソフトウェアに基づいて図14に示すようなプルダウンメニュー85をオンデマンド型パーソナルキャスト制御画面75に重ねて表示する。

このプルダウンメニュー85には、コンテンツ制作者が制作したコンテンツの映像ジャンルを指定するためのジャンル設定ボタン85A、要求のあったクライアントPC4に対してコンテンツを提供する際のコーデックを選択するコーデック選択ボタン85B、コンテンツの提供スケジュールをコンテンツ制作者によって自由に決定するためのスケジュール予約ボタン85C、コンテンツ制作者の希望によりコンテンツの先頭部分にCM映像を付加してクライアントPC4に提供するためのCM提供リクエストボタン85D、CM映像から例えばCM提供会社

のホームページにリンクするためのCMリンク設定ボタン85E及びコンテンツに対応したコンテンツIDを設定するためのコンテンツID設定ボタン85Fが設けられている。

このようなプルダウンメニュー85のうちジャンル設定ボタン85Aがコンテンツ制作者によってクリックされると、ユーザPC2のCPU10は自動アップロードソフトウェアに基づいて図15に示すようなマイチャンネルジャンル表画面90を表示部17に表示する。

マイチャンネルジャンル表画面90には、コンテンツの映像ジャンルをコンテンツ制作者が指定するために、映像カテゴリ毎にそれぞれ区分けされたカテゴリアイコン91～99が表示され、そのうちのいずれか（例えば「車」カテゴリアイコン92）がコンテンツ制作者によってクリックされると、ユーザPC2のCPU10はコンテンツの映像ジャンルを「車」として認識し、当該認識した結果をカテゴリデータとしてHDD12に一旦記憶する。

また、プルダウンメニュー85のうちコーデック選択ボタン85Bがコンテンツ制作者によってクリックされると、ユーザPC2のCPU10は自動アップロードソフトウェアに基づいて図16に示すようなコーデック選択画面100を表示部17に表示する。

このコーデック選択画面100では、クライアントPC4に対してコンテンツを提供する際のコーデックとして例えばMPEG (Moving Picture Experts Group) 4、MPEG 2及びReal G2等のいずれかから選択するようになされており、コンテンツ制作者によって例えばMPEG 4にチェックマークが付けられると、ユーザPC2のCPU10はコーデックの種類をMPEG 4であると認識し、当該認識した結果をコーデック種類データとしてHDD12に一旦記憶する。

さらに、プルダウンメニュー85のうちスケジュール予約ボタン85Cがコンテンツ制作者によってクリックされると、ユーザPC2のCPU10は自動アップロードソフトウェアに基づいて図17に示すようなオンデマンド型提供スケジ

ュール管理画面 105 を表示部 17 に表示する。

このオンデマンド型提供スケジュール管理画面 105 には、カレンダー表示エリア 106、映像リスト表示エリア 107、スケジュール内容表示エリア 108、決定ボタン 109、スケジュール内容確認ボタン 110 及びスケジュール内容更新ボタン 111 が設けられている。

このオンデマンド型提供スケジュール管理画面 105 のカレンダー表示エリア 106 において、コンテンツを提供する所望の提供日（例えば 2 月 19 日）がコンテンツ制作者のクリック操作によって選択されると、ユーザ PC 2 の CPU 10 はコンテンツ制作者が希望する提供日を 2 月 19 日であると認識し、その結果 2 月 19 日を提供日データとして HDD 12 に一旦記憶すると共に、スケジュール表示エリア 108 のタイトルに提供日（2 月 19 日）を自動的に書き込んで表示する。

そしてオンデマンド型提供スケジュール管理画面 105 のスケジュール内容表示エリア 108 において、所望の開始時刻と終了時刻に合わせてクリックすることにより時間帯指定バー 112 がコンテンツ制作者によって指定されると、ユーザ PC 2 の CPU 10 は開始時刻から終了時刻までの時間帯枠を認識すると共に時間帯指定バー 112 をコンテンツ制作者によって指定された時間帯枠毎に区分けして表示する。

すなわちスケジュール内容表示エリア 108 の時間帯指定バー 112 は、6 時から 6 時 59 分 59 秒までの第 1 の時間帯枠と、7 時から 7 時 59 分 59 秒までの第 2 の時間帯枠と、8 時から 8 時 59 分 59 秒までの第 3 の時間帯枠と、9 時から 10 時 59 分 59 秒までの第 4 の時間帯枠と、……、21 時から 21 時 59 分 59 秒までの第 5 の時間帯枠と、22 時から 23 時 59 分 59 秒までの第 6 の時間帯枠とに区分けされて表示される。

続いて、コンテンツ制作者がクリックすることにより時間帯指定バー 112 における所望の時間帯枠が選択され、映像リスト表示エリア 107 の中から所望の映像種類（例えば 4WD、スポーツカー、電気自動車）を示す種類記号（MA、

MB又はMC)がクリックされると、ユーザPC2のCPU10は選択された第1～第6の時間帯枠でそれぞれ提供するコンテンツの映像種類を種類記号(MA、MB又はMC)によって認識し、当該認識した種類記号を時間帯指定バー112の時間帯枠内にそれぞれ表示する。

そしてオンデマンド型提供スケジュール管理画面105で決定ボタン109がクリックされると、ユーザPC2のCPU10は時間帯指定バー112における第1～第6の時間帯枠毎に決められた映像種類でコンテンツを提供するように予約した提供スケジュールプログラムを生成し、これをHDD12に一旦記憶する。

すなわち提供スケジュールプログラムは、時間帯指定バー112における第1の時間帯枠の時刻でクライアントPC4から要求を受けると種類記号MAに該当する「4WD」のコンテンツを提供し、第2の時間帯枠の時刻でクライアントPC4から要求を受けると種類記号MBに該当する「スポーツカー」のコンテンツを提供し、第3の時間帯枠の時刻でクライアントPC4から要求を受けると種類記号MAに該当する「4WD」のコンテンツを提供し、第4の時間帯枠の時刻でクライアントPC4から要求を受けると種類記号MCに該当する「セダン」のコンテンツを提供し、第5の時間帯枠の時刻でクライアントPC4から要求を受けると種類記号MBに該当する「スポーツカー」のコンテンツを提供し、第6の時間帯枠の時刻でクライアントPC4から要求を受けると種類記号MAに該当する「4WD」のコンテンツを提供するようにプログラムされている。

さらに、プルダウンメニュー85(図14)のうちCM提供リクエストボタン85Dがコンテンツ制作者によってクリックされると、ユーザPC2のCPU10は自動アップロードソフトウェアに基づいて図18に示すようなCM提供リクエスト画面115を表示部17に表示する。

このCM提供リクエスト画面115には、自分のコンテンツの先頭部分にCM映像を付加してクライアントPC4に提供することを希望するか否かをコンテンツ制作者に対して問うためのCM希望ボタン115A及びCM非希望ボタン11

5 Bが設けられており、CM希望ボタン115 Aがコンテンツ制作者によってクリックされたときのみ、ユーザPC 2のCPU 10はコンテンツに対してCM映像を付加してもらうことを希望する旨のCM希望データを生成し、これをHDD 12に一旦記憶する。

さらに、プルダウンメニュー85のうちCMリンク設定ボタン85 Eがコンテンツ制作者によってクリックされると、ユーザPC 2のCPU 10は自動アップロードソフトウェアに基づいて図19に示すようなCMリンク設定画面116を表示部17に表示する。

このCMリンク設定画面116には、コンテンツの最初に付加したCM映像から例えばCM提供会社のホームページにリンクするアンカを設定するためのCMリンク有ボタン116 Aと、CM映像からのリンクを設定しないためのCMリンク無ボタン116 Bとが設けられており、CMリンク有ボタン116 Aがコンテンツ制作者によってクリックされたときのみ、ユーザPC 2のCPU 10はCM映像から所定のホームページにリンクするアンカの設定を希望する旨のCMリンクデータを生成し、これをHDD 12に一旦記憶する。

さらに、プルダウンメニュー85のうちコンテンツID設定ボタン85 Fがコンテンツ制作者によってクリックされると、ユーザPC 2のCPU 10は自動アップロードソフトウェアに基づいて図20に示すようなコンテンツID設定画面117を表示部17に表示する。

このコンテンツID設定画面117には、コンテンツID入力欄117 Aが設けられており、コンテンツ制作者によってコンテンツに対応した任意のコンテンツIDが入力されて実行キーが押下されると、ユーザPC 2のCPU 10はコンテンツIDを認識し、これをHDD 12に一旦記憶する。

このようにユーザPC 2のCPU 10は、パーソナルキャスト制御画面75のオプションボタン81をクリックすることにより表示されたプルダウンメニュー85に従ってコンテンツを提供する際の種々の条件を設定し、HDD 12に一旦記憶した種々の諸条件データ（カテゴリデータ、コーデック種類データ、提供ス

ケジュールプログラム、CM希望データ、CMリンクデータ及びコンテンツID)やユーザ登録手続き処理を行った際のユーザ情報ファイル25の内容に基づいて図21に示すようなオンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120を新たに生成し、これをHDD12に一旦記憶するようになされている。

すなわちHDD12に一旦記憶されたオンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120には、「ISP接続先」としてインターネット5に接続する際のISP名(*****)、「ASPチャンネル」としてASP32がコンテンツを提供する際のチャンネルタイプ(マイチャンネル)、「コンテンツID」としてコンテンツ制作者が決定したコンテンツID(***),「CODEC」として提供時のCODEC(MPEG4)、「映像ジャンル」として映像カテゴリ(車)、「提供スケジュール」として提供スケジュールデータの内容(2月19日6時から提供予定等の諸条件)、「CMリクエスト」としてCM提供リクエストの有無(CM有)、「CMリンク」としてCMリンクの有無(CMリンク無)、「ユーザID」としてユーザ登録時のユーザID(KimuKimu)、「パスワード」としてユーザ登録時のパスワード(*****)が格納されている。

従ってユーザPC2のCPU10は、オンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120に基づいてオンデマンド型パーソナルキャスト制御画面75(図13)の映像ジャンル表示欄79にコンテンツの映像カテゴリを表す「車」の文字を表示すると共に、提供スケジュール予約表示欄80にコンテンツの提供予定を表す「2月19日6時から提供予定」の文字を表示するようになされている。

なお、CMリンク設定及びコンテンツID設定はユーザPC2によりプルダウンメニュー85を用いて設定する旨説明したが、ASP32の管理サーバ36側で自動的に設定されるようにしても良い。

例えばCMリンク設定は、クライアントPC4により提供されることが決まったCMに対して、リンク指定がCMクライアント7によって予め行われているときは自動的にCMリンクが行われる。

また、例えば画像のアップロードが行われるとASP 32の管理サーバ36側で自動的にコンテンツIDが設定され、このIDによりASP 32の管理サーバ36上で管理されることも可能である。

(5-3) オンデマンド型におけるASPへのコネクト処理

次にユーザPC 2のCPU 10は、オンデマンド型パーソナルキャスト制御画面75 (図13) の内容がコンテンツ制作者によって確認され、当該コンテンツ制作者によってコネクトボタン82がクリックされると、自動アップロードソフトウェアに従って図22に示すルーチンRT 2の開始ステップから入ってステップSP 11に移る。

ステップSP 11においてユーザPC 2のCPU 10は、ネットワークインターフェース16 (図3) からインターネット5及びISP 31を介してASP 32にログインし、当該ASP 32のユーザ情報データベース37にアクセスしてユーザID、パスワード等を基に認証を得た後、次のステップSP 12に移る。

ステップSP 12においてユーザPC 2のCPU 10は、ASP 32の認証を得たので、HDD 12からオンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120とコンテンツの動画ファイルとを読み出した後、当該オンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120とコンテンツの動画ファイルとをネットワークインターフェース16からインターネット5、ISP 31のネットワークインターフェース35及びASP 32のネットワークインターフェース41を経由して管理サーバ36へ転送し、次のステップSP 13に移って処理を終了する。

このようにしてユーザPC 2のCPU 10は、自動アップロードソフトウェアに従ってオンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120及びコンテンツの動画ファイルをASP 32にアップロードし得るようになされている。

ASP 32の管理サーバ36は、ネットワークインターフェース41を介して

オンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120及びコンテンツの動画ファイルを受け取り、オンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120を提供スケジュール管理データベース38に登録し、コンテンツの動画ファイルをユーザPC2がユーザ登録時に取得したURLに対応するコンテンツサーバ39の専用の記憶領域に格納する。

なおASP32の管理サーバ36は、オンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120の内容としてCM提供リクエストが「CM有」の場合、CMクライアント7から予め供給されてCM管理データベース44に格納しておいたCM映像をコンテンツの動画ファイルの先頭部分に付加することによりCM付動画ファイルを生成し、これをコンテンツサーバ39に改めて格納しておくようになされている。

ところでISP31の制御サーバ33は、ユーザPC2がオンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120及びコンテンツの動画ファイルをASP32にアップロードしている間に発生するインターネット接続料をユーザPC2のユーザIDに対応付けて課金し、課金管理データベース34の課金データを更新する。

またASP32の管理サーバ36は、当該ASP32のサービス利用料をユーザPC2のユーザIDに対応付けて課金し、その課金データをネットワークインターフェース41及びISP31のネットワークインターフェース35を介して課金管理データベース34に送信し、課金管理データベース34の課金データを更新する。

因みにASP32の管理サーバ36は、ユーザPC2が「使い放題コース」と呼ばれる定額制のサービス契約がなされている場合、接続開始日時から接続終了日時までの接続時間をユーザ情報データベース37に記録するだけでサービス利用料は一定のままで課金処理は行わない。

ところで、オンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120及びコンテンツの動画ファイルのASP32に対するアップロードが終了した後、

オンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120の内容を確認したい場合、コンテンツ制作者はオンデマンド型提供スケジュール管理画面105（図17）のスケジュール内容確認ボタン110をクリックすれば良い。

このときユーザPC2のCPU10は、自動アップロードソフトウェアに従って図23に示すルーチンRT3の開始ステップから入ってステップSP15に移る。

ステップSP15においてユーザPC2のCPU10は、コンテンツ制作者によってスケジュール内容確認ボタン110がクリックされると、ネットワークインターフェース16（図3）からインターネット5及びISP31を介してASP32にログイン処理し、当該ASP32のユーザ情報データベース37にアクセスしてユーザID、パスワード等の認証を得、次のステップSP16に移る。

ステップSP16においてユーザPC2のCPU10は、ASP32の管理サーバ36によってユーザID、パスワード等の認証を得たので、提供スケジュール管理データベース38からオンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120の供給を受け、当該オンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120に基づいてオンデマンド型提供スケジュール管理画面105（図17）を表示部17に再度表示する。

このようにユーザPC2のCPU10は、オンデマンド型提供スケジュール管理画面105を表示部17の画面上に表示することにより、コンテンツ制作者に対してオンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120の内容を再度確認させ得るようになされている。

この後コンテンツ制作者が、オンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120の内容を変更しようとした場合、オンデマンド型提供スケジュール管理画面105上で提供スケジュールの変更が行われた後に決定ボタン109がクリックされると、ユーザPC2のCPU10は次のステップSP17に移る。

ステップSP17においてユーザPC2のCPU10は、オンデマンド型提供スケジュール管理画面105上で変更された内容に基づいて新たな提供スケジュー

ールプログラムを生成し、これを基に新たなオンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120を生成し、次のステップSP18に移る。

ステップSP18においてユーザPC2のCPU10は、オンデマンド型提供スケジュール管理画面105上の更新ボタン111がコンテンツ制作者によってクリックされると、新たなオンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120をインターネット5を介してASP32へ転送し、次のステップSP19に移って処理を終了する。

この結果ASP32の管理サーバ36は、新たなオンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120で提供スケジュール管理データベース38を更新し、以降この新たなオンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120に基づいてコンテンツの提供スケジュールを管理するようになされている。

(5-4) オンデマンド型におけるコンテンツの提供処理

クライアントPC4においても、コンテンツの提供を受けるに当たってユーザPC2と同様に、コンテンツ提供プロバイダ3に対してユーザ登録が可能であり、その場合にはルーチンRT1 (図8) のユーザ登録手続き処理手順に従ってユーザ登録手続きを行い、ASP32の管理サーバ36によってビューワー情報データベース40にクライアントPC4のユーザID及びパスワードに対応付けられたビューワー情報ファイルの登録が行われる。

またクライアントPC4は、ユーザ登録を行っていない場合にはビジターとしてASP32が提供するパーソナルキャスティングサービスのWebサイトに直接アクセスしてもよく、ユーザ登録したクライアントPC4に限っては感動や共感を覚えたり、あるいは優れていると感じたコンテンツのコンテンツ制作者に対して容易に寄付を行えるようになされている。この寄付に関しては後程説明する。

實際上、ASP32の管理サーバ36は、例えばユーザ登録を行ったクライアントPC4に対してオンデマンド型でコンテンツを提供する場合、内部のハード

ディスクから立ち上げたコンテンツ提供プログラムに従って図 2 4 に示すルーチン R T 4 の開始ステップから入ってステップ S P 2 1 に移る。

ステップ S P 2 1 において A S P 3 2 の管理サーバ 3 6 は、クライアント P C 4 からのログイン処理を受け、当該クライアント P C 4 から送られてきたユーザ I D 及びパスワードを基にビューワー情報データベース 4 0 のビューワー情報ファイルを参照し、次のステップ S P 2 2 に移る。

ステップ S P 2 2 において A S P 3 2 の管理サーバ 3 6 は、ユーザ I D 及びパスワードを基にビューワー情報データベース 4 0 のビューワー情報ファイルを参照した結果、ログインしてきたクライアント P C 4 が登録済の正規ユーザであるか否かを判定する。

ここで否定結果が得られると、このことはユーザ I D 及びパスワードがビューワー情報データベース 4 0 に登録されたものと一致しないことを表しており、このとき A S P 3 2 の管理サーバ 3 6 はステップ S P 2 1 に戻って、クライアント P C 4 に対して正確なユーザ I D 及びパスワードの入力を促してログイン処理を再実行させる。

これに対してステップ S P 2 2 で肯定結果が得られると、このことはクライアント P C 4 が登録済の正規ユーザであることを表しており、このとき A S P 3 2 の管理サーバ 3 6 は次のステップ S P 2 3 に移る。

ステップ S P 2 3 において A S P 3 2 の管理サーバ 3 6 は、クライアント P C 4 からのアクセスに応じてパーソナルキャッシングサービスにおけるホームページの HTML ファイルをコンテンツサーバ 3 9 から読み出し、これをネットワークインターフェース 4 1 からインターネット 5 を介してクライアント P C 4 へ送信する。

ここでクライアント P C 4 は、ユーザ P C 2 (図 3) とほぼ同一の構成を有し、A S P 3 2 から送られてきたパーソナルキャッシングサービスにおけるホームページの HTML ファイルを C P U (図示せず) が受け取り、これを図 2 5 に示すようなホームページ画面 1 2 5 (ネットスケープコミュニケーション社のネ

ットスケープナビゲータ画面) として表示部に表示する。

このホームページ画面 1 2 5 には、オンデマンドモード選択表示エリア 1 2 6 にマイチャンネルを介してコンテンツの提供を受けるためのオンデマンド型マイチャンネル選択ボタン 1 2 7 が設けられていると共に、ライブモード選択表示エリア 1 2 8 にライブ映像のコンテンツの提供をパブリックチャンネルを介して受けるためのライブ型パブリックチャンネル選択ボタン 1 2 9 と、ライブ映像のコンテンツの提供をマイチャンネルを介して受けるためのライブ型マイチャンネル選択ボタン 1 3 0 とが設けられている。

このホームページ画面 1 2 5 において、オンデマンド型マイチャンネル選択ボタン 1 2 7 がユーザによってクリックされると、クライアント P C 4 の C P U はオンデマンド型マイチャンネル選択ボタン 1 2 7 が選択されたことを示すモード選択信号をインターネット 5 を介して A S P 3 2 の管理サーバ 3 6 に送信する。

ステップ S P 2 4 において管理サーバ 3 6 は、クライアント P C 4 から送られたモード選択信号に基づいてコンテンツサーバ 3 9 からマイチャンネル用のジャンル表画面を構成する H T M L ファイルを読み出し、これをネットワークインターフェース 4 1 からインターネット 5 を介してクライアント P C 4 へ送信する。

これによりクライアント P C 4 の C P U は、A S P 3 2 から送られてきたマイチャンネル用のジャンル表画面の H T M L ファイルを受け取り、これを図 2 6 に示すようなマイチャンネル用のジャンル表画面 1 3 5 として表示部に表示する。

このマイチャンネル用のジャンル表画面 1 3 5 は、コンテンツ制作者がコンテンツの映像ジャンルを選択するときに用いたマイチャンネル用のジャンル表画面 9 0 (図 1 5) とほぼ同一内容であり、映像カテゴリ毎に区分けされたカテゴリアイコン 1 3 6 ~ 1 4 4 が表示されている。

このようなマイチャンネル用のジャンル表画面 1 3 5 において、カテゴリアイコン 1 3 6 ~ 1 4 4 のいずれか (例えば「車」カテゴリアイコン 1 3 7) がクライアント P C 4 のユーザによってクリックされると、当該クライアント P C 4 の C P U は「車」カテゴリアイコン 1 3 7 に対応したジャンル選択信号をインター

ネット5を介してASP32の管理サーバ36に送信する。

ステップSP25においてASP32の管理サーバ36は、クライアントPC4から送られたジャンル選択信号に基づいてコンテンツサーバ39から映像カテゴリ「車」に関するチャンネル表示画面のHTMLファイルを読み出し、これをネットワークインターフェース41からインターネット5を介してクライアントPC4へ送信する。

これによりクライアントPC4のCPUは、ASP32から送られてきたチャンネル表示画面のHTMLファイルを受け取り、これを図27に示すように映像ジャンル「車」に関するチャンネル表示画面150として表示部に表示する。

このチャンネル表示画面150には、コンテンツ制作者がユーザ登録処理を行ったときのユーザ情報DBテーブル45（図9）に設定したチャンネル名（木村Ch）が付けられたチャンネルボタン151～159がそれぞれ表示されており、ユーザはこの中から所望のチャンネルボタン（例えば木村Ch）155をクリックして選択するようになされている。

ステップSP26においてASP32の管理サーバ36は、チャンネル表示画面150を見ているクライアントPC4のユーザによって所望のチャンネルボタン155がクリックされて選択されたか否かを判定する。

この場合、クライアントPC4のCPUは、ユーザによって選択されたチャンネルボタン155に対応して設定されているコンテンツIDをインターネット5を介してASP32の管理サーバ36に送信するようになされている。

従ってASP32の管理サーバ36は、コンテンツIDを受け取った場合に所望のチャンネルボタン155がクリックされたものとして認識し、コンテンツIDに基づいて提供スケジュール管理データベース38に格納されているオンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120を参照し、チャンネルボタン155に対応したURLを把握するようになされている。

このステップSP26で否定結果が得られると、このことはチャンネル表示画面150に表示されているチャンネルボタン151～159のいずれもユーザに

よって選択されていないことを表しており、このときASP32の管理サーバ36はチャンネルボタン151～159のいずれかが選択されるまで待ち受ける。

これに対してステップSP26で肯定結果が得られると、このことはチャンネルボタン151～159のうちユーザ所望のチャンネルボタン155がクリックされて選択されたことを表しており、このときASP32の管理サーバ36は次のステップSP27に移る。

ステップSP27においてASP32の管理サーバ36は、クリックされたチャンネルボタン（例えば木村Ch）155に対応したコンテンツIDをクライアントPC4からインターネット5を介して受けると、当該コンテンツIDに基づいてオンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120を参照し、チャンネルボタン155がクリックされた時点のタイミングで提供予定にある映像種類（MA、MB又はMC）のCM付動画像ファイルを、コンテンツIDに対応したURLに基づいてコンテンツサーバ39の専用の記憶領域から読み出し、これをインターネット5を介してクライアントPC4へ送信し、次のステップSP28に移って処理を終了する。

實際上、チャンネル表示画面150において、例えばユーザによって2月19日の午前10時55分にチャンネルボタン（例えば木村Ch）155がクリックされると、ASP32の管理サーバ36はオンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120を参照し、オンデマンド型提供スケジュール管理画面105（図17）で指定したスケジュール内容表示エリア108の提供スケジュールに従って、映像種類が「セダン（MC）」のCM付動画像ファイルをクライアントPC4へ送信する。

これによりクライアントPC4は、受信したCM付動画像ファイルに基づいて図28に示すようなコンテンツ表示画面165を表示部に表示し、当該コンテンツ表示画面165の中央に設けられた表示エリア166にCM映像を最初に表示した後、続いて「セダン」の車の動画像を表示する。

このようにASP32の管理サーバ36は、オンデマンド型提供スケジュール

コントロールファイル120の内容に従ってクライアントPC4のユーザによってチャンネルボタン151～159がクリックされた時点のタイミングで提供予定にある1種類のCM付動画像ファイルをクライアントPC4へ送信するようになされている。

これによりASP32の管理サーバ36は、ほぼ同時に複数のクライアントPC4から同一のコンテンツに対する要求を受けて送信する場合でも、あるタイミングで複数種類のコンテンツを同時に送信しなければならない場合と比較すれば、伝送路の帯域幅を多く消費せずに済むのでコンテンツを滞らせることなく速やかに伝送し得るようになされている。

また、このときASP32の管理サーバ36は、クリック操作に応じてクライアントPC4へコンテンツのCM付動画像ファイルを提供する度に、クライアントPC4のクリック回数をアクセス回数としてカウントする。

この場合、カウントしたアクセス回数がCM映像を視聴させた人数に相当するので、ASP32の管理サーバ36はアクセス回数の多いコンテンツを制作したコンテンツ制作者に対して正当に利益還元するために、アクセス回数に応じたポイントをコンテンツ制作者に与えるようになされており、そのコンテンツ制作者に対するポイントをユーザIDに対応したユーザ情報データベース45に登録してユーザ情報データベース37に格納するようになされている。

(6) ライブ型によるパーソナルキャスティングサービス

次にコンテンツ提供システム1のライブ型によるパーソナルキャスティングサービスの説明を具体的に行う。

(6-1) ライブ型のスケジュール予約

ライブ型においては、ライブ映像のコンテンツをリアルタイムに提供するため、オンデマンド型のようにコンテンツの動画像ファイルを作成し、当該作成したコンテンツの動画像ファイルを予めASP32のコンテンツサーバ39に蓄積し

ておく必要はない。

但しライブ型では、共用のパブリックチャンネル（結婚式チャンネル、音楽ライブチャンネル、演劇ライブチャンネル又はイベントライブチャンネル）を介してコンテンツを提供するようになされているので、予めパブリックチャンネルを使用する時間帯枠を予約しておく必要がある。

すなわちパブリックチャンネルを使用する時間帯枠を予約するということは、各パブリックチャンネルのURLに対応して割り当てられたコンテンツサーバ39の専用の記憶領域を使用する時間帯枠の予約を行うことである。

實際上ASP32がライブ映像のコンテンツを提供する場合、各パブリックチャンネル毎にURLで指定されたコンテンツサーバ39の専用の記憶領域にユーザPC2から送られてきたライブ映像の動画ファイルを一旦書き込みながら読み出して出力するようになされている。

すなわちユーザPC2のCPU10は、パブリックチャンネルを使用する時間帯枠の予約を行うために、まずオンデマンド型の場合と同様に画像取込ソフトウェアを起動することによりキャプチャー画面50（図10）を表示部17に表示する。

そしてユーザPC2のCPU10は、キャプチャー画面50におけるムービーモード切換ボタン53のクリック操作に応じてライブモードに設定した後、ユーザ登録時にASP32から予めダウンロードしておいた自動アップロードソフトウェアを起動し、図13との対応部分に同一符号を付して示す図29のようなライブ型パーソナルキャスト制御画面170を表示部17に表示する。

ライブ型パーソナルキャスト制御画面170には、モード表示欄171に現在ライブモードが設定されていることを示す「ライブ」の文字が表示され、ASPチャンネル表示欄172にライブモードでデフォルトとして設定されている「パブリックチャンネル」の文字が表示されると共に、オンデマンド型パーソナルキャスト制御画面75（図13）のオプションボタン81に変わってスケジュール予約ボタン173が設けられている。

またライブ型パーソナルキャスト制御画面 170 には、パブリックチャンネルとして設定されている 4 種類の結婚式チャンネル、音楽ライブチャンネル、演劇ライブチャンネル及びイベントライブチャンネルの中から、コンテンツ制作者によって時間帯枠を予約した時に決定されたパブリックチャンネルの名称（例えば「音楽ライブ」）が映像ジャンル表示欄 79 に表示されるようになされている。

さらにライブ型パーソナルキャスト制御画面 170 には、オンデマンド型と同様に提供スケジュール予約表示欄 80 に、コンテンツ制作者によって予約されたライブ映像のコンテンツの提供予定日時が表示されるようになされている。

このようなライブ型パーソナルキャスト制御画面 170 において、スケジュール予約ボタン 173 がコンテンツ制作者によってクリックされると、ユーザ PC 2 の CPU 10 は ASP 32 からダウンロードした自動アップロードソフトウェアを起動し、図 30 に示すルーチン RT5 の開始ステップから入ってステップ SP 31 に移る。

ステップ SP 31 においてユーザ PC 2 の CPU 10 は、ネットワークインターフェース 16（図 3）からインターネット 5 及び ISP 31 を介して ASP 32 にログインし、当該 ASP 32 のユーザ情報データベース 37 にアクセスしてユーザ ID、パスワード等を基に認証を得た後、次のステップ SP 32 に移る。

ステップ SP 32 においてユーザ PC 2 の CPU 10 は、ASP 32 の管理サーバ 36 によって提供スケジュール管理データベース 38 から読み出されたパブリックチャンネルの予約状況に関するライブ型提供スケジュールコントロールファイルをインターネット 5 を介して受け取り、これを HDD 12 に書き込んだ後、次のステップ SP 33 に移る。

ステップ SP 33 においてユーザ PC 2 の CPU 10 は、ASP 32 から供給されたパブリックチャンネルの予約状況に関するライブ型提供スケジュールコントロールファイルに基づいて図 31 に示すようなパブリックチャンネル用のライブ型提供スケジュール管理画面 175 を表示部 17 に表示し、次のステップ SP 34 で処理を終了する。

このライブ型提供スケジュール管理画面 175 には、パブリックチャンネルとして 4 種類の結婚式チャンネル、音楽ライブチャンネル、演劇ライブチャンネル及びイベントライブチャンネルに対応する結婚式 Ch ボタン 176、音楽ライブ Ch ボタン 177、演劇ライブ Ch ボタン 178 及びイベントライブ Ch ボタン 179 が設けられている。

これら 4 種類のパブリックチャンネルのうち例えば音楽ライブ Ch ボタン 177 がコンテンツ制作者によってクリックされると、ユーザ PC 2 の CPU 10 はライブ型提供スケジュールコントロールファイルに基づいてスケジュール内容表示エリア 180 に「音楽ライブチャンネル」に関する現在の予約状況を表示する。

このときスケジュール内容表示エリア 180 のスケジュール時刻予定表 182 には、デフォルトとして今日現在の日付に関する予約状況が表示されるようになり、コンテンツ制作者によってカレンダー表示エリア 181 の予約希望日（例えば 2 月 19 日）がクリックされると、ユーザ PC 2 の CPU 10 はライブ型提供スケジュールコントロールファイルに基づいて音楽ライブチャンネルに関する予約希望日（2 月 19 日）の予約状況をスケジュール時刻予定表 182 に表示する。

コンテンツ制作者は、スケジュール時刻予定表 182 に表示された予約希望日（2 月 19 日）の予約状況を確認し、時間帯指定バー 183 のうち「空」時間帯の中から所望の開始時刻（例えば 10 時）と終了時刻（10 時 59 分 59 秒）をカーソルで指定することにより、ライブ映像のコンテンツを提供する時間帯枠 183A を決定する。

これによりユーザ PC 2 の CPU 10 は、コンテンツ制作者によって決定された時間帯枠 183A が示す開始時刻と終了時刻を予約時間帯枠データとして認識し、ライブ型提供スケジュールコントロールファイルに書き加えると共に、当該時間帯枠 183A に「満」の文字を表示する。

またユーザ PC 2 の CPU 10 は、予約された時間帯枠 183A で提供するコ

ンテンツの名称（例えば「××ツアー」）がコンテンツ制作者によって入力されると、その名称を自動的に所定のコンテンツIDに対応付けてライブ型提供スケジュールコントロールファイルに書き加えるようになされている。

続いてユーザPC2のCPU10は、コーデック選択表示エリア184の中からライブ映像のコンテンツをクライアントPC4に提供する際のコーデックとして例えばMPEG4にチェックマークが付けられると、選択されたコーデックの種類をMPEG4であると認識し、当該認識した結果をコーデック種類データとしてライブ型提供スケジュールコントロールファイルに書き加える。

またユーザPC2のCPU10は、コンテンツの先頭部分にCM映像を付加してクライアントPC4に提供することを希望するCM希望ボタン185と、CM映像をクライアントPC4に提供することを希望しないCM非希望ボタン186とのうち、コンテンツ制作者によってCM希望ボタン185がクリックされると、ライブ映像のコンテンツに対してCM映像を付加することを希望したCM希望データ生成し、これをライブ型提供スケジュールコントロールファイルに書き加える。

このようにユーザPC2のCPU10は、上述のようにパブリックチャンネルとして音楽ライブチャンネルを介してライブ映像のコンテンツを提供するための各種設定を行うことにより、図32に示すようなライブ型提供スケジュールコントロールファイル189を新たに生成し、これをHDD12に一旦記憶する。

このライブ型提供スケジュールコントロールファイル189には、「ISP接続先」としてインターネット5に接続する際のISP名（*****）、「ASPチャンネル」としてASPがライブ映像のコンテンツを提供する際のチャンネルタイプ（パブリックチャンネル）、「コンテンツ名称」としてコンテンツのタイトル（××ツアー）、「CODEC」として提供時のCODEC（MPEG4）、「パブリックチャンネル」としてコンテンツ制作者によってライブ映像の内容に合わせて選択されたパブリックチャンネルの種類（音楽ライブチャンネル）、「提供スケジュール」として提供スケジュールの日時（2月19日10時から提供予定等

の諸条件)、「CMリクエスト」としてCM提供リクエストの有無(CM有)、「ユーザID」としてユーザ登録時のユーザID(K i m u K i m u)、「パスワード」としてユーザ登録時のパスワード(*****)が格納されている。

そしてユーザPC2のCPU10は、ライブ型提供スケジュール管理画面175の予約ボタン187がコンテンツ制作者によってクリックされると、自動アップロードソフトウェアに従って図33に示すルーチンRT6の開始ステップから入ってステップSP41に移る。

ステップSP41においてユーザPC2のCPU10は、ネットワークインターフェース16(図3)からインターネット5及びISP31を介してASP32にログインし、当該ASP32のユーザ情報データベース37にアクセスしてユーザID、パスワード等を基に認証を得た後、次のステップSP42に移る。

ステップSP42においてユーザPC2のCPU10は、ASP32の認証を得たので、新たに生成したライブ型提供スケジュールコントロールファイル189をインターネット5を介してASP32の管理サーバ36に転送し、次のステップSP43に移る。

これによりASP32の管理サーバ36は、ユーザPC2から転送されてきたライブ型提供スケジュールコントロールファイル189で提供スケジュール管理データベース38を更新し、その後再び提供スケジュール管理データベース38からライブ型提供スケジュールコントロールファイル189を読み出してユーザPC2に送り返す。

このときASP32の管理サーバ36は、ユーザPC2に対してライブ映像のコンテンツを提供するための新たな予約処理を行ったことに対する予約料をサービス利用料としてユーザIDに対応させて課金し、ユーザ情報データベース37のユーザ情報DBテーブル45を更新する。

ステップSP43においてユーザPC2のCPU10は、提供スケジュール管理データベース38を更新したライブ型提供スケジュールコントロールファイル189の供給を受け、当該ライブ型提供スケジュールコントロールファイル18

9に基づいて表示部17にライブ型提供スケジュール管理画面175を確認用に再表示し、次のステップSP44で処理を終了する。

但し、このとき表示されるライブ型提供スケジュール管理画面175は、コンテンツ制作者に対する確認用として「満」の文字が表示された時間帯枠183Aを特定の色で区分けして表示するようになされており、これによりコンテンツ制作者は自分で予約したコンテンツのスケジュールを容易に認識し得るようになされている。

ところで、パブリックチャンネル用のライブ型提供スケジュール管理画面175（図31）におけるスケジュール内容表示エリア180に表示された予約状況を確認した結果、スケジュール時刻予定表182の時間帯指定バー183において、ライブ映像のコンテンツの提供を希望する時間帯枠が既に「満」の表示で予約できない場合、そのパブリックチャンネルを介してライブ映像のコンテンツを提供することはできない。

このようなときにライブ型提供スケジュール管理画面175の下部に設けられたマイチャンネルボタン188がコンテンツ制作者によってクリックされると、ユーザPC2のCPU10は、ASP32の管理サーバ36から提供スケジュール管理データベース38のオンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120の供給を受け、当該オンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル120に基づいて図34に示すようなマイチャンネル用のライブ型提供スケジュール管理画面190を表示する。

このマイチャンネル用のライブ型提供スケジュール管理画面190は、時間帯指定バー194のうちオンデマンド型でコンテンツを提供する予定の予約時間帯枠（MA及びMBで示された時間帯枠）以外の「空」時間帯を利用して、ライブ映像のコンテンツを提供するための予約を行えるようになされており、マイチャンネルスケジュール内容表示エリア191、マイチャンネルジャンル表エリア195、コーデック選択エリア205、CM希望ボタン206、CM非希望ボタン207及び予約ボタン208が設けられている。

この場合も、マイチャンネルスケジュール内容表示エリア 191 に表示されたカレンダー表示エリア 192 の予約希望日（例えば 2 月 19 日）がコンテンツ制作者によってクリックされると、ユーザ PC 2 の CPU 10 はオンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル 120 に基づいてマイチャンネルに関する予約希望日（2 月 19 日）の予約状況をスケジュール時刻予定表 193 に表示する。

従ってコンテンツ制作者は、スケジュール時刻予定表 193 に表示された予約状況を確認し、時間帯指定バー 194 のうち「空」時間帯の中から所望の開始時刻（例えば 10 時）と終了時刻（10 時 59 分 59 秒）をカーソルで指定することにより、マイチャンネルを介してライブ映像のコンテンツを提供する時間帯枠 194A を決定する。

これによりユーザ PC 2 の CPU 10 は、コンテンツ制作者によって決定された時間帯枠 194A が示す開始時刻及び終了時刻を予約時間帯枠データとして認識し、当該時間帯枠 194A に「満」の文字を表示すると共に予約時間帯枠データを一旦 HDD 12 に記憶する。

次にユーザ PC 2 の CPU 10 は、マイチャンネルジャンル表示エリア 195 に表示されたカテゴリアイコン 196～204 の中からライブ映像の映像ジャンルに対応したカテゴリ（音楽）アイコン 199 がクリックされると、選択された映像ジャンルのカテゴリが「音楽」であることを認識すると共に、当該認識した結果をカテゴリデータとして一旦 HDD 12 に記憶する。

このときユーザ PC 2 の CPU 10 は、同時に時間帯指定バー 194 の時間帯枠 194A を「満」の文字から「音楽」の文字に変更して表示するようになっている。

続いてユーザ PC 2 の CPU 10 は、コーデック選択表示エリア 205 の中からライブ映像のコンテンツをクライアント PC 4 に提供する際のコーデックとして例えば MPEG 4 にチェックマークが付けられると、選択されたコーデックの種類を MPEG 4 であると認識し、当該認識した結果をコーデック種類データと

して一旦HDD 12に記憶する。

またユーザPC 2のCPU 10は、コンテンツの先頭部分にCM映像を付加してクライアントPC 4に提供することを希望するCM希望ボタン206と、CM映像をクライアントPC 4に提供することを希望しないCM非希望ボタン207とのうち、コンテンツ制作者によってCM希望ボタン206がクリックされると、ライブ映像のコンテンツに対してCM映像を付加することを希望したCM希望データを生成し、当該CM希望データを一旦HDD 12に記憶する。

このようにユーザPC 2のCPU 10は、上述のようにマイチャンネルにおいて音楽ライブのライブ映像をコンテンツとして提供するための各種設定を行った後、コンテンツ制作者によって予約ボタン208がクリックされると、図35に示すような新たなマイチャンネル用のライブ型提供スケジュールコントロールファイル210を生成し、これをインターネット5を介してASP 32の管理サーバ36に転送し、提供スケジュール管理データベース38に登録するようになっている。

ところで、複数のコンテンツ制作者がライブ映像のコンテンツをマイチャンネルを介して提供するための予約を行う場合、ASP 32の管理サーバ36は同一時間帯枠でライブ映像のコンテンツを提供可能な本数に（例えば10本まで）制限を設けている。

従ってASP 32の管理サーバ36は、内部のハードディスクから立ち上げた提供スケジュールプログラムに基づいて、コンテンツ制作者が希望する所望の時間帯枠における提供可能な本数が上限値に達したことを検出すると、それ以降ユーザPC 2から送られてくるマイチャンネル用のライブ型提供スケジュールコントロールファイル210を受け付けることなく、提供スケジュール管理データベース38に予め格納されている予約不能メッセージ表示画面の画像データを読み出し、これをインターネット5を介してユーザPC 2へ送信する。

ユーザPC 2のCPU 10は、予約不能メッセージ表示画面の画像データに基づいて図36に示すような予約不能メッセージ表示画面212を表示部17に表

示し、これによりコンテンツ制作者に対して「ライブ映像のコンテンツをリアルタイムで提供する希望の時間帯枠が既に予約で一杯である」ことを通知するようになされている。

これによりASP 32の管理サーバ36は、同時に提供可能なコンテンツの本数が上限値を超えることがないので、処理性能や回線の帯域幅の問題からコンテンツの提供が滞ったり遅れることがなく、ライブ映像のコンテンツを確実にリアルタイムでクライアントPC4に提供し得ると共に、ライブ映像のコンテンツの品質低下を確実に防止することができる。

上述のようにユーザPC2のCPU10は、ライブ映像のコンテンツを所望の予約日時でリアルタイムに提供する方法として、パブリックチャンネルを介して行う方法と、当該パブリックチャンネルが既に予約済であった場合にマイチャンネルを介して行う方法とを選択し得るようになされている。

従ってユーザPC2のコンテンツ制作者が、自分が行っているアマチュアバンドのライブ映像をリアルタイムで提供する場合には、マイチャンネルを介して提供する方法を選択し、著名なプロのアーティストのライブ映像をリアルタイムで提供する場合にはパブリックチャンネルを介して提供する方法を選択することが可能となる。

このようにコンテンツ提供サービスシステム1においては、コンテンツの内容や当該コンテンツを視聴するユーザのことを考慮した上で、コンテンツの提供形態をオンデマンド型及びライブ型のいずれかから選択し得るようになされている。

。

(6-2) ライブ型におけるASPへのコネクト処理

次にユーザPC2のCPU10は、ライブ映像のコンテンツを提供する日時の予約処理が終了すると、再度ライブ型パーソナルキャスト制御画面170(図29)を表示部17に表示する。

このときコンテンツ制作者は、ライブ型パーソナルキャスト制御画面170を

確認することにより、ライブ映像のコンテンツを提供するときの予約内容を認識し、予約した開始時刻に近づくと撮影現場でデジタルビデオカメラ18（図3）により収録を開始し、ライブ映像のコンテンツをリアルタイムに提供するためコネクトボタン82をクリックする。

するとユーザPC2のCPU10は、自動アップロードソフトウェアに従って図37に示すルーチンRT7の開始ステップから入ってステップSP51に移る。

ステップSP51においてユーザPC2のCPU10は、ネットワークインターフェース16からインターネット5及びISP31を介してASP32にログインし、当該ASP32のユーザ情報データベース37にアクセスしてユーザID、パスワード等を基に認証を得た後、次のステップSP52に移る。

ステップSP52においてユーザPC2のCPU10は、ASP32の管理サーバ36によってユーザID及びパスワードを基に提供スケジュール管理データベース38に格納されているライブ型提供スケジュールコントロールファイル189（図32）の内容が確認され、次のステップSP53に移る。

これによりASP32の管理サーバ36は、提供スケジュール管理データベース38のライブ型提供スケジュールコントロールファイル189の内容を確認することにより、ユーザPC2によって提供予定であるライブ映像のコンテンツに関する予約状況を認識するようになされている。

ステップSP53においてユーザPC2のCPU10は、予め予約した開始時刻になると「ライブ映像のコンテンツを送信しろ」という指示命令がASP32の管理サーバ36から与えられるようになされており、当該指示命令に基づいて予め予約した開始時刻になったか否かを判定する。

ここで否定結果が得られると、このことは管理サーバ36から指示命令が未だ与えられていないことを表しており、このときCPU10はASP32の管理サーバ36から指示命令が与えられるまで待ち受ける。

これに対してステップSP53で肯定結果が得られると、このことはASP3

2の管理サーバ36から指示命令が与えられたことを表しており、このときCPU10は開始時刻になったと判断して、次のステップSP54に移る。

ステップSP54においてユーザPC2のCPU10は、ASP32の管理サーバ36から与えられた指示命令をトリガーとして収録中であるライブ映像のコンテンツをインターネット5を介してASP32の管理サーバ36へリアルタイムに転送する転送処理を開始し、次のステップSP55で処理を終了する。

これによりASP32の管理サーバ36は、ユーザPC2から転送されたライブ映像のコンテンツをパブリックチャンネル用に割り当てられたコンテンツサーバ39の専用の記憶領域に記録しながらストリーミング再生し、要求のあったクライアントPC4にリアルタイムで提供し得るようになされている。

なお、このときISP31の制御サーバ33は、ユーザPC2がライブ映像のコンテンツをインターネット5を介してASP32に転送している間に発生するインターネット接続料をユーザPC2のユーザIDに対応付けて課金し、課金管理データベース34の課金データを更新する。

またASP32の管理サーバ36は、当該ASP32のサービス利用料をユーザPC2のユーザIDに対応付けて課金し、その課金データをネットワークインターフェース41及びISP31のネットワークインターフェース35を介して課金管理データベース34に送出することにより、当該課金管理データベース34の課金データを更新するようになされている。

因みにASP32の管理サーバ36は、ユーザPC2が「使い放題コース」と呼ばれる定額制のサービス契約をしている場合、接続開始日時から接続終了日時までの接続時間をユーザ情報データベース37のユーザ情報DBテーブル45に記録するだけでサービス利用料は一定のままで課金処理は行わない。

(6-3) ライブ型におけるコンテンツの提供処理

ライブ型においてクライアントPC4がライブ映像のコンテンツの提供を受ける場合も、オンデマンド型においてコンテンツの提供を受ける場合と同様に、ユ

ーザ登録が可能であり、その場合にはルーチンRT1（図8）のユーザ登録手続き処理手順に従ってユーザ登録手続きを行い、ASP32の管理サーバ36によってビューワー情報データベース40にクライアントPC4のユーザID及びパスワードに対応付けられたビューワー情報ファイルの登録が行われる。

またクライアントPC4は、ユーザ登録を行っていない場合にはビジターとしてASP32が提供しているパーソナルキャスティングサービスのWebサイトに直接アクセスしても良く、ユーザ登録したクライアントPC4に限っては感動や共感を覚えたり、あるいは優れていると感じたコンテンツのコンテンツ制作者に対して容易に寄付を行えるようになされている。

實際上、ASP32の管理サーバ36は、例えばユーザ登録を行ったクライアントPC4に対してライブ型でマイチャンネルを介してライブ映像のコンテンツを提供する場合、内部のハードディスクから立ち上げたコンテンツ提供プログラムに従って、図38に示すルーチンRT8の開始ステップから入ってステップSP61に移る。

ステップSP61においてASP32の管理サーバ36は、クライアントPC4からのログイン処理を受け、当該クライアントPC4から送られてきたユーザID及びパスワードを基にビューワー情報データベース40のビューワー情報ファイルを参照し、次のステップSP62に移る。

ステップSP62においてASP32の管理サーバ36は、ユーザID及びパスワードを基にビューワー情報データベース40のビューワー情報ファイルを参照した結果としてログインしてきたクライアントPC4が登録済の正規ユーザであるか否かを判定する。

ここで否定結果が得られると、このことはユーザID及びパスワードがビューワー情報データベース40に登録されたものと一致しないことを表しており、このときASP32の管理サーバ36はステップSP61に戻って、クライアントPC4に対して正確なユーザID及びパスワードの入力を促してログイン処理を再実行させる。

これに対してステップS P 6 2で肯定結果が得られると、このことはクライアントP C 4が登録済の正規ユーザであることを表しており、このときA S P 3 2の管理サーバ3 6は次のステップS P 6 3に移る。

ステップS P 6 3においてA S P 3 2の管理サーバ3 6は、クライアントP C 4からのアクセスに応じてパーソナルキャッシングサービスのホームページのHTMLファイルをコンテンツサーバ3 9から読み出し、これをネットワークインターフェース4 1からインターネット5を介してクライアントP C 4へ転送する。

ここでクライアントP C 4は、A S P 3 2から送られてきたパーソナルキャッシングサービスのホームページのHTMLファイルをC P Uが受け取り、これをホームページ画面1 2 5（図2 5）として表示部に表示する。

このホームページ画面1 2 5において、ライブモード選択表示エリア1 2 8のライブ型マイチャンネル選択ボタン1 3 0がユーザによってクリックされると、クライアントP C 4のC P Uは、ライブ型マイチャンネル選択ボタン1 3 0が選択されたことを示すモード選択信号をインターネット5を介してA S P 3 2の管理サーバ3 6に送信する。

ステップS P 6 4においてA S P 3 2の管理サーバ3 6は、クライアントP C 4から送られたモード選択信号に基づいてコンテンツサーバ3 9からマイチャンネル用のジャンル表画面を構成するHTMLファイルを読み出し、これをネットワークインターフェース4 1からインターネット5を介してクライアントP C 4へ送信する。

これによりクライアントP C 4のC P Uは、A S P 3 2から送られてきたマイチャンネル用のジャンル表画面のHTMLファイルを受け取り、これをマイチャンネル用のジャンル表画面1 3 5（図2 6）として表示部に表示する。

このマイチャンネル用のジャンル表画面1 3 5において、カテゴリアイコン1 3 6～1 4 4のいずれか（例えば「音楽」カテゴリアイコン1 3 9）がクライアントP C 4のユーザによってクリックされると、当該クライアントP C 4のC P

Uは「音楽」カテゴリアイコン139に対応したジャンル選択信号をインターネット5を介してASP32の管理サーバ36に送信する。

ステップSP65においてASP32の管理サーバ36は、クライアントPC4から送られたジャンル選択信号に基づいてコンテンツサーバ39から映像カテゴリ「音楽」に関するライブ映像スケジュール表示画面を構成するHTMLファイルを読み出し、これをネットワークインターフェース41からインターネット5を介してクライアントPC4へ送信する。

これによりクライアントPC4のCPUは、ASP32から送られてきたライブ映像スケジュール表示画面を構成するHTMLファイルを受け取り、これを図39に示すようなマイチャンネル用のライブ映像スケジュール表示画面220として表示部に表示する。

マイチャンネル用のライブ映像スケジュール表示画面220には、日付を示すカレンダー表示エリア221と、マイチャンネルを介してライブ映像のコンテンツを提供する提供スケジュールを示すスケジュール内容表示エリア222と、現在マイチャンネルで提供中のチャンネル名を示すチャンネル種類表示エリア224とが設けられている。

このカレンダー表示エリア221には、現在の日付（例えば2月19日）が斜線枠221Aで表示されており、クライアントPC4のユーザに対して現在の日付を容易に認識させるようになされている。

またスケジュール内容表示エリア222には、例えば現在時刻（例えば15時10分）でASP32が提供可能なライブ映像のコンテンツの時間帯枠223（15時から16時59分59秒までの間）が表示されており、チャンネル種類表示エリア224に表示されている複数種類（10Chまで）のチャンネルボタン225～229に対応するマイチャンネルを介してそれぞれライブ映像のコンテンツが現時点で提供可能であることを示している。

ステップSP66においてASP32の管理サーバ36は、マイチャンネル用のライブ映像スケジュール表示画面220を見ているクライアントPC4のユー

ザによって例えば所望のチャンネルボタン（「木村」チャンネル）２２６がクリックされて選択されたか否かを判定する。

この場合クライアントＰＣ４のＣＰＵは、選択されたチャンネルボタン２２６に対応して設定されているＵＲＬを認識し、当該ＵＲＬを表すチャンネル選択信号をインターネット５を介してＡＳＰ３２の管理サーバ３６へ送信するようになされており、これによりＡＳＰ３２の管理サーバ３６はチャンネル選択信号を受け取った場合に所望のチャンネルボタン２２６がクリックされたものとして認識し得るようになされている。

このステップＳＰ６６で否定結果が得られると、このことはライブ映像スケジュール表示画面２２０のチャンネル種類表示エリア２２４に表示されているチャンネルボタン２２５～２２９のいずれも選択されていないことを表しており、このときＡＳＰ３２の管理サーバ３６はチャンネルボタン２２５～２２９のいずれかが選択されるまで待ち受ける。

これに対してステップＳＰ６６で肯定結果が得られると、このことはチャンネルボタン２２５～２２９のうちユーザ所望のチャンネルボタン２２６がクリックされて選択されたことを表しており、このときＡＳＰ３２の管理サーバ３６は次のステップＳＰ６７に移る。

ステップＳＰ６７においてＡＳＰ３２の管理サーバ３６は、クリックされた時点で提供予定のライブ映像であるＣＭ付動画像データを、コンテンツサーバ３９の（「木村」チャンネルに対応する）専用の記憶領域からストリーミング再生し、これをインターネット５を介してクライアントＰＣ４へ送信し、次のステップＳＰ６８に移って処理を終了する。

これによりクライアントＰＣ４のＣＰＵは、ＡＳＰ３２から送られてきたコンテンツのＣＭ付動画像データに基づいて図４０に示すようなライブ映像のコンテンツ表示画面２４０を表示部に表示し、当該コンテンツ表示画面２４０の中央に設けられた動画像表示エリア２４１にＣＭ映像を最初に表示した後、続いて音楽ライブの模様を表した動画像を表示する。

ところでASP 32の管理サーバ36は、ライブ映像のコンテンツをクライアントPC 4へ送信するようになされているので、オンデマンド型の場合のようにコンテンツを最初から提供することはできず、クリックされた時点でライブ映像のコンテンツを途中からストリーミング再生して提供するようになされている。

但し、この場合でもASP 32の管理サーバ36は、ユーザPC 2のコンテンツ制作者によってCM提供リクエストが「CM有」に設定されていた場合には、ライブ映像のコンテンツを提供する前にCM映像を必ずクライアントPC 4へ送信するようになされている。

従ってクライアントPC 4では、ユーザが所望のチャンネルボタン226をクリックした場合でも、その時点から直ちにライブ映像のコンテンツを視聴できるのではなく、最初にCM映像を視聴した後からでなくてはライブ映像のコンテンツを視聴することはできない。

このようにASP 32の管理サーバ36は、ライブ映像のコンテンツをクライアントPC 4へ提供する場合でも、クライアントPC 4のユーザの意思に係わらず必ずCM映像を強制的に視聴させるようになされている。

なお、このときISP 31の制御サーバ33は、ユーザPC 2がライブ映像のコンテンツの動画像データをインターネット5を介してASP 32へ送信している間に発生するインターネット接続料をユーザPC 2のユーザIDに対応付けて課金し、課金管理データベース34の課金データを更新する。

同時にASPの管理サーバ36は、ユーザPC 2からインターネット5を介して供給されるライブ映像のコンテンツの動画像データをコンテンツサーバ39を介してストリーミング再生する間に発生するサービス利用料をユーザPC 2のユーザIDに対応付けて課金し、その課金データをユーザ情報データベース37のユーザ情報DBテーブル45に登録すると共に、ネットワークインターフェース41及びISP 31のネットワークインターフェース35を介して課金管理データベース34に記録する。

因みにASP 32の管理サーバ36は、ユーザPC 2が「使い放題コース」と

呼ばれる定額制のサービス契約がなされている場合、接続開始日時から接続終了日時までの接続時間がユーザ情報データベース 37 のユーザ情報 DB テーブル 45 に記録されるだけでサービス利用料は一定のままで課金処理は行わない。

一方、ASP 32 の管理サーバ 36 は、例えばユーザ登録を行ったクライアント PC 4 に対してパブリックチャンネルを介してライブ映像のコンテンツを提供する場合、内部のハードディスクから立ち上げたコンテンツ提供プログラムに従って、図 41 に示すルーチン RT 9 の開始ステップから入ってステップ SP 71 に移る。

ステップ SP 71 ～ステップ SP 73 については、ルーチン RT 8 のステップ SP 61 ～ステップ SP 63 のようにマイチャンネルを介してライブ映像のコンテンツを提供する場合と同様であり、ASP 32 の管理サーバ 36 はパーソナルキャスティングサービスのホームページの HTML ファイルをネットワークインターフェース 41 からインターネット 5 を介してクライアント PC 4 へ転送する。

これによりクライアント PC 4 は、ASP 32 から送られてきたパーソナルキャスティングサービスのホームページの HTML ファイルを受け取り、これをホームページ画面 125 (図 25) として表示部 17 に表示する。

このホームページ画面 125 において、ライブモード選択表示エリア 128 のライブ型パブリックチャンネル選択ボタン 129 がユーザによってクリックされると、クライアント PC 4 の CPU は、ライブ型パブリックチャンネル選択ボタン 129 が選択されたことを示すモード選択信号をインターネット 5 を介して ASP 32 の管理サーバ 36 に送信する。

ステップ SP 74 において ASP 32 の管理サーバ 36 は、クライアント PC 4 から送られたモード選択信号に基づいてコンテンツサーバ 39 からパブリックチャンネル用のチャンネル表示画面を構成する HTML ファイルを読み出し、これをネットワークインターフェース 41 からインターネット 5 を介してクライアント PC 4 へ送信する。

これによりクライアントPC 4のCPUは、ASP 3 2から送られてきたパブリックチャンネル用のチャンネル表示画面のHTMLファイルを受け取り、これを図4 2に示すようなパブリックチャンネル用のチャンネル表示画面2 4 5として表示部に表示する。

このパブリックチャンネル用のチャンネル表示画面2 4 5において、パブリックチャンネルを表す映像チャンネルアイコン2 4 6～2 4 9のいずれか（例えば「音楽ライブ」チャンネルアイコン2 4 7）がクライアントPC 4のユーザによってクリックされると、当該クライアントPC 4のCPUは「音楽ライブ」チャンネルアイコン2 4 7に対応したチャンネル選択信号をインターネット5を介してASP 3 2の管理サーバ3 6に送信する。

ステップSP 7 5においてASP 3 2の管理サーバ3 6は、クライアントPC 4から送られたチャンネル選択信号に基づいてコンテンツサーバ3 9から「音楽ライブ」チャンネルに関するパブリックチャンネル用のライブ映像スケジュール表示画面のHTMLファイルを読み出し、これをネットワークインターフェース4 1からインターネット5を介してクライアントPC 4へ送信する。

これによりクライアントPC 4は、ASP 3 2から送られてきたパブリックチャンネル用のライブ映像スケジュール表示画面のHTMLファイルを受け取り、これを図4 3に示すようなパブリックチャンネル用のライブ映像スケジュール表示画面2 5 5として表示部に表示する。

このパブリックチャンネル用のライブ映像スケジュール表示画面2 5 5には、日付を示すカレンダー表示エリア2 5 6と、選択された「音楽ライブ」チャンネルに関するライブ映像のコンテンツの提供スケジュールを示すスケジュール内容表示エリア2 5 7とが設けられている。

このカレンダー表示エリア2 5 6には、今日現在の日付（例えば2月19日）が斜線枠2 5 6 Aで表示されており、クライアントPC 4のユーザに対して現在の日付を容易に認識させるようになされている。

またスケジュール内容表示エリア2 5 7には、ASP 3 2が2月19日に提供

予定のライブ映像のコンテンツの名称が表示されている。この場合、6時から8時59分59秒までの第1の時間帯枠257Aでは「○△×ライブ」のコンテンツを提供予定であり、10時から10時59分59秒までの第2の時間帯枠257Bでは「××ツアー」のコンテンツを提供予定であり、21時から23時59分59秒までの第3の時間帯枠257Cでは「×△コンサート」のコンテンツを提供予定であることを示している。

またパブリックチャンネル用のライブ映像スケジュール表示画面255は、例えば現在時刻（例えば10時09分）の時点では、スケジュール内容表示エリア257の第1の時間帯枠257A及び第3の時間帯枠257Cとは異なる色で現在時刻に該当する第2の時間帯枠257Bを表示し、これによりクライアントPC4のユーザに対して現時点で「××ツアー」のコンテンツをリアルタイムに視聴し得ることを容易に認識させ得るようになされている。

ステップSP76においてASP32の管理サーバ36は、パブリックチャンネル用のライブ映像スケジュール表示画面255を見ているクライアントPC4のユーザによって、現時点（例えば10時09分）で視聴し得る第2の時間帯枠257Bがクリックされて選択されたか否かを判定する。

この場合クライアントPC4のCPUは、第2の時間帯枠257Bが選択された場合に、パブリックチャンネルの「音楽ライブ」チャンネルに設定されているURLを認識し、当該URLを表すチャンネル選択信号をインターネット5を介してASP32の管理サーバ36に送信するようになされており、これによりASP32の管理サーバ36はチャンネル選択信号を受け取った場合に第2の時間帯枠257Bが選択されたことを認識し得るようになされている。

このステップSP76で否定結果が得られると、このことはスケジュール内容表示エリア257のうち現時点で視聴し得る第2の時間帯枠257Bが選択されていないことを表しており、このときASP32の管理サーバ36は第2の時間帯枠257Bが選択されるまで待ち受ける。

これに対してステップSP76で肯定結果が得られると、このことはスケジュー

ール内容表示エリア 2 5 7 における第 2 の時間帯枠 2 5 7 B が選択されたことを表しており、このとき A S P 3 2 の管理サーバ 3 6 は次のステップ S P 7 7 に移る。

ステップ S P 7 7 において A S P 3 2 の管理サーバ 3 6 は、クリックされた時点から「音楽ライブ」チャンネルにおいて現在提供可能なライブ映像の CM 付動画像データ（「××ツアー」）を、コンテンツサーバ 3 9 の「音楽ライブ」チャンネルに対応する専用の記憶領域からストリーミング再生し、これをインターネット 5 を介してクライアント P C 4 へ送信し、次のステップ S P 7 8 に移って処理を終了する。

これによりクライアント P C 4 の C P U は、A S P 3 2 から送られてきたライブ映像の CM 付動画像データ（「××ツアー」）に基づいて、図 4 4 に示すようなライブ映像のコンテンツ表示画面 2 6 0 を表示部に表示し、当該コンテンツ表示画面 2 6 0 の中央に設けられた動画像表示エリア 2 6 1 に「音楽ライブ」チャンネルで選択された第 2 の時間帯枠 2 5 7 B に対応するライブ映像（「××ツアー」）を表示する。

この場合も A S P 3 2 の管理サーバ 3 6 は、第 2 の時間帯枠 2 5 7 B がクリックされた時点からライブ映像のコンテンツをストリーミング再生して提供するようになされており、当該コンテンツの CM 提供リクエストが「CM 有」に設定されていた場合には、クリックされた時点からまず最初に CM 映像をクライアント P C 4 へ提供し、その後ライブ映像のコンテンツを提供するようになされている。

このように A S P 3 2 の管理サーバ 3 6 は、クライアント P C 4 へパブリックチャンネルを介してライブ映像のコンテンツを提供する場合でも、クライアント P C 4 のユーザの意思に係わらず必ず CM 映像を視聴させるようになされている。

なお、このとき I S P 3 1 の制御サーバ 3 3 は、ユーザ P C 2 がライブ映像のコンテンツの動画像データをインターネット 5 を介して A S P 3 2 へ送信してい

る間に発生するインターネット接続料をユーザPC2のユーザIDに対応付けて課金し、課金管理データベース34の課金データを更新する。

同時にASPの管理サーバ36は、ユーザPC2からインターネット5を介して供給されるライブ映像のコンテンツの動画像データをコンテンツサーバ39を介してストリーミング再生する間に発生するサービス利用料をユーザPC2のユーザIDに対応付けて課金し、その課金データをユーザ情報データベース37のユーザ情報DBテーブル45に登録すると共に、ネットワークインターフェース41及びISP31のネットワークインターフェース35を介して課金管理データベース34に記録する。

但し、この場合もASP32の管理サーバ36は、ユーザPC2が「使い放題コース」と呼ばれる定額制のサービス契約がなされている場合、接続開始日時から接続終了日時までの接続時間がユーザ情報データベース37のユーザ情報DBテーブル45に記録されるだけでサービス利用料は一定のままで課金処理は行わない。

(7) クライアントPCによる寄付処理

ユーザ登録したクライアントPC4のユーザは、提供されたコンテンツに対して感動や共感を覚えたり、あるいはコンテンツが優れていると感じた場合に、当該コンテンツの制作者に対して容易に寄付を行うことができるようになされている。

すなわちクライアントPC4のCPUは、ASP32からダウンロードしたコンテンツのCM付動画像ファイルに基づいて表示部に表示したオンデマンド型のコンテンツ表示画面165（図28）や、ライブ映像のコンテンツのCM付動画像データに基づいて表示部に表示したライブ型のコンテンツ表示画面240（図40）及びコンテンツ表示画面260（図44）にそれぞれ設けられている寄付ボタン167、242及び262が、コンテンツを視聴したユーザによってクリックされると、内部のハードディスク（図示せず）から立ち上げた寄付プログラ

ムに従って、寄付ボタン１６７、２４２及び２６２の隣に図４５に示すような寄付金額選択画面２７０を表示するようになされている。

この寄付金額選択画面２７０には、種々の寄付金額に応じた寄付金選択ボタン２７１～２７６が設けられており、クライアントＰＣ４のユーザが寄付金選択ボタン２７１～２７６の中から寄付したい金額に相当する寄付金選択ボタンを自由に選択してクリックし得るようになされている。

従ってクライアントＰＣ４のＣＰＵは、例えば１０００円の寄付金を寄付するために寄付金選択ボタン２７２がユーザによってクリックされた場合、その選択された寄付金選択ボタン２７２に対応する金額の寄付データを生成し、これをインターネット５を介してＡＳＰ３２の管理サーバ３６に送信する。

ＡＳＰ３２の管理サーバ３６は、クライアントＰＣ４から送られてきた寄付データを所定の換算率でポイントに換算し、コンテンツＩＤに対応するユーザ情報ＤＢテーブル４５をユーザ情報データベース３７から検索し、そのユーザ情報ＤＢテーブル４５の累積ポイント数を寄付データに基づくポイントで更新する。

このときクライアントＰＣ４のＣＰＵは、寄付データに対応する課金データを生成し、これをインターネット５を介してＡＳＰ３２の管理サーバ３６に送信する。これによりＡＳＰ３２の管理サーバ３６は、寄付金額に応じた課金データをクライアントＰＣ４のＡＳＰ３２に対するサービス利用料と共にビューワー情報データベース４０のビューワー情報ファイルに記録することにより課金処理を行う。

同時にＩＳＰ３１も、クライアントＰＣ４がインターネット５を介してＡＳＰ３１からコンテンツの提供を受けている間に発生するインターネット接続料を課金し、その課金データをビューワー情報データベース４０のビューワー情報ファイルに記録すると共に課金管理データベース３４に記録する。

ところで登録ユーザ以外のビジターがコンテンツ制作者に対して寄付を行う場合に、寄付ボタン１６７、２４２及び２６２がビジターによってクリックされると、クライアントＰＣ４のＣＰＵは当該寄付ボタン１６７、２４２及び２６２の

隣に寄付金額選択画面 270 (図 45) を表示すると共に、ビジターが寄付を行うためのクレジットカード番号等の入力画面 (図示せず) を表示し、当該ビジターに対してクレジットカード番号の入力を促すようになされている。

この結果クライアント PC 4 の CPU は、クレジットカード番号データと寄付金選択ボタンに対応する金額の寄付データとを ASP 32 の管理サーバ 36 にインターネット 5 を介して送信し、当該管理サーバ 36 により寄付データに応じたポイントでユーザ情報 DB テーブル 45 の累積ポイント数を更新するようになされている。

なお ASP 32 の管理サーバ 36 は、ビジターが行った金額の寄付データをクレジットカード番号データに基づいてクレジットカード会社の課金管理データベースに送信し、当該クレジットカード会社に対してビジターの寄付に対する課金処理を依頼する。

なおクライアント PC 4 の CPU は、上述した寄付処理の方法だけではなく、ASP 32 のコンテンツサーバ 39 から提供されたコンテンツとして例えば図 46 に示すようなコンテンツ表示画面 350 を表示部に表示した場合、当該コンテンツ表示画面 350 の寄付金額入力エリア 351 を介してユーザ所望の寄付金額を直接入力し得ると共に、隣接して設けられたアップボタン 352 又はダウンボタン 353 に対するユーザのクリック操作により当該寄付金額入力エリア 351 の寄付金額を所定最小単位額毎にアップダウンして変更し得るようになされている。

このコンテンツ表示画面 350 では、寄付金額入力エリア 351 に所定最小単位額以上の金額を入力可能としているが、ここで設定されている所定最小単位額とは、コンテンツ製作者に対してポイント還元可能な最小金額 (例えば 1 ポイント = 100 円であれば 100 円) である。

従ってユーザは、寄付金額入力エリア 351 に直接金額を入力した後に、さらにその金額を変更する場合には、アップボタン 352 又はダウンボタン 353 をクリックするだけで寄付金額を所定最小単位額毎に訂正することができ、また最

初から寄付金額の入力をやり直したい場合にはクリアボタン 354 をクリックすれば寄付金額入力エリア 351 の金額を一旦全てクリアすることができる。

そしてクライアント PC 4 の CPU は、ユーザによって寄付ボタン 355 がクリックされると、図 47 に示すような寄付確認画面 360 をコンテンツ表示画面 350 に代えて表示する。

因みにクライアント PC 4 の CPU は、ユーザによって終了ボタン 356 がクリックされると、寄付を行わないものと判断して強制的にコンテンツ表示画面 350 を終了するようになされている。

寄付確認画面 360 では、金額確認エリア 361 にコンテンツ表示画面 350 の寄付金額入力エリア 351 で入力された寄付金額が表示され、金額の訂正を希望する場合には当該金額確認エリア 361 で訂正希望金額を直接入力し得るようになされている。

また寄付確認画面 360 では、例えば支払い方法として、クレジットカードのチェックボックス 363、電子マネーのチェックボックス 364 又はポイントのチェックボックス 365 のいずれかを選択することにより、ユーザ所望の方式で寄付金額を支払うことができるようになされており、当該ユーザがパーソナルキャスティングサービスの登録ユーザでポイントを有している場合は当該ポイントで寄付を行うこともできるようになされている。

この寄付確認画面 360 で寄付金額及び支払い方法が決定された後に、「OK」ボタン 362 がユーザによってクリックされると、クライアント PC 4 の CPU は、ASP 32 の管理サーバ 36 を介して登録ユーザであるか否かを判定し、登録ユーザである場合には、「OK」ボタン 362 に対するワンクリックで図 48 に示すような寄付処理終了画面 370 を表示し、登録ユーザにおける寄付処理を終了する。

またクライアント PC 4 の CPU は、ASP 32 の管理サーバ 36 を介して登録ユーザであるか否かを判定した結果、登録ユーザでないことを認識した場合には、図 49 に示すようなクレジットカード番号入力画面 380 を表示し、登録ユ

ーザでないユーザに対して寄付行為を実行可能とするために、クレジットカード番号入力エリア 381 で当該ユーザのクレジットカード番号の入力を促し、送信ボタン 382 のワンクリックで当該クレジットカード番号及び寄付金額に応じた寄付データを ASP 32 の管理サーバ 36 へ送信するようになされている。

この後クライアント PC 4 の CPU は、ASP 32 の管理サーバ 36 を介して与信チェックが無事に終了したことを確認すると、寄付処理終画面 370 (図 48) を表示し、未登録ユーザにおける寄付処理を終了する。

(8) 月次ポイント清算処理

最後にコンテンツ提供システム 1 において、月単位で計算されるユーザ情報 DB テーブル 45 の累積ポイント数に応じた利益還元をコンテンツ制作者に対して行うときの月次ポイント清算処理について説明するが、その前に CM 映像付コンテンツがクライアント PC 4 に提供されるまでの CM 映像付コンテンツの提供処理手順についてまとめてみると、図 50 に示すルーチン RT 10 の開始ステップから入ってステップ SP 81 に移る。

ステップ SP 81 においてクライアント PC 4 の CPU は、チャンネル表示画面 150 (図 27) の中から所望のチャンネルボタン 155 がユーザによってクリックされたことを認識し、次のステップ SP 82 に移る。

ステップ SP 82 においてクライアント PC 4 の CPU は、選択されたチャンネルボタン 155 に対応するコンテンツ ID をインターネット 5 を介して ASP 32 の管理サーバ 36 へ送信し、次のステップ SP 83 に移る。

ステップ SP 83 において ASP 32 の管理サーバ 36 は、内部のハードディスクから立ち上げたコンテンツ提供プログラムを起動し、例えばクライアント PC 4 から送られてきたコンテンツ ID に基づいて提供スケジュール管理データベース 38 の中からオンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル 120 を検索し、ユーザ ID 及び CM リクエストの内容を確認し、次のステップ SP 84 に移る。

ステップS P 8 4においてA S P 3 2の管理サーバ3 6は、オンデマンド型提供スケジュールコントロールファイル1 2 0を確認した結果、CMリクエストが「CM有」になっているか否かを判定する。

ここで否定結果が得られると、このことはCMリクエストが「CM無」でクライアントP C 4へ提供されるコンテンツにCM映像が付加されない設定であることを表しており、このときA S P 3 2の管理サーバ3 6はステップS P 8 7に移って、CM映像の付加されていないコンテンツの動画像ファイルを提供し、次のステップS P 8 8で処理を終了する。

これに対してステップS P 8 4で肯定結果が得られると、このことはCMリクエストが「CM有」でクライアントP C 4へ提供されるコンテンツにCM映像が付加されるように設定されていることを表しており、このときA S P 3 2の管理サーバ3 6は次のステップS P 8 5に移る。

ステップS P 8 5においてA S P 3 2の管理サーバ3 6は、CM管理データベース4 4に格納されているCM映像をコンテンツサーバ3 9に格納されている動画像ファイルの先頭部分に付加することによりCM付動画像ファイルのコンテンツを生成し、これをコンテンツサーバ3 9に一旦格納した後に次のステップS P 8 6に移る。

ステップS P 8 6においてA S P 3 2の管理サーバ3 6は、CM付動画像ファイルのコンテンツをクライアントP C 4へ提供したとき、発生したポイントでユーザ情報データベース3 7におけるユーザ情報D Bテーブル4 5ファイルの累積ポイント数を更新し、次のステップS P 8 7に移る。

ステップS P 8 7においてA S P 3 2の管理サーバ3 6は、CMリクエストが「CM有」であった場合にコンテンツサーバ3 9からCM付動画像ファイルのコンテンツを読み出し、これをインターネット5を介してクライアントP C 4へ提供し、次のステップS P 8 8に移って処理を終了する。

このようにコンテンツ提供システム1において、A S P 3 2の管理サーバ3 6は、CMリクエストが「CM有」でコンテンツサーバ3 9からCM付動画像ファ

イルのコンテンツを読み出してクライアントPC4へ提供した場合に、ポイントが発生してユーザ情報DBテーブル45の累積ポイント数を更新するようになされている。

続いてコンテンツ提供システム1において、月単位で計算されるユーザ情報DBテーブル45の累積ポイント数に応じた利益還元処理をコンテンツ制作者に対して行うときの月次ポイント清算処理手順についてまとめてみると、図51に示すルーチンRT11の開始ステップから入ってステップSP91に移る。

ステップSP91においてASP32の管理サーバ36は、内部のハードディスクから立ち上げた利益還元プログラムに基づいて、ユーザPC2のISP31のインターネット接続料や当該ASP32のサービス利用料（「使い放題コース」が設定されていた場合はサービス利用料は一定である）を加算してユーザ情報DBテーブル45を更新し終わると、次のステップSP92に移る。

ステップSP92においてASP32の管理サーバ36は、ユーザ情報データベース37に格納されているユーザ情報DBテーブル45を参照して月単位の累積ポイント数を読み出し、次のステップSP93に移る。

ステップSP93においてASP32の管理サーバ36は、累積ポイント数が所定ポイント数以上残っているか否かを判定する。

ここで、否定結果が得られると、このことは累積ポイント数が所定ポイント数以上残っていないことを表しており、このときASP32の管理サーバ36は次のステップSP94に移る。

ステップSP94においてASP32の管理サーバ36は、月単位の累積ポイント数が所定ポイント数以上残っていないので、累積ポイント数に応じた利益還元処理を行わずに現時点でのサービス利用料の請求処理をユーザPC2に対して行い、次のステップSP101に移って処理を終了する。

これに対してステップSP93で肯定結果が得られると、このことは月単位の累積ポイント数が所定ポイント数以上残っていることを表しており、このときASP32の管理サーバ36は累積ポイント数に応じた利益還元処理を行うために

次のステップS P 9 5に移る。

ステップS P 9 5においてA S P 3 2の管理サーバ3 6は、ユーザ情報D Bテーブル4 5における累積ポイント数の相当額を当該A S P 3 2のサービス利用料から減算し、その減算処理したサービス利用料分のポイント数をユーザ情報D Bテーブル4 5の累積ポイント数から減算して更新し、次のステップS P 9 6に移る。

これによりユーザP C 2のコンテンツ制作者は、A S P 3 2からクレジットカード会社を通じて受ける支払い請求のサービス利用料が減額もしくは相殺され、累積ポイントに応じた利益還元処理を受けたことになる。

ステップS P 9 6においてA S P 3 2の管理サーバ3 6は、当該A S P 3 2のサービス利用料を利益還元した後の累積ポイント数が所定ポイント数以上残っているか否かを判定する。

ここで、否定結果が得られると、このことは累積ポイント数が所定ポイント数以上残っていないことを表しており、このときA S P 3 2の管理サーバ3 6は次のステップS P 9 4に移ってサービス利用料の請求処理を行い、次のステップS P 1 0 1で処理を終了する。

これに対してステップS P 9 6で肯定結果が得られると、このことは累積ポイント数が所定ポイント数以上残っていることを表しており、このときA S P 3 2の管理サーバ3 6は次のステップS P 9 7に移る。

ステップS P 9 7においてA S P 3 2の管理サーバ3 6は、I S P 3 1に対して累積ポイント数の相当額をユーザP C 2のインターネット接続料から減算処理し、その減算処理したインターネット接続料分のポイント数をユーザ情報D Bテーブル4 5の累積ポイント数から減算して更新した後、次のステップS P 9 8に移る。

これによりユーザP C 2のコンテンツ制作者は、I S P 3 1からクレジットカード会社を通じて受ける支払い請求のインターネット接続料が減額もしくは相殺され、A S P 3 2のサービス利用料に続いて累積ポイント数に応じた利益還元処

理を受けたことになる。

ステップSP98においてASP32の管理サーバ36は、この段階で未だ累積ポイント数が残っているか否かを判定する。ここで、累積ポイント数が100万ポイント以上残っていた場合、ASP32の管理サーバ36は次のステップSP99に移る。

ステップSP99においてASP32の管理サーバ36は、累積ポイント数の100万ポイント超過分をクレジットカード会社を通じて例えば決済データから減算して決済処理するように当該クレジットカード会社に指示した後、100万ポイント超過分のポイント数をユーザ情報DBテーブル45の累積ポイント数から減算して累積ポイント数を新たに更新し、再度ステップSP98に戻る。

これに対してステップSP98で累積ポイント数が100万ポイント以下で10万ポイント以上残っていた場合、ASP32の管理サーバ36は次のステップSP100に移る。

ステップSP100においてASP32の管理サーバ36は、オンライン通信販売会社6にインターネット5を介して累積ポイント数の10万ポイント超過分のポイントデータを転送した後、ユーザ情報DBテーブル45の累積ポイント数から10万ポイント超過分のポイント数を減算して累積ポイント数を新たに更新し、次のステップSP101で処理を終了する。

この場合オンライン通信販売会社6のオンライン通信販売管理装置は、ユーザ登録時にASP32から転送されたユーザ情報DBテーブル45の内容に基づいてコンテンツ制作者の住所や電子メールアドレス等の個人情報を認識しており、10万ポイント超過分のポイント数に応じた所定の商品をユーザPC2のコンテンツ制作者に対して宅配することにより、利益還元処理を行うようになっている。

さらにステップSP98で累積ポイント数が10万ポイント以上残っていなかった場合、ASP32の管理サーバ36はステップSP94に移って、サービス利用料の請求処理を行い、次のステップSP101で処理を終了する。

(9) 本実施の形態における動作及び効果

以上の構成において、クライアントPC 4はASP 3 2からダウンロードしたコンテンツのCM付動画像ファイルに基づいて表示したオンデマンド型のコンテンツ表示画面1 6 5 (図2 8) や、ライブ映像のコンテンツのCM付動画像データに基づいて表示したライブ型のコンテンツ表示画面2 4 0 (図4 0) 及びコンテンツ表示画面2 6 0 (図4 4) にそれぞれ設けられた寄付ボタン1 6 7、2 4 2及び2 6 2が、コンテンツを視聴したユーザによってクリックされると、当該寄付ボタン1 6 7、2 4 2及び2 6 2の隣に寄付金額選択画面2 7 0 (図4 5) を表示する。

そしてクライアントPC 4のCPUは、寄付金額選択画面2 7 0における寄付金選択ボタン2 7 1～2 7 6の中から寄付したい金額に相当する寄付金選択ボタンがクライアントPC 4のユーザによってクリックされると、選択された寄付金選択ボタンに対応する金額の寄付データを生成し、これをインターネット5を介してASP 3 2の管理サーバ3 6に送信する。

ASP 3 2の管理サーバ3 6は、クライアントPC 4から送られてきた寄付データを所定の換算率でポイントに換算し、コンテンツIDに対応するユーザ情報DBテーブル4 5の累積ポイント数を寄付データに基づくポイントで更新する。

このようにクライアントPC 4は、寄付データをASP 3 2の管理サーバ3 6に送信し、当該管理サーバ3 6によって寄付データを基に換算したポイントをコンテンツIDに対応するユーザ情報DBテーブル4 5の累積ポイント数に加算して更新することにより、インターネット5を介して送信した寄付データという形でコンテンツ制作者に対する寄付行為を容易に実行することができる。

このときクライアントPC 4のCPUは、寄付データに対応する金額の課金データを生成し、これをインターネット5を介してASP 3 2の管理サーバ3 6へ送信する。これによりASP 3 2の管理サーバ3 6は、クライアントPC 4から送られた課金データをビューワー情報データベース4 0のビューワー情報ファイ

ルに記録し、後程クライアントPC4のユーザに対して課金処理を実行する。

以上の構成によれば、クライアントPC4は寄付ボタンのクリック操作に基づいて所定金額の寄付データを生成し、これをインターネット5を介してASP32の管理サーバ36に送信することにより、当該管理サーバ36を介して寄付データに応じたポイントとしてコンテンツ制作者への寄付行為をオンライン上で容易に実行することができる。

(10) 第2の実施の形態

図52において、400は全体としてインターネットを利用した電子商取引を実現する本発明の第2の実施の形態におけるネットワークシステムを示し、通信サービスの提供エリアを所望の大きさに分割したセル内にそれぞれ固定無線局である基地局CS1～CS4が設置され、当該基地局CS1～CS4と移動無線局である携帯情報端末MS1及びMS2やカメラ付デジタル携帯電話機MS3及びMS4が無線接続されている。

これらの基地局CS1～CS4と、携帯情報端末MS1及びMS2やカメラ付デジタル携帯電話機MS3及びMS4とは、例えばW-CDMA (Wide band-Code Division Multiple Access) と呼ばれる符号分割多元接続方式によって無線接続されるようになされており、2 [GHz] の周波数帯域を使用して最大2 [Mbps] のデータ転送速度で大容量データを高速にデータ通信し得るようになされている。

このように携帯情報端末MS1及びMS2やカメラ付デジタル携帯電話機MS3及びMS4は、W-CDMA方式によって大容量データを高速にデータ通信し得るようになされていることにより、音声通話だけでなく電子メールの送受信、簡易ホームページの閲覧、画像の送受信等の多種に及ぶデータ通信を実行し得るようになされている。

また基地局CS1～CS4は、有線回線を介して公衆回線網INWに接続されており、当該公衆回線網INWにはインターネット5を介して図示しない多くの

加入者有線端末、コンピュータネットワーク、企業内ネットワークやコンテンツサーバTS及び第1の実施の形態におけるコンテンツ提供プロバイダ3等が接続されている。

このコンテンツサーバTSは、加入者有線端末や携帯情報端末MS1、MS2及びカメラ付デジタル携帯電話機MS3、MS4からの要求に応じて例えば簡易ホームページ等のコンテンツを例えばコンパクトHTML (Hyper Text Markup Language) 形式のファイルとして提供するようになされている。

因みに携帯情報端末MS1、MS2及びカメラ付デジタル携帯電話機MS3、MS4は、基地局CS1～CS4までを2 [Mbps] の簡易トランスポートプロトコルで通信し、当該基地局CS1～CS4からインターネット5を介してコンテンツサーバTS及びコンテンツ提供プロバイダ3までをTCP/IPプロトコルで通信するようになされている。

なお管理制御装置MCUは、公衆回線網INWを介して加入者有線端末や携帯情報端末MS1、MS2及びカメラ付デジタル携帯電話機MS3、MS4に接続されており、当該加入者有線端末や携帯情報端末MS1、MS2及びカメラ付デジタル携帯電話機MS3、MS4に対する認証処理や課金処理等を行うようになされている。

(11) カメラ付デジタル携帯電話機の外観構成

次に、カメラ付デジタル携帯電話機MS3の外観構成について説明する。図53に示すようにカメラ付デジタル携帯電話機MS3は、中央のヒンジ部411を境に表示部412と本体413とに分けられており、当該ヒンジ部411を介して折り畳み可能に形成されている。

表示部412には、上端左部に送受信用のアンテナ414が引出し及び収納可能な状態に取り付けられており、当該アンテナ414を介して基地局CS3との間で電波を送受信するようになされている。

また表示部 4 1 2 には、上端中央部にほぼ 1 8 0 度の角度範囲で回動自在なカメラ部 4 1 5 が設けられており、当該カメラ部 4 1 5 の CCD カメラ 4 1 6 によって所望の撮像対象を撮像し得るようになされている。

ここで表示部 4 1 2 は、カメラ部 4 1 5 がユーザによってほぼ 1 8 0 度回動されて位置決めされた場合、図 5 4 に示すように当該カメラ部 4 1 5 の背面側中央に設けられたスピーカ 4 1 7 が正面側に位置することになり、これにより通常の音声通話状態に切り換わるようになされている。

さらに表示部 4 1 2 には、その正面に液晶ディスプレイ 4 1 8 が設けられており、電波の受信状態、電池残量、電話帳として登録されている相手先名や電話番号及び発信履歴等の他、電子メールの内容、簡易ホームページ、カメラ部 4 1 5 の CCD カメラ 4 1 6 で撮像した種々の画像を表示し得るようになされている。

一方、本体 4 1 3 には、その表面に「0」～「9」の数字キー、発呼キー、リダイヤルキー、終話及び電源キー、クリアキー及び電子メールキー等の操作キー 4 1 9 が設けられており、当該操作キー 4 1 9 を用いて各種指示を入力し得るようになされている。

また本体 4 1 3 には、操作キー 4 1 9 の下部にメモボタン 4 2 0 やマイクロフォン 4 2 1 が設けられており、当該メモボタン 4 2 0 によって通話中の相手の音声を録音し得ると共に、マイクロフォン 4 2 1 によって通話時のユーザの音声を集音するようになされている。

さらに本体 4 1 3 には、操作キー 4 1 9 の上部に回動自在なジョグダイヤル 4 2 2 が当該本体 4 1 3 の表面から僅かに突出した状態で設けられており、当該ジョグダイヤル 4 2 2 に対する回動操作に応じて液晶ディスプレイ 4 1 8 に表示されている電話帳リストや電子メールのスクロール動作、簡易ホームページのページ捲り動作及び画像の送り動作等の種々の動作を実行するようになされている。

例えば本体 4 1 3 は、ユーザによるジョグダイヤル 4 2 2 の回動操作に応じて液晶ディスプレイ 4 1 8 に表示された電話帳リストの中から所望の電話番号が選択され、当該ジョグダイヤル 4 2 2 が本体 4 1 3 の内部方向に押圧されると、選

択された電話番号を確定して当該電話番号に対して自動的に発呼処理を行うようになされている。

なお本体 4 1 3 は、背面側に図示しないバッテリーパックが挿着されており、終話及び電源キーがオン状態になると、当該バッテリーパックから各回路部に対して電力が供給されて動作可能な状態に起動する。

ところで本体 4 1 3 には、当該本体 4 1 3 の左側面上部に抜差自在なメモリスティック（ソニー（株）商標）4 2 3 を挿着するためのメモリスティックスロット 4 2 4 が設けられており、メモボタン 4 2 0 が押下されるとメモリスティック 4 2 3 に通話中の相手の音声を記録したり、ユーザの操作に応じて電子メール、簡易ホームページ、CCDカメラ 4 1 6 で撮像した画像を記録し得るようになされている。

ここでメモリスティック 4 2 3 は、本願出願人であるソニー株式会社によって開発されたフラッシュメモリカードの一種である。このメモリスティック 4 2 3 は、縦 21.5 × 横 50 × 厚さ 2.8 [mm] の小型薄型形状のプラスチックケース内に電氣的に書換えや消去が可能な不揮発性メモリである EEPROM（Electrically Erasable and Programmable Read Only Memory）の一種であるフラッシュメモリ素子を格納したものであり、10ピン端子を介して画像や音声、音楽等の各種データの書き込み及び読み出しが可能となっている。

またメモリスティック 4 2 3 は、大容量化等による内蔵フラッシュメモリの仕様変更に対しても、使用する機器で互換性を確保することができる独自のシリアルプロトコルを採用し、最大書込速度 1.5 [MB/S]、最大読出速度 2.45 [MB/S] の高速性能を実現していると共に、誤消去防止スイッチを設けて高い信頼性を確保している。

従ってカメラ付デジタル携帯電話機 MS 3 は、このようなメモリスティック 4 2 3 を挿着可能に構成されているために、当該メモリスティック 4 2 3 を介して他の電子機器との間でデータの共有化を図ることができるようになされている。

。

(12) カメラ付デジタル携帯電話機の回路構成

図55に示すように、カメラ付デジタル携帯電話機MS3は、表示部412及び本体413の各部を統括的に制御するようになされた主制御部450に対して、電源回路部451、操作入力制御部452、画像エンコーダ453、カメラインターフェース部454、LCD(Liquid Crystal Display)制御部455、画像デコーダ456、多重分離部457、記録再生部462、変復調回路部458及び音声コーデック459がメインバス460を介して互いに接続されると共に、画像エンコーダ453、画像デコーダ456、多重分離部457、変復調回路部458及び音声コーデック459が同期バス461を介して互いに接続されて構成されている。

電源回路部451は、ユーザの操作により終話及び電源キーがオン状態にされると、バッテリーパックから各部に対して電力を供給することによりカメラ付デジタル携帯電話機MS3を動作可能な状態に起動する。

カメラ付デジタル携帯電話機MS3は、CPU、ROM及びRAM等である主制御部450の制御に基づいて、音声通話モード時にマイクロフォン421で集音した音声信号を音声コーデック459によってデジタル音声データに変換し、これを変復調回路部458でスペクトラム拡散処理し、送受信回路部462でデジタルアナログ変換処理及び周波数変換処理を施した後にアンテナ414を介して送信する。

またカメラ付デジタル携帯電話機MS3は、音声通話モード時にアンテナ414で受信した受信信号を増幅して周波数変換処理及びアナログデジタル変換処理を施し、変復調回路部458でスペクトラム逆拡散処理し、音声コーデック459によってアナログ音声信号に変換した後、これをスピーカ417を介して出力する。

さらにカメラ付デジタル携帯電話機MS3は、データ通信モード時に電子メ

ールを送信する場合、操作キー４１９及びジョグダイヤル４２２の操作によって入力された電子メールのテキストデータを操作入力制御部４５２を介して主制御部４５０に送出する。

主制御部４５０は、テキストデータを変復調回路部４５８でスペクトラム拡散処理し、送受信回路部４６２でディジタルアナログ変換処理及び周波数変換処理を施した後にアンテナ４１４を介して基地局ＣＳ３（図５２）へ送信する。

これに対してカメラ付ディジタル携帯電話機ＭＳ３は、データ通信モード時に電子メールを受信する場合、アンテナ４１４を介して基地局ＣＳ３から受信した受信信号を変復調回路部４５８でスペクトラム逆拡散処理して元のテキストデータを復元した後、ＬＣＤ制御部４５５を介して液晶ディスプレイ４１８に電子メールとして表示する。

この後カメラ付ディジタル携帯電話機ＭＳ３は、ユーザの操作に応じて受信した電子メールを記録再生部４６２を介してメモリスティック４２３に記録することも可能である。

さらにカメラ付ディジタル携帯電話機ＭＳ３は、データ通信モード時に画像データを送信する場合、ＣＣＤカメラ４１６で撮像された画像データをカメラインターフェース部４５４を介して画像エンコーダ４５３に供給する。

因みにカメラ付ディジタル携帯電話機ＭＳ３は、画像データを送信しない場合には、ＣＣＤカメラ４１６で撮像した画像データをカメラインターフェース部４５４及びＬＣＤ制御部４５５を介して液晶ディスプレイ４１８に直接表示することも可能である。

画像エンコーダ４５３は、ＣＣＤカメラ４１６から供給された画像データを例えばＭＰＥＧ（Moving Picture Experts Group）２やＭＰＥＧ４等の所定の符号化方式によって圧縮符号化することにより符号化画像データに変換し、これを多重分離部４５７に送出する。

このとき同時にカメラ付ディジタル携帯電話機ＭＳ３は、ＣＣＤカメラ４１６で撮像中にマイクロフォン４２１で集音した音声を音声コーデック４５９を介し

てデジタルの音声データとして多重分離部 4 5 7 に送出する。

多重分離部 4 5 7 は、画像エンコーダ 4 5 3 から供給された符号化画像データと音声コーデック 4 5 9 から供給された音声データとを所定の方式で多重化し、その結果得られる多重化データを変復調回路部 4 5 8 でスペクトラム拡散処理し、送受信回路部 4 6 2 でデジタルアナログ変換処理及び周波数変換処理を施した後にアンテナ 4 1 4 を介して送信する。

これに対してカメラ付デジタル携帯電話機 MS 3 は、データ通信モード時に例えば簡易ホームページ等の画像データを受信する場合、アンテナ 4 1 4 を介して基地局 CS 3 から受信した受信信号を変復調回路部 4 5 8 でスペクトラム逆拡散処理し、その結果得られる多重化データを多重分離部 4 5 7 に送出する。

多重分離部 4 5 7 は、多重化データを分離することにより符号化画像データと音声データとに分け、同期バス 4 6 1 を介して当該符号化画像データを画像デコーダ 4 5 6 に供給すると共に当該音声データを音声コーデック 4 5 9 に供給する。

画像デコーダ 4 5 6 は、符号化画像データを M P E G 2 や M P E G 4 等の所定の符号化方式に対応した復号化方式でデコードすることにより再生画像データを生成し、これを L C D 制御部 4 5 5 を介して液晶ディスプレイ 4 1 8 に、例えば簡易ホームページにリンクされた画像として表示する。

このとき同時に音声コーデック 4 5 9 は、音声データをアナログ音声信号に変換した後、これをスピーカ 4 1 7 を介して、例えば簡易ホームページにリンクされた音声として出力する。

この場合も電子メールの場合と同様にカメラ付デジタル携帯電話機 MS 3 は、受信した簡易ホームページの画像データをユーザの操作により記録再生部 4 6 2 を介してメモリスティック 4 2 3 に記録することが可能である。

かかる構成に加えてカメラ付デジタル携帯電話機 MS 3 は、主制御部 4 5 0 の ROM に第 1 の実施の形態と同様にパーソナルキャッシングサービスを受けるためのアプリケーションプログラム及び寄付行為を行うための寄付プログラム

が格納されており、インターネット5を介してアクセスしたコンテンツ提供プロバイダ3（図2）からオンデマンド型又はライブ型のコンテンツを受信して、例えばそのコンテンツ表示画面350（図46）を表示する。

カメラ付デジタル携帯電話機MS3は、コンテンツ表示画面350を視認したユーザによって寄付金額入力エリア351に当該ユーザ所望の金額が入力されて寄付ボタン355がワンクリックされるだけで、当該金額に応じた寄付データをASP32の管理サーバ36へ送信すると共に、寄付データに応じた課金データをASP32の管理サーバ36へ送信することにより寄付処理を実行するようになされている。

なおカメラ付デジタル携帯電話機MS3は、寄付ボタン355がクリックされたときに寄付確認画面360を表示し、当該寄付確認画面360で寄付金額の確認がされた後に「OK」ボタン362がクリックされたときに、当該金額に応じた寄付データをASP32の管理サーバ36へ送信するようにしても良い。

すなわちカメラ付デジタル携帯電話機MS3は、第1の実施の形態におけるクライアントPC4と同様にコンテンツに対する寄付処理を実行するようになされており、屋内のみならずモバイル端末として屋外であってもコンテンツの提供を受け、そのコンテンツに対する寄付行為をネットワーク上で容易に実行し得るようになされている。

ここでASP32の管理サーバ36の処理としては、第1の実施の形態と同様であり、カメラ付デジタル携帯電話機MS3から送られてきた寄付データを所定の換算率でポイントに換算し、コンテンツIDに対応するユーザ情報DBテーブル45をユーザ情報データベース37から検索し、そのユーザ情報DBテーブル45の累積ポイント数を寄付データに基づくポイントで更新する。

またASP32の管理サーバ36は、カメラ付デジタル携帯電話機MS3から送られてきた寄付データに応じた課金データを当該カメラ付デジタル携帯電話機MS3のASP32に対するサービス利用料と共にビューワー情報データベース40のビューワー情報ファイルに記録することにより課金処理を行う。

このようにネットワークシステム400は、第1の実施の形態と同様に、コンテンツ提供プロバイダ3からカメラ付デジタル携帯電話機MS3でコンテンツの提供を受け、当該カメラ付デジタル携帯電話機MS3に表示したコンテンツ表示画面350を介してそのコンテンツに対する寄付データをワンクリックで間接的に実行し得るようにしたことにより、カメラ付デジタル携帯電話機MS3のユーザからコンテンツ製作者に対する寄付行為をオンライン上で容易に実行することができる。

(13) 他の実施の形態

なお上述の第1及び第2の実施の形態においては、寄付ボタンのクリック操作に基づいて寄付金額選択画面270の中から選択された金額に対応する寄付データを生成してASP32の管理サーバ36へ送信するようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、クライアントPC4又はカメラ付デジタル携帯電話機MS3のユーザが書き込んだ任意の金額に対応する寄付データを生成してASP32の管理サーバ36へ送信するようにしても良い。この場合にも、上述の実施の形態と同様の効果を得ることができる。

また上述の第1及び第2の実施の形態においては、寄付データを生成してASP32の管理サーバ36へ送信するための寄付プログラムがクライアントPC4又はカメラ付デジタル携帯電話機MS3に予めインストールされている場合について述べたが、本発明はこれに限らず、寄付プログラムの格納された例えばCD-ROM (Compact Disc-Read Only Memory)、DVD (Digital Video Disc)等のパッケージメディアでなるプログラム格納媒体を再生することにより寄付プログラムをインストールしても良く、また寄付プログラムが一時的もしくは永続的に格納される半導体メモリや光磁気ディスク等のプログラム格納媒体を再生することにより寄付プログラムをインストールしても良い。

これらのプログラム格納媒体に寄付プログラムを格納する手段としてはローカ

ルエリアネットワーク、デジタル衛星放送等の有線及び無線通信媒体を利用しても良く、ルータやモデム等の各種通信インターフェースを介在させて格納するようにしても良い。

さらに上述の第1及び第2の実施の形態においては、ASP32の管理サーバ36がコンテンツを提供する対象としてクライアントPC4又はカメラ付デジタル携帯電話機MS3を用いるようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、インターネット5を介して接続されるものであれば携帯情報端末MS1、MS2等を用いるようにしても良い。

さらに上述の第1及び第2の実施の形態においては、オンデマンド型のコンテンツ表示画面165（図28）や、ライブ型のコンテンツ表示画面240（図40）及びコンテンツ表示画面260（図44）に表示したオンデマンド型又はライブ型のコンテンツに対して寄付行為を実行するようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、一般的なホームページ、当該ホームページのデザインや企画力、機能性、情報提供の質等に対して寄付行為を実行したり、あるいはニュース、詩、小説、解説記事、評論やコメント等の活字媒体コンテンツ、写真、イラスト、絵画及びコンピュータグラフィックス等の静止画コンテンツに関する個人の表現物に対して寄付行為を実行するようにしても良い。

さらに上述の第1及び第2の実施の形態においては、寄付を行うために寄付ボタンを設けてコンテンツ制作者に対して寄付を行うようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、ライブ映像で結婚式のコンテンツを提供したときには祝儀ボタンを設けてコンテンツ制作者に対してご祝儀を寄付データとして送るようにしたり、また提供を受けたコンテンツの内容に応じて、投げ銭、香典、出産祝い、内祝い、誕生祝い、新築祝い、引越し祝い、入学祝い、卒業祝い、いわゆる薄謝、チップ、心づけ等のお祝い事に関する種々の寄付を行うようにしても良い。

さらに上述の第1及び第2の実施の形態においては、ネットワークとしてインターネット5を用いるようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず

、有線又は無線で構築された他の種々のネットワークを用いても良い。

産業上の利用の可能性

本発明の寄付処理装置、寄付処理方法、寄付受付装置、寄付受付方法、プログラム格納媒体及び寄付処理システムは、例えばコンテンツを提供するコンテンツサーバと当該コンテンツの提供を受けるクライアントとをネットワークを介して接続することにより構築されるコンテンツ提供システムに適応される。

請 求 の 範 囲

1. コンテンツ提供装置からネットワークを介して供給されたコンテンツの画像データを受信する受信手段と、

上記受信手段によって受信した上記画像データに基づいて所定の寄付ボタンが設けられたコンテンツ表示画面を表示する表示手段と、

上記コンテンツ表示画面の中から上記寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応した所定金額の寄付データを生成する寄付データ生成手段と、

上記寄付データ生成手段によって生成された上記寄付データを上記ネットワークを介して上記コンテンツ提供装置に送信する送信手段と

を具えることを特徴とする寄付処理装置。

2. 上記寄付データ生成手段は、上記寄付ボタンが選択されたことに応じて複数種類の金額を示す寄付金額選択画面を上記表示手段に表示し、当該寄付金額選択画面の中で選択された上記金額に対応する上記寄付データを生成する

ことを特徴とする請求の範囲第1項に記載の寄付処理装置。

3. 上記寄付データ生成手段は、上記寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応する寄付金額入力欄に直接入力された金額の上記寄付データを生成する

ことを特徴とする請求の範囲第1項に記載の寄付処理装置。

4. 上記寄付データ生成手段は、上記寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応する寄付金額入力欄に直接入力された金額をユーザの操作により所定最小単位額以上で変更し、当該変更後の金額の上記寄付データを生成する

ことを特徴とする請求の範囲第1項に記載の寄付処理装置。

5. コンテンツ提供装置からネットワークを介して供給されたコンテンツの画像データを受信する受信ステップと、

上記受信ステップで受信した上記画像データに基づいて所定の寄付ボタンが設けられたコンテンツ表示画面を表示する表示ステップと、

上記コンテンツ表示画面の中から上記寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応した所定金額の寄付データを生成する寄付データ生成ステップと、

上記寄付データ生成ステップで生成された上記寄付データを上記ネットワークを介して上記コンテンツ提供装置に送信する送信ステップと

を具えることを特徴とする寄付処理方法。

6. 上記寄付データ生成ステップは、上記寄付ボタンが選択されたことに応じて複数種類の金額を示す寄付金額選択画面を表示し、当該寄付金額選択画面の中で選択された上記金額に対応する上記寄付データを生成する

ことを特徴とする請求の範囲第5項に記載の寄付処理方法。

7. 上記寄付データ生成ステップは、上記寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応する寄付金額入力欄に直接入力された金額の上記寄付データを生成する

ことを特徴とする請求の範囲第5項に記載の寄付処理方法。

8. 上記寄付データ生成ステップは、上記寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応する寄付金額入力欄に直接入力された金額をユーザの操作により所定最小単位額以上で変更し、当該変更後の金額の上記寄付データを生成する

ことを特徴とする請求の範囲第5項に記載の寄付処理方法。

9. 供給したコンテンツに対する評価としてユーザが任意に決定した金額の寄付データを当該ユーザの端末装置から受信する寄付データ受信手段と、

上記寄付データを上記コンテンツに対応付けて記憶する記憶手段と、
上記寄付データに応じた上記金額を上記ユーザに対して課金する課金処理手段
と
を具えることを特徴とする寄付受付装置。

10. 上記寄付データ受付手段は、所定の最小単位額以上でなる上記金額の上記寄付データについてのみ受信する

ことを特徴とする請求の範囲第9項に記載の寄付受付装置。

11. 供給したコンテンツに対する評価としてユーザが任意に決定した金額の寄付データを当該ユーザの端末装置から受信する寄付データ受信ステップと、
上記寄付データを上記コンテンツに対応付けて記憶する記憶ステップと、
上記寄付データに応じた上記金額を上記ユーザに対して課金する課金処理ステップと

を具えることを特徴とする寄付受付方法。

12. 上記寄付データ受付ステップでは、所定の最小単位額以上でなる上記金額の上記寄付データについてのみ受信する

ことを特徴とする請求の範囲第11項に記載の寄付受付方法。

13. コンテンツ提供装置からネットワークを介して供給されたコンテンツの画像データを受信する受信ステップと、

上記受信ステップで受信した上記画像データに基づいて所定の寄付ボタンが設けられたコンテンツ表示画面を表示する表示ステップと、

上記コンテンツ表示画面の中から上記寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応した所定金額の寄付データを生成する寄付データ生成ステップと、

上記寄付データ生成ステップで生成された上記寄付データを上記ネットワーク



を介して上記コンテンツ提供装置に送信する送信ステップと

を具えることを特徴とするプログラムを情報処理装置に実行させるプログラム格納媒体。

14. 上記寄付データ生成ステップは、上記寄付ボタンが選択されたことに応じて複数種類の金額を示す寄付金額選択画面を表示し、当該寄付金額選択画面の中で選択された上記金額に対応する上記寄付データを生成する

ことを特徴とする請求の範囲第13項に記載のプログラム格納媒体。

15. 上記寄付データ生成ステップは、上記寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応する寄付金額入力欄に直接入力された金額の上記寄付データを生成する

ことを特徴とする請求の範囲第13項に記載のプログラム格納媒体。

16. 上記寄付データ生成ステップは、上記寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応する寄付金額入力欄に直接入力された金額をユーザの操作により所定最小単位額以上で変更し、当該変更後の金額の上記寄付データを生成することを特徴とする請求の範囲第13項に記載のプログラム格納媒体。

17. 供給したコンテンツに対する評価としてユーザが任意に決定した金額の寄付データを当該ユーザの端末装置から受信する寄付データ受信ステップと、

上記寄付データを上記コンテンツに対応付けて記憶する記憶ステップと、

上記寄付データに応じた上記金額を上記ユーザに対して課金する課金処理ステップと

を具えることを特徴とするプログラムを情報処理装置に実行させるプログラム格納媒体。

18. 上記寄付データ受付ステップでは、所定の最小単位額以上でなる上記金額の上記寄付データについてのみ受信する

ことを特徴とする請求の範囲第17項に記載のプログラム格納媒体。

19. 要求に応じてコンテンツを提供するコンテンツ提供装置と、

上記コンテンツ提供装置からネットワークを介して供給された上記コンテンツを受け、当該コンテンツの制作者に対して寄付を行う寄付処理装置と

によって構成される寄付処理システムにおいて、

上記寄付処理装置は、

上記コンテンツ提供装置から上記ネットワークを介して供給された上記コンテンツの画像データを受信する受信手段と、

上記受信手段によって受信した上記画像データに基づいて所定の寄付ボタンが設けられたコンテンツ表示画面を表示する表示手段と、

上記コンテンツ表示画面の中から上記寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応した所定金額の寄付データを生成する寄付データ生成手段と、

上記寄付データ生成手段によって生成された上記寄付データを上記ネットワークを介して上記コンテンツ提供装置に送信する送信手段と

を具え、

上記コンテンツ提供装置は、

上記寄付処理装置から上記ネットワークを介して送信された上記寄付データを受け、当該寄付データを上記コンテンツに対応付けて記憶する記憶手段と、

上記寄付データに応じた金額を上記寄付処理装置のユーザに対して課金する課金処理手段と

を具えることを特徴とする寄付処理システム。

20. 上記寄付データ生成手段は、

上記寄付ボタンが選択されたことに応じて複数種類の金額を示す寄付金額選択

画面を上記表示手段に表示し、当該寄付金額選択画面の中で選択された上記金額に対応する上記寄付データを生成する

ことを特徴とする請求の範囲第 19 項に記載の寄付処理システム。

21. 上記寄付データ生成手段は、上記寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応する寄付金額入力欄に直接入力された金額の上記寄付データを生成する

ことを特徴とする請求の範囲第 19 項に記載の寄付処理システム。

22. 上記寄付データ生成手段は、上記寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応する寄付金額入力欄に直接入力された金額をユーザの操作により所定最小単位額以上で変更し、当該変更後の金額の上記寄付データを生成する

ことを特徴とする請求の範囲第 19 項に記載の寄付処理システム。

23. 上記記憶手段は、所定の最小単位額以上でなる上記金額の上記寄付データについてのみ受け、当該寄付データを上記コンテンツに対応付けて記憶する

ことを特徴とする請求の範囲第 19 項に記載の寄付処理システム。

補正書の請求の範囲

[2001年6月29日(29.06.01)国際事務局受理:新しい請求の範囲24-29が加えられた;他の請求の範囲は変更なし。(4頁)]

画面を上記表示手段に表示し、当該寄付金額選択画面の中で選択された上記金額に対応する上記寄付データを生成する

ことを特徴とする請求の範囲第19項に記載の寄付処理システム。

21. 上記寄付データ生成手段は、上記寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応する寄付金額入力欄に直接入力された金額の上記寄付データを生成する

ことを特徴とする請求の範囲第19項に記載の寄付処理システム。

22. 上記寄付データ生成手段は、上記寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応する寄付金額入力欄に直接入力された金額をユーザの操作により所定最小単位額以上で変更し、当該変更後の金額の上記寄付データを生成する

ことを特徴とする請求の範囲第19項に記載の寄付処理システム。

23. 上記記憶手段は、所定の最小単位額以上でなる上記金額の上記寄付データについてのみ受け、当該寄付データを上記コンテンツに対応付けて記憶する

ことを特徴とする請求の範囲第19項に記載の寄付処理システム。

24. (追加)コンテンツ提供装置からネットワークを介して供給されたコンテンツの画像データを受信する受信手段と、

上記受信手段によって受信した上記画像データに基づいて所定の寄付ボタンが設けられたコンテンツ表示画面を表示する表示手段と、

上記コンテンツ表示画面の中から上記寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応した所定金額の寄付データを生成する寄付データ生成手段と、

上記寄付データ生成手段によって生成された上記寄付データを上記ネットワークを介して上記コンテンツ提供装置に送信する送信手段とを具え、

上記寄付データは上記コンテンツを提供するユーザに対応するユーザ情報に加

算するようになされ、上記ユーザ情報からは上記コンテンツを供給する際に発生するサービス利用料が課金されてなる

ことを特徴とする寄付処理装置。

25. (追加)コンテンツ提供装置からネットワークを介して供給されたコンテンツの画像データを受信する受信ステップと、

上記受信ステップで受信した上記画像データに基づいて所定の寄付ボタンが設けられたコンテンツ表示画面を表示する表示ステップと、

上記コンテンツ表示画面の中から上記寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応した所定金額の寄付データを生成する寄付データ生成ステップと、

上記寄付データ生成ステップで生成された上記寄付データを上記ネットワークを介して上記コンテンツ提供装置に送信する送信ステップとを具え、

上記寄付データは上記コンテンツを提供するユーザに対応するユーザ情報に加算するようになされ、上記ユーザ情報からは上記コンテンツを供給する際に発生するサービス利用料が課金されてなる

ことを特徴とする寄付処理方法。

26. (追加)供給したコンテンツに対する評価としてユーザが任意に決定した金額の寄付データを当該ユーザの端末装置から受信する寄付データ受信手段と、

上記寄付データを上記コンテンツに対応付けて記憶する記憶手段と、

上記寄付データに応じた上記金額を上記ユーザに対して課金する課金処理手段とを具え、

上記課金処理手段は、上記寄付データに応じた上記金額を、上記コンテンツを供給するユーザに対応するユーザ情報に加算するようになし、上記ユーザ情報からは上記コンテンツを供給する際に発生するサービス利用料が課金されてなる

ことを特徴とする寄付受付装置。

27. (追加) 供給したコンテンツに対する評価としてユーザが任意に決定した金額の寄付データを当該ユーザの端末装置から受信する寄付データ受信ステップと

、
上記寄付データを上記コンテンツに対応付けて記憶する記憶ステップと、
上記寄付データに応じた上記金額を上記ユーザに対して課金する課金処理ステップとを具え、

上記課金処理ステップは、上記寄付データに応じた上記金額を、上記コンテンツを供給するユーザに対応するユーザ情報に加算するようになし、

上記ユーザ情報からは、上記コンテンツを供給する際に発生するサービス利用料が課金されてなる

ことを特徴とする寄付受付方法。

28. (追加) 供給したコンテンツに対する評価としてユーザが任意に決定した金額の寄付データを当該ユーザの端末装置から受信する寄付データ受信ステップと

、
上記寄付データを上記コンテンツに対応付けて記憶する記憶ステップと、
上記寄付データに応じた上記金額を上記ユーザに対して課金する課金処理ステップとを具え、

上記課金処理ステップは、上記寄付データに応じた上記金額を、上記コンテンツを供給するユーザに対応するユーザ情報に加算するようになし、

上記ユーザ情報からは、上記コンテンツを供給する際に発生するサービス利用料が課金されてなる

ことを特徴とするプログラムを情報処理装置に実行させるプログラム格納媒体

29. (追加) 要求に応じてコンテンツを提供するコンテンツ提供装置と、
上記コンテンツ提供装置からネットワークを介して供給された上記コンテンツ

を受け、当該コンテンツの制作者に対して寄付を行う寄付処理装置とによって構成される寄付処理システムにおいて、

上記寄付処理装置は、

上記コンテンツ提供装置から上記ネットワークを介して供給された上記コンテンツの画像データを受信する受信手段と、

上記受信手段によって受信した上記画像データに基づいて所定の寄付ボタンが設けられたコンテンツ表示画面を表示する表示手段と、

上記コンテンツ表示画面の中から上記寄付ボタンが選択されたとき、当該寄付ボタンに対応した所定金額の寄付データを生成する寄付データ生成手段と、

上記寄付データ生成手段によって生成された上記寄付データを上記ネットワークを介して上記コンテンツ提供装置に送信する送信手段とを具え、

上記コンテンツ提供装置は、

上記寄付処理装置から上記ネットワークを介して送信された上記寄付データを受け、当該寄付データを上記コンテンツに対応付けて記憶する記憶手段と、

上記寄付データに応じた金額を上記寄付処理装置のユーザに対して課金する課金処理手段とを具え、

該課金処理手段は更に、上記寄付データに応じた上記金額を、上記コンテンツを供給するユーザに対応するユーザ情報に加算するようになし、上記ユーザ情報からは上記コンテンツを供給する際に発生するサービス利用料が課金されてなることを特徴とする寄付処理システム。

THIS PAGE BLANK (USPTO)

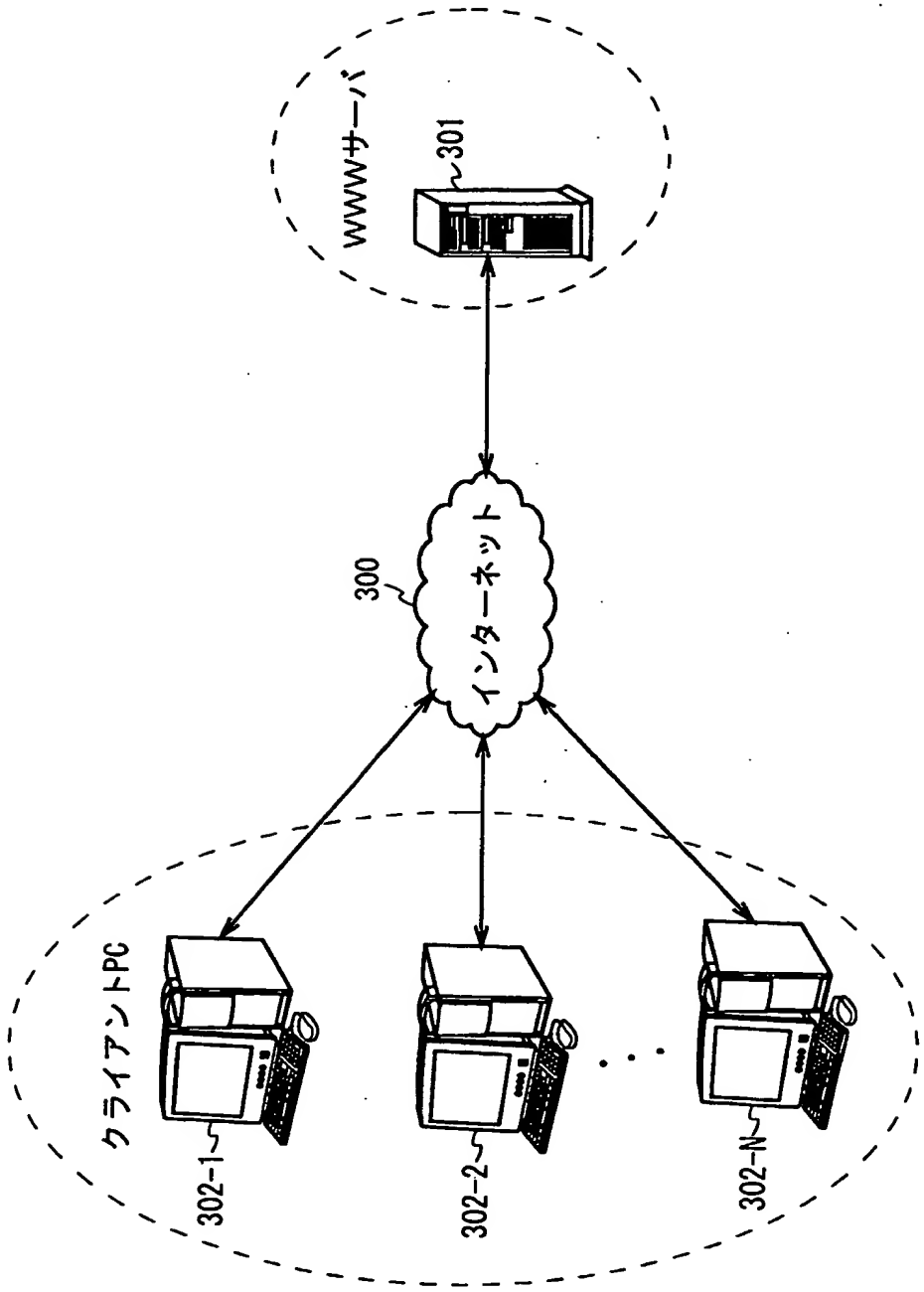


図 1

THIS PAGE BLANK (USPTO)

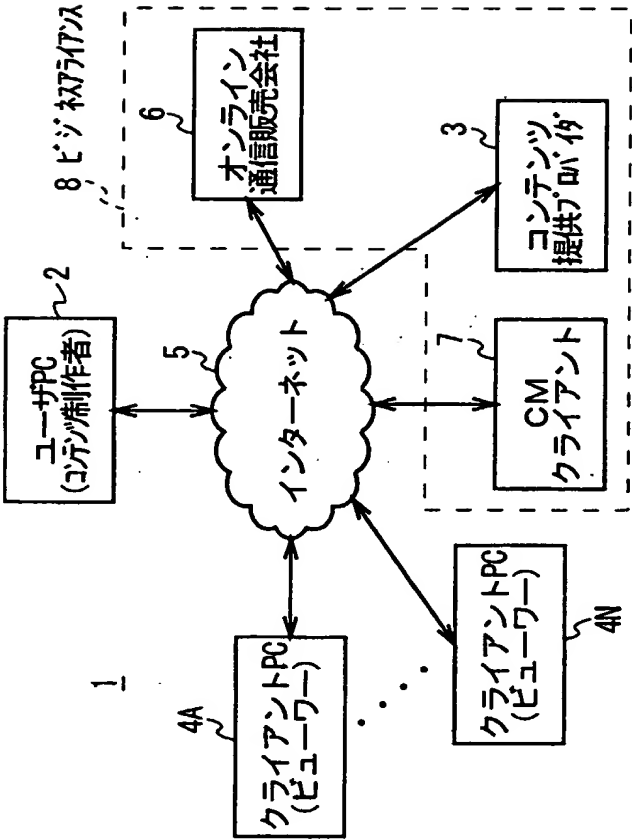


図 2

THIS PAGE BLANK (USPTO)

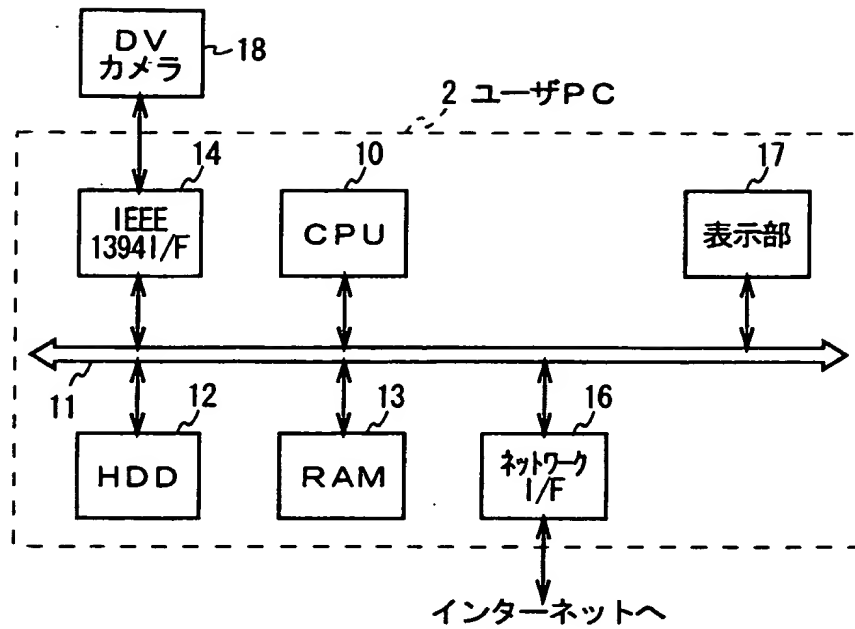


図 3

19

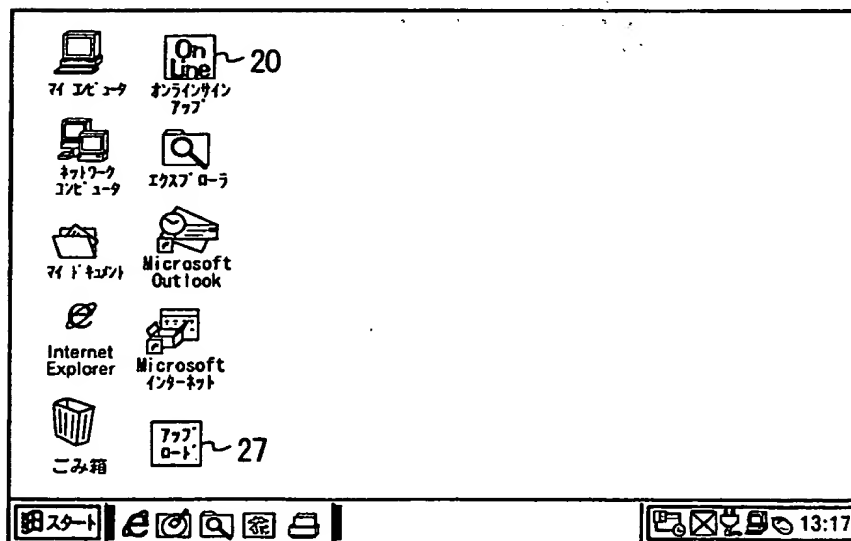


図 4

THIS PAGE BLANK (USPTO)

21

パーソナルキャスティングサービス申し込み
ユーザ情報登録

氏名 住所 電話番号 電子メールアドレス 生年月日 クレジットカード番号 第1希望ユーザID 第2希望ユーザID 第3希望ユーザID 希望チャンネル名 パスワード パスワード確認 申し込みサービス 使い放題コース ビギナーコース	木村太郎 東京都品川区北品川... 03-5448-XXXX Kim@... 1985年12月18日 XXXX XXXX XXXX XXXX Kimukimu Kimura Taro 木村Ch ***** ***** ○
--	--

22〜キャンセル

申し込み23

図 5

25

氏名 住所 電話番号 電子メールアドレス 生年月日 クレジットカード番号 第1希望ユーザID 第2希望ユーザID 第3希望ユーザID 希望チャンネル名 パスワード パスワード確認 申し込みサービス 使い放題コース ビギナーコース	木村太郎 東京都品川区北品川... 03-5448-XXXX Kim@... 1985年12月18日 XXXX XXXX XXXX XXXX Kimukimu Kimura Taro 木村Ch ***** ***** ○
--	--

図 6

THIS PAGE BLANK (USPTO)

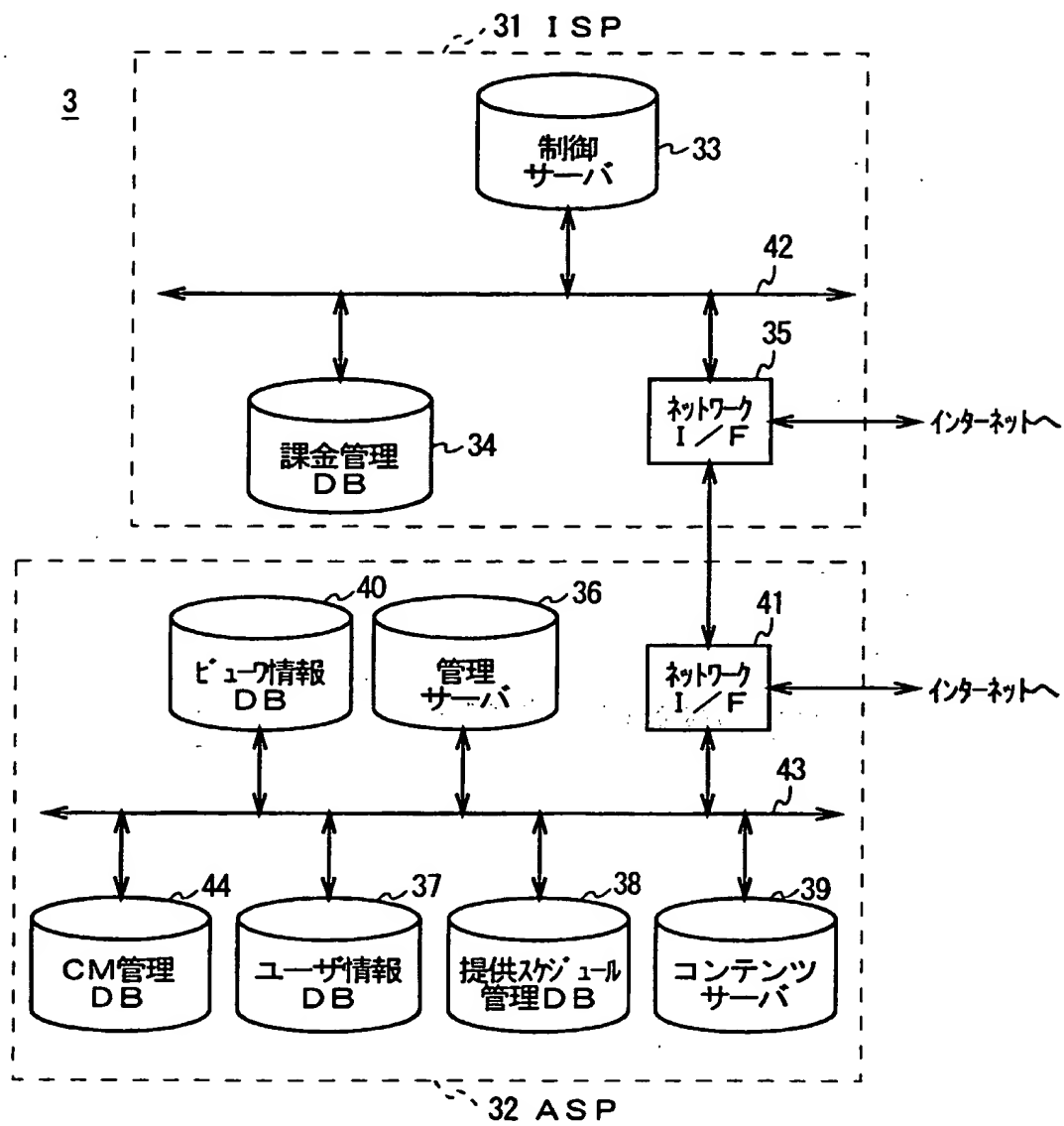


図 7

THIS PAGE BLANK (USPTO)

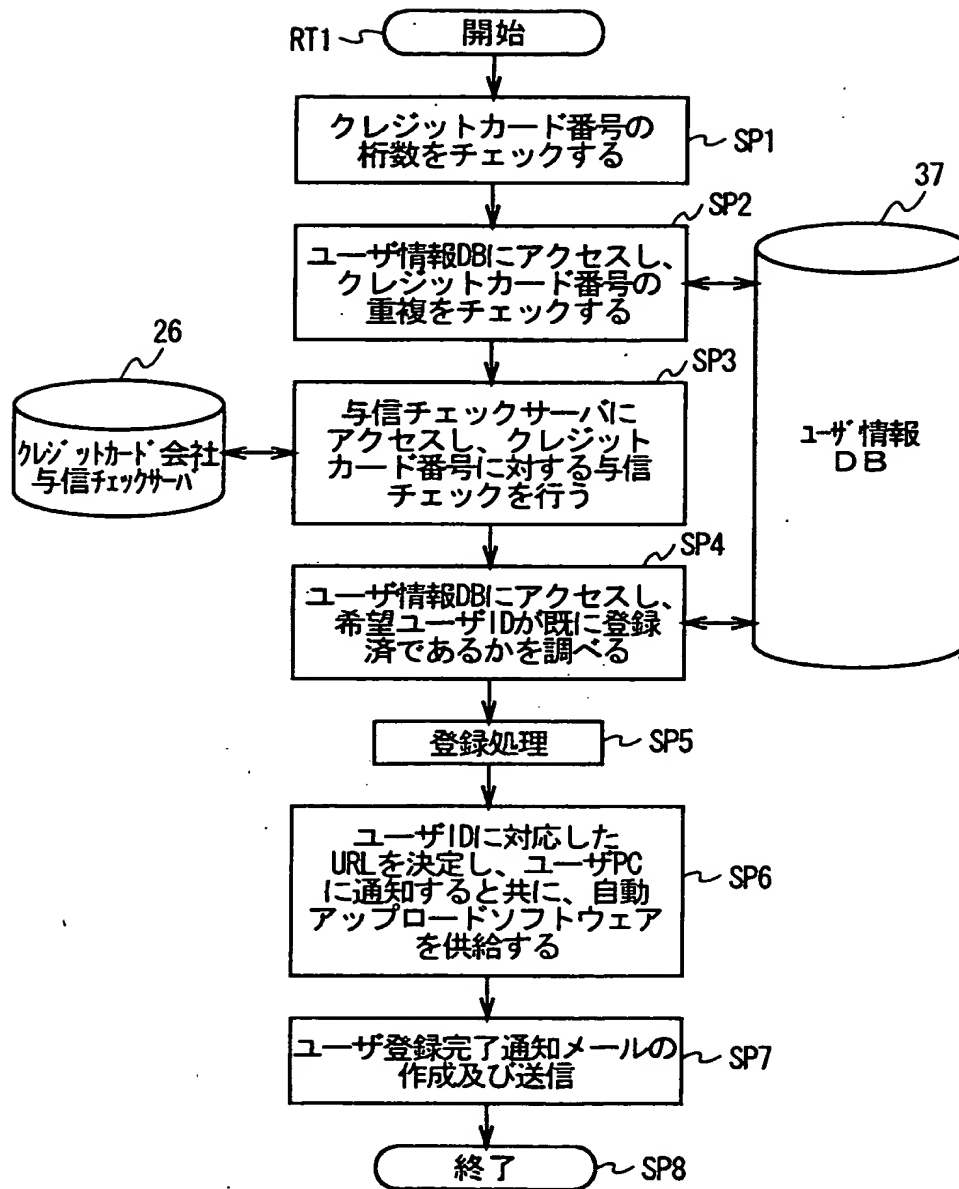


図 8

THIS PAGE BLANK (USPTO)

45

ユーザ情報DBテーブル
ユーザID: Kimukimu
チャンネル名: 木村Ch
URL: www//xxx.xxx.
パスワード: *****
氏名: 木村太郎
住所: 東京都品川区北品川...
電話: 03-5448-XXXX
電子メールアドレス: kim@....
生年月日: 1985年12月18日
クレジットカード番号: XXXX XXXX XXXX XXXX
申し込みサービス種別: 使い放題コース
累積ポイント数: XXXXP
ユーザステータス: ステージ1
接続開始日時: ○月×日△△時××分○○秒
接続終了日時: △月○日××時△△分××秒
インターネット接続料: XXXX円
サービス利用料: XXXX円

図 9

50

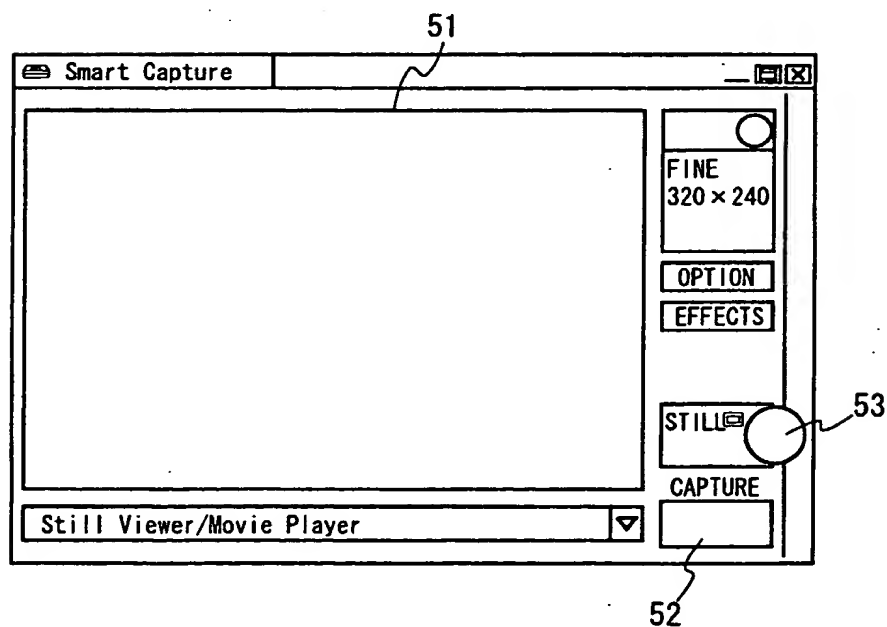


図 10

THIS PAGE BLANK (USPTO)

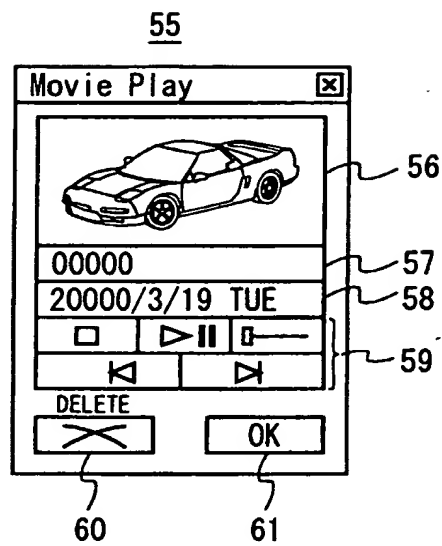


図 1 1

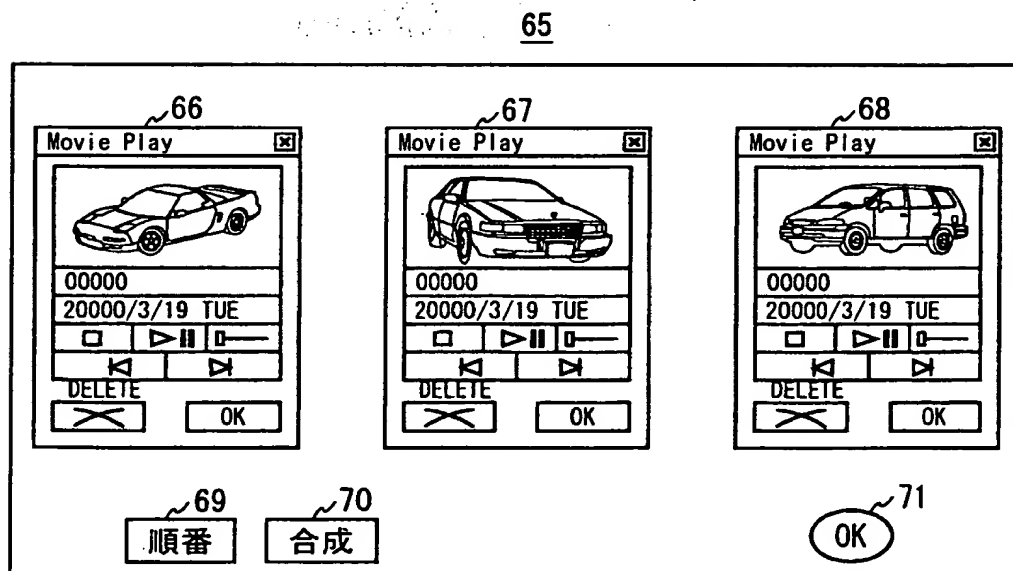


図 1 2

THIS PAGE BLANK (USPTO)

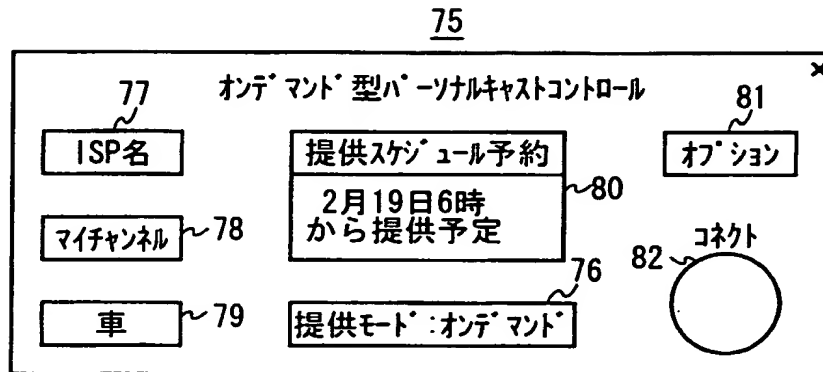


図 1 3

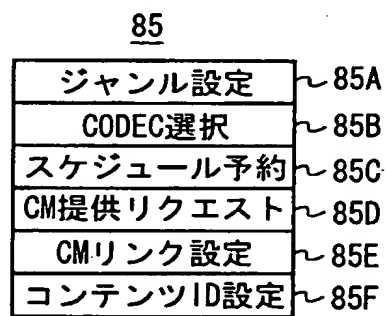


図 1 4

THIS PAGE BLANK (USPTO)

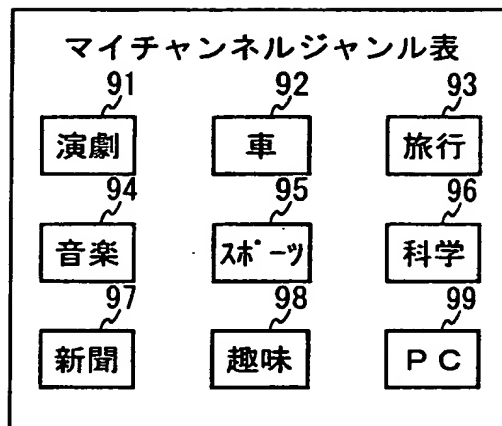
90

図 1 5

100

図 1 6

THIS PAGE BLANK (USPTO)

105

オンデマンド型提供スケジュール管理

106 カレンダー表示エリア 107 映像リスト表示エリア 108 スケジュール内容表示エリア

<p>2月</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td></tr> <tr><td>⑬</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td></tr> <tr><td>⑳</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td></tr> <tr><td>㉗</td><td>28</td><td>29</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>		1	2	3	4	5	⑥	7	8	9	10	11	⑬	14	15	16	17	18	⑳	21	22	23	24	25	㉗	28	29				<p>ムービーリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MA: 4WD ・MB: スポーツカー ・MC: セダン 	<p>2月19日の提供スケジュール</p> <p>6-7-8-9-10-11...21-22-23-24</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">MA</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">MB</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">MA</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">MC</td> <td style="padding: 0 10px;">...</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">MB</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">MA</td> </tr> </table>	MA	MB	MA	MC	...	MB	MA
	1	2	3	4	5																																		
⑥	7	8	9	10	11																																		
⑬	14	15	16	17	18																																		
⑳	21	22	23	24	25																																		
㉗	28	29																																					
MA	MB	MA	MC	...	MB	MA																																	

109

決定

110

確認

111

更新

図 1 7

115

CMを希望する	115A
CMを希望しない	115B

図 1 8

116

CMリンク有	116A
CMリンク無	116B

図 1 9

THIS PAGE BLANK (USPTO)

117

コンテンツID入力欄

117A

図 2 0

120

ISP接続先	: ***** (ISP名)
ASPチャンネル	: マイチャンネル
URL	: WWW//XXX. XXX.
コンテンツID	: ***
CODEC	: MPEG4
映像ジャンル	: 車
提供スケジュール	: 2月19日6時から提供予定
CMリクエスト	: CM有
CMリンク	: CMリンク無
ユーザーID	: kimukimu
パスワード	: *****

図 2 1

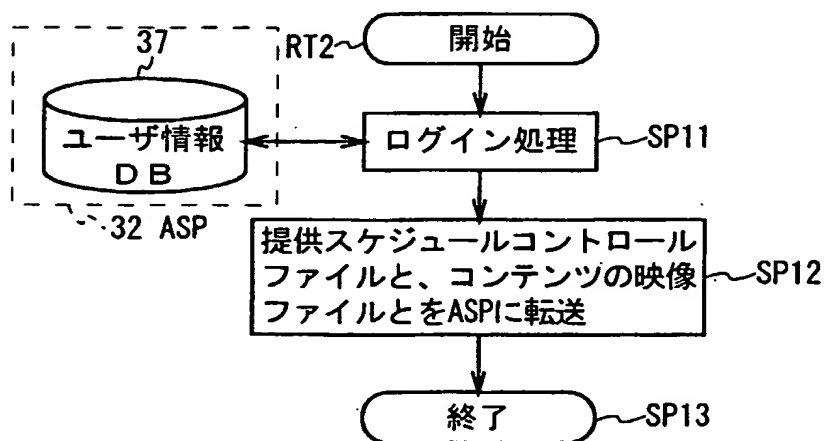


図 2 2

THIS PAGE BLANK (USPTO)

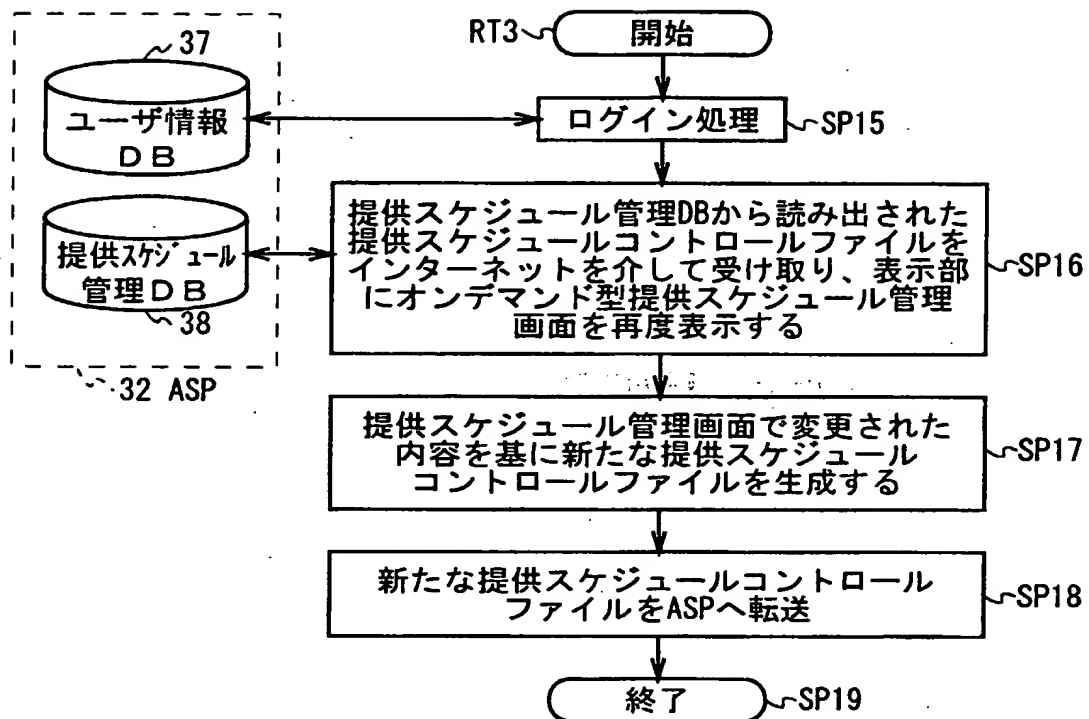


図 2 3

THIS PAGE BLANK (USPTO)

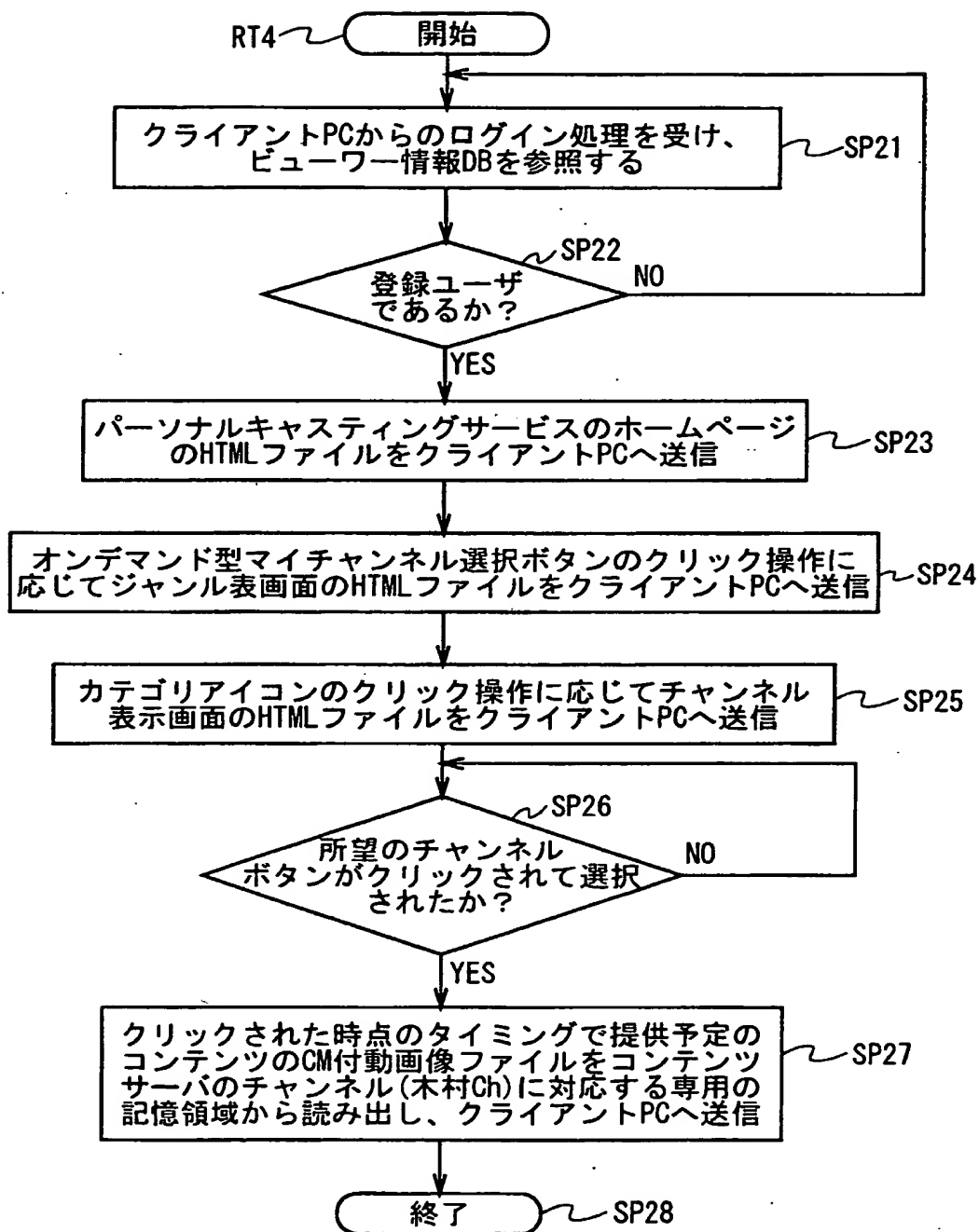


図 2 4

THIS PAGE BLANK (USPTO)

125

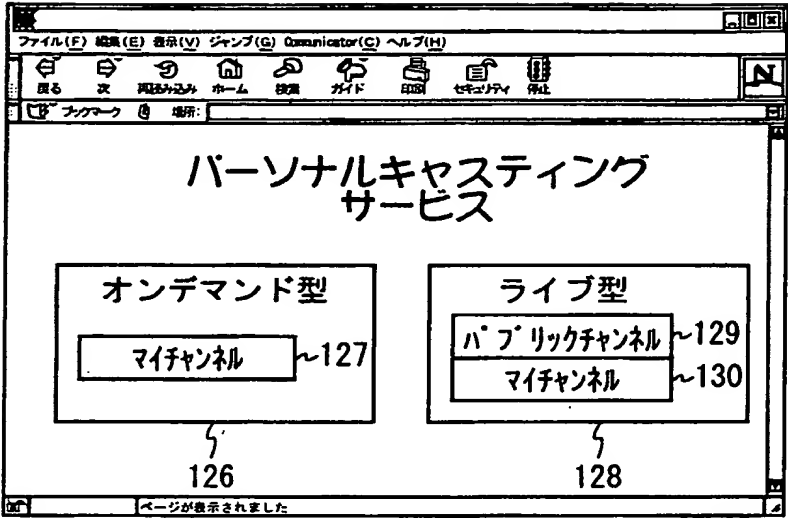


図 2 5

135

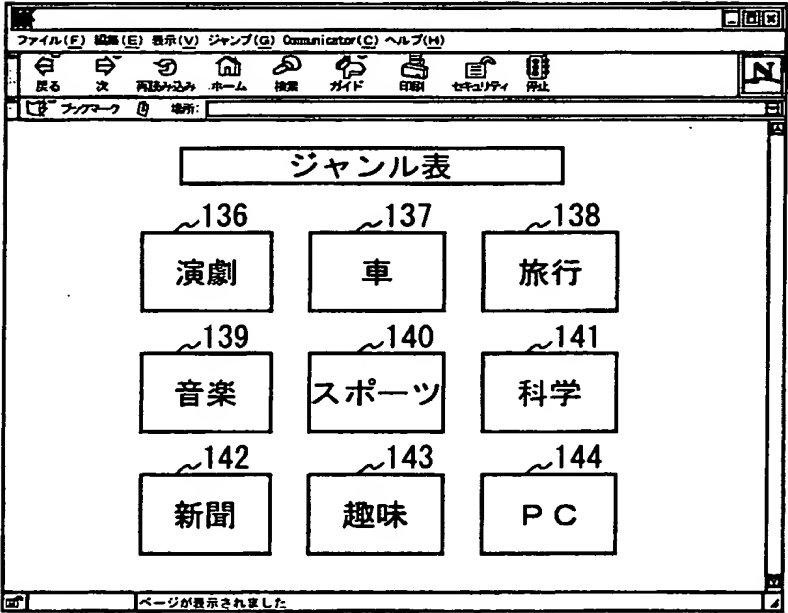


図 2 6

THIS PAGE BLANK (USPTO)

150

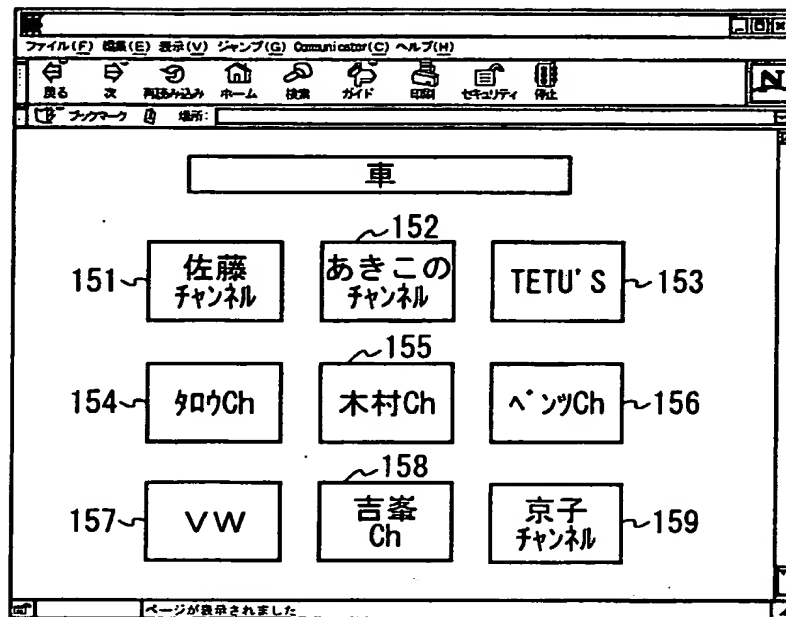


図 2 7

165

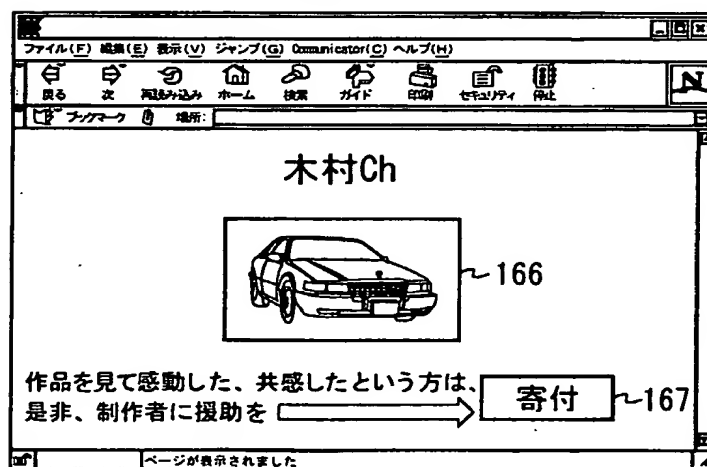


図 2 8

THIS PAGE BLANK (USPTO)

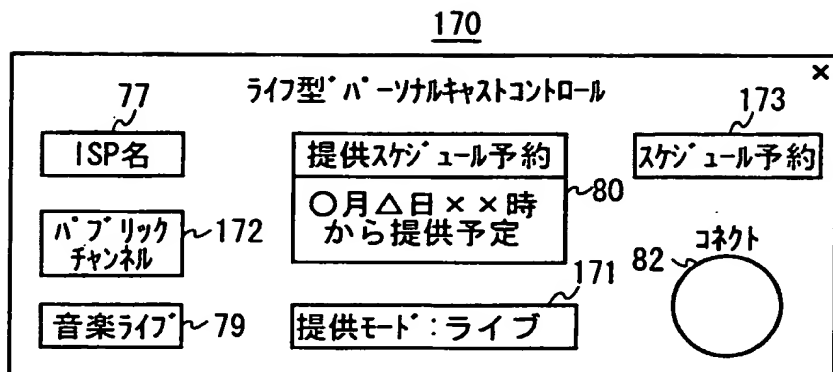


図 2 9

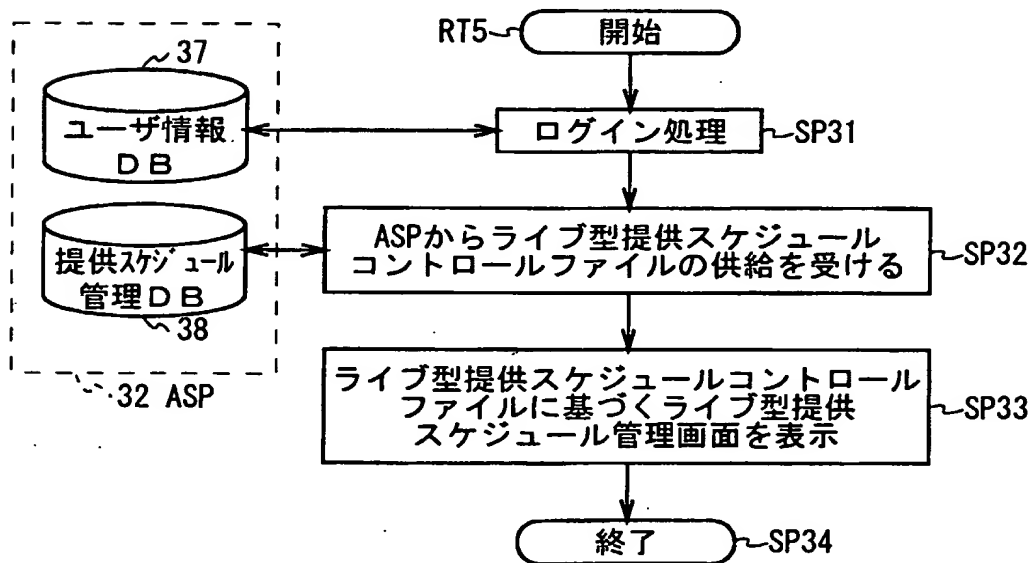


図 3 0

THIS PAGE BLANK (USPTO)

175

パブリックチャンネル

176 結婚式 音楽ライブ 177

178 演劇ライブ イベントライブ 179

181 音楽ライブチャンネル 182 180

2月 1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29

2月19日の提供スケジュール
6-7-8-9-10-11-12.....21-22-23-24

満 空 満 183A

コンテンツ名称記入欄 X X ツアー 183B

CODEC ☒ MPEG4
☐ MPEG2
☐ RealG2 184

CMを希望する 185
CMを希望しない 186

予約 187

マイチャンネル 188

ページが読み込まれました

図 3 1

ISP接続先	: ***** (ISP名)
ASPチャンネル	: パブリックチャンネル
コンテンツ名称	: X X ツアー
CODEC	: MPEG4
パブリックチャンネル	: 音楽ライブチャンネル
提供スケジュール	: 2月19日10時から提供予定
CMリクエスト	: CM有
ユーザーID	: kimukimu
パスワード	: *****

189

図 3 2

THIS PAGE BLANK (USPTO)

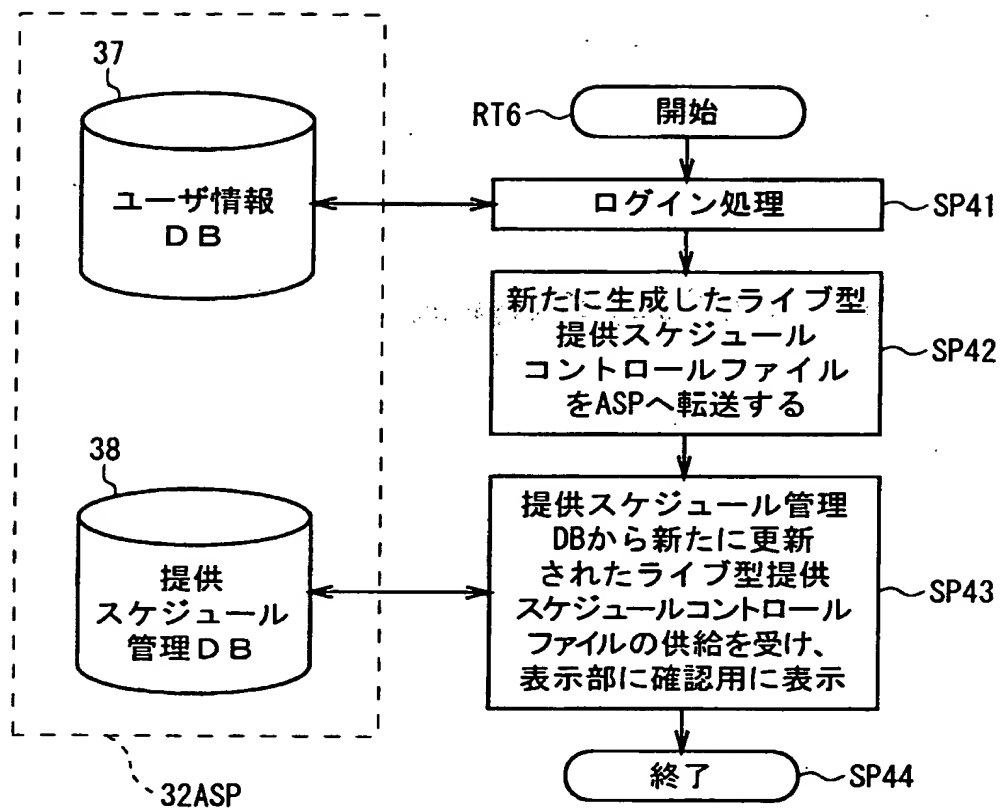


図 3 3

THIS PAGE BLANK (USPTO)

190

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ジャンプ(G) Communicator(C) ヘルプ(H)

戻る 次 再読み込み ホーム 検索 ガイド 印刷 セキュリティ 停止

アドレスバー: フォーマット 場所:

~192

2月

1	2	3	4	5		
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29				

マイチャンネル

2月19日の提供スケジュール

6-7-8-9-10-11-12 21-22-23-24

MA	:	:	空	MB
----	---	---	---	----

194A 194

~195

マイチャンネルジャンル表

演劇	車	旅行
音楽	スポーツ	科学
新聞	趣味	PC

CODEC

☒ MPEG4

☐ MPEG2

☐ RealG2

CMを希望する

CMを希望しない

予約

ページが表示されました

図 3 4

210

ISP接続先	: ***** (ISP名)
ASPチャンネル	: マイチャンネル
CODEC	: MPEG4
映像ジャンル	: 音楽
提供スケジュール	: 2月19日10時から提供予定
CMリクエスト	: CM有
ユーザーID	: kimukimu
パスワード	: *****

図 3 5

THIS PAGE BLANK (USPTO)

212

ご希望の時間帯枠は
概に予約一杯です。
他の時間帯をお選び下さい。

図 3 6

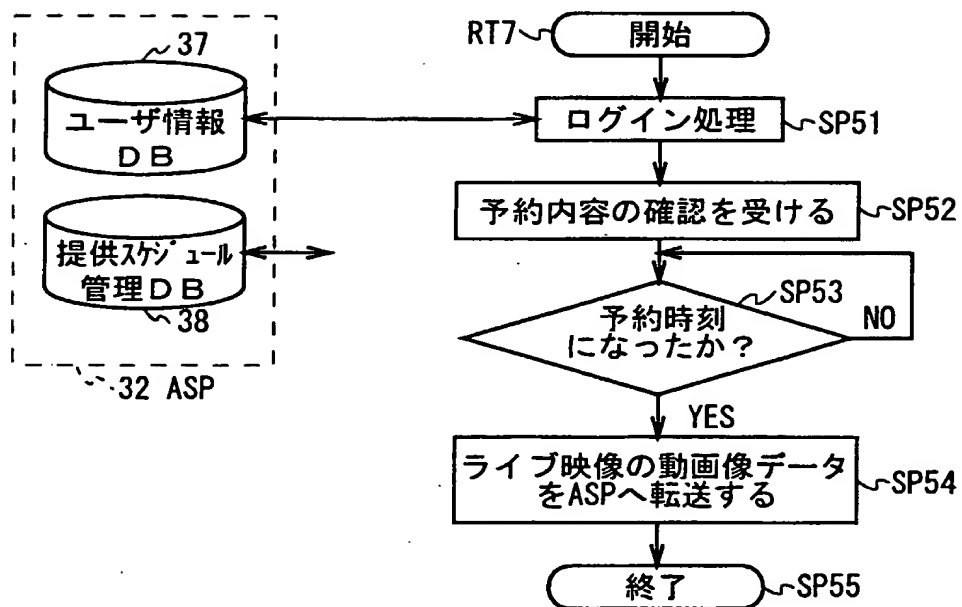


図 3 7

THIS PAGE BLANK (USPTO)

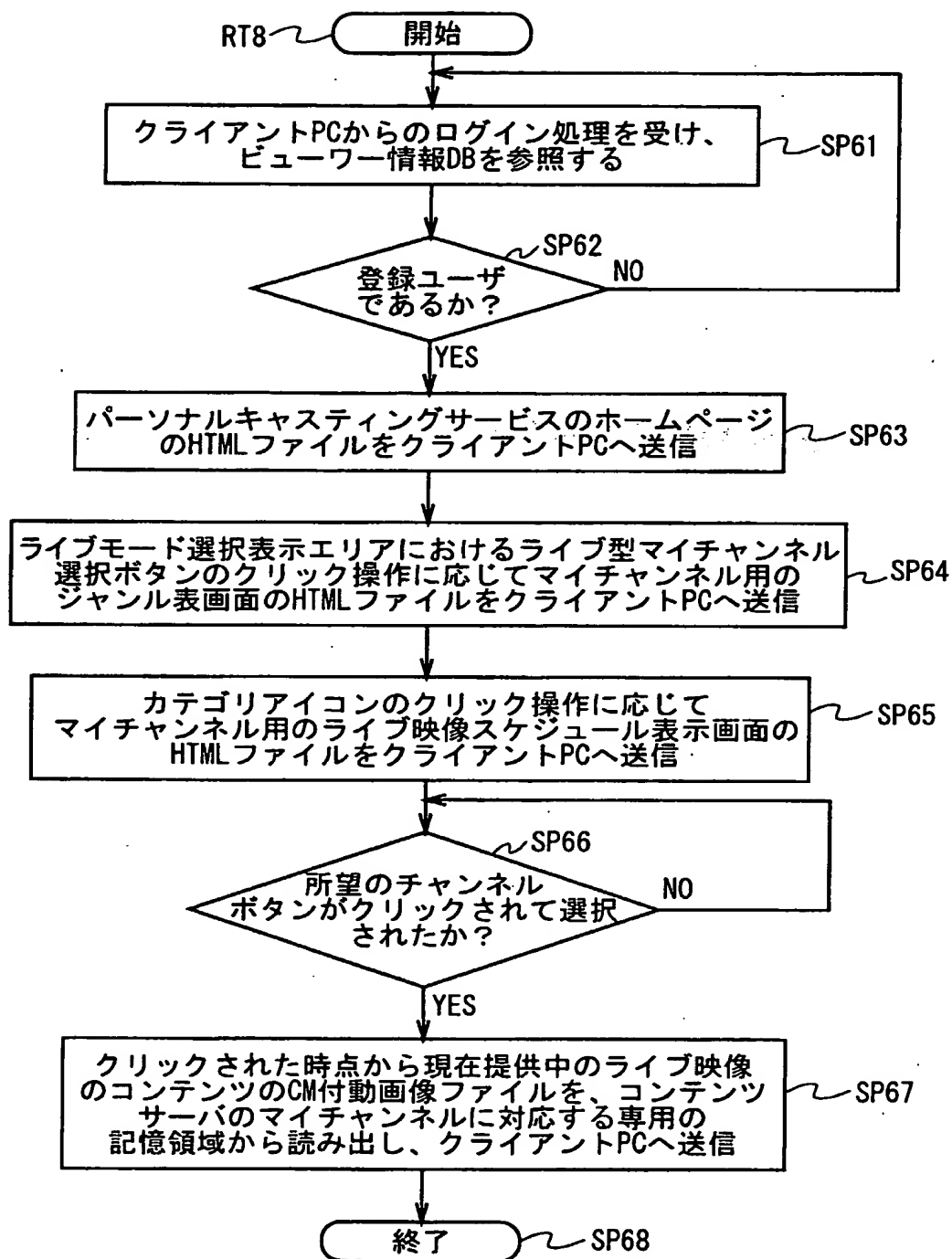


図 3 8

THIS PAGE BLANK (USPTO)

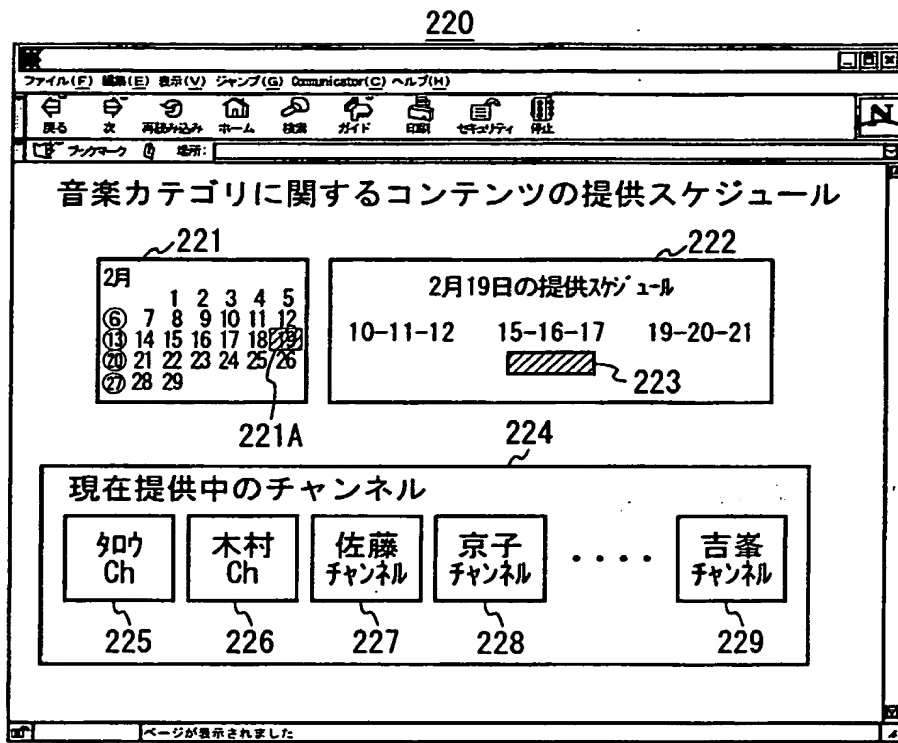


図 3 9

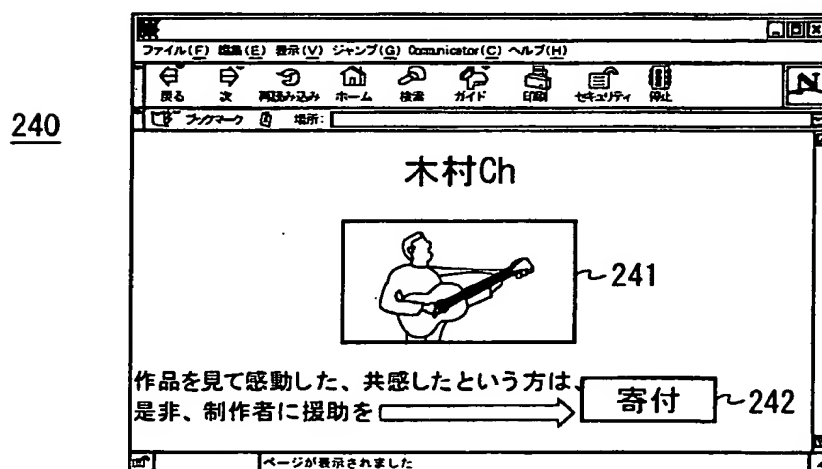


図 4 0

THIS PAGE BLANK (USPTO)

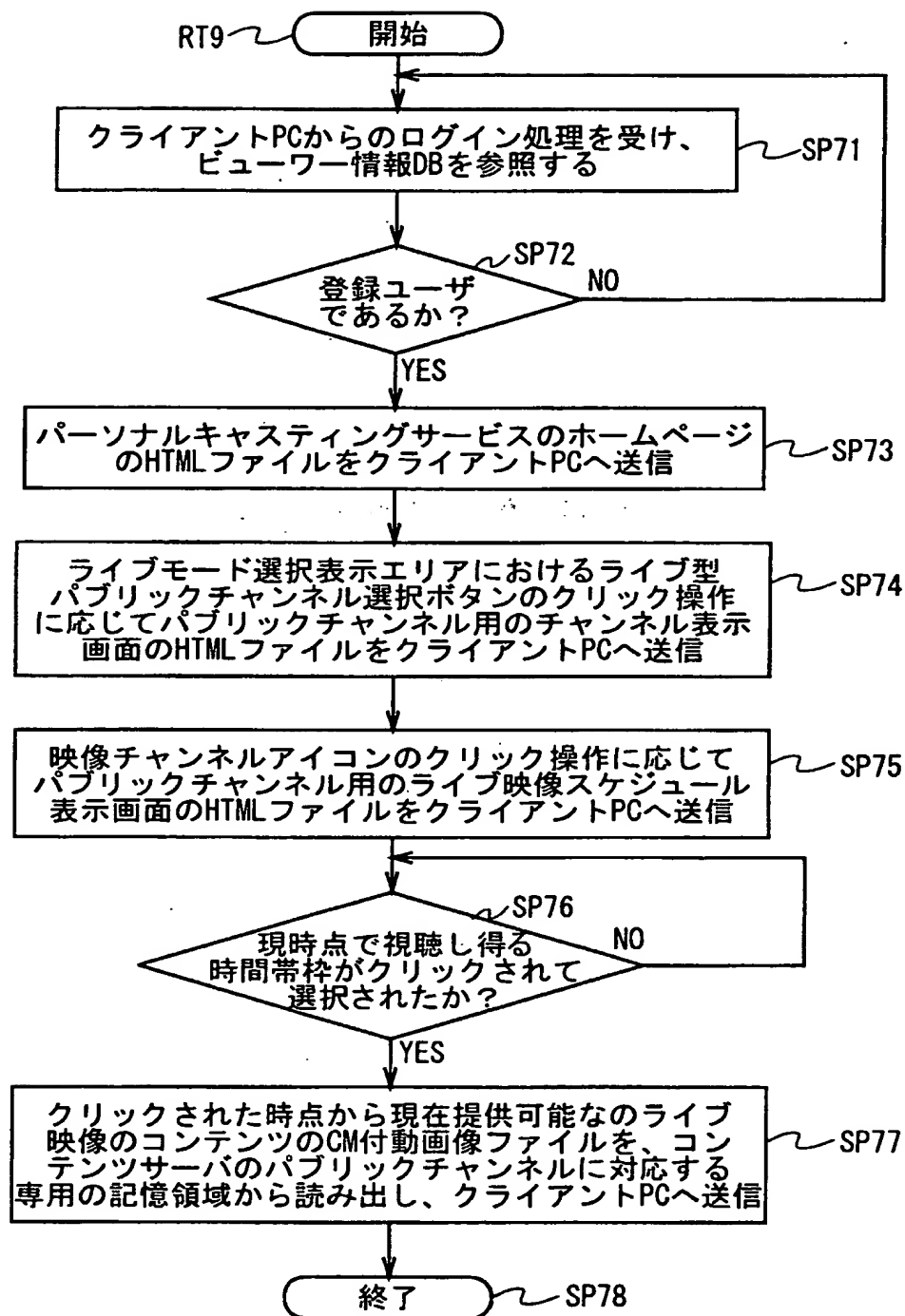


図 4 1

THIS PAGE BLANK (USPTO)

245

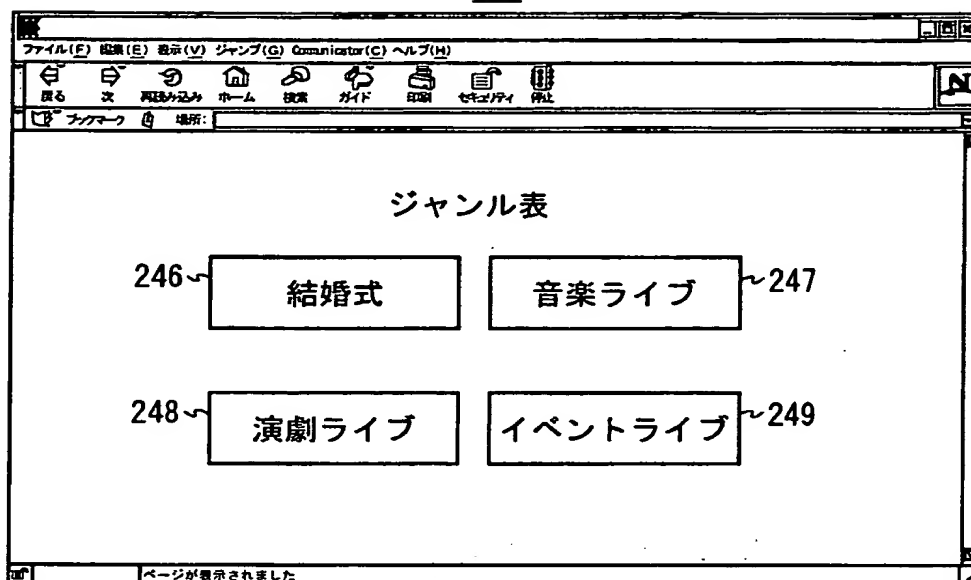


図 4 2

255

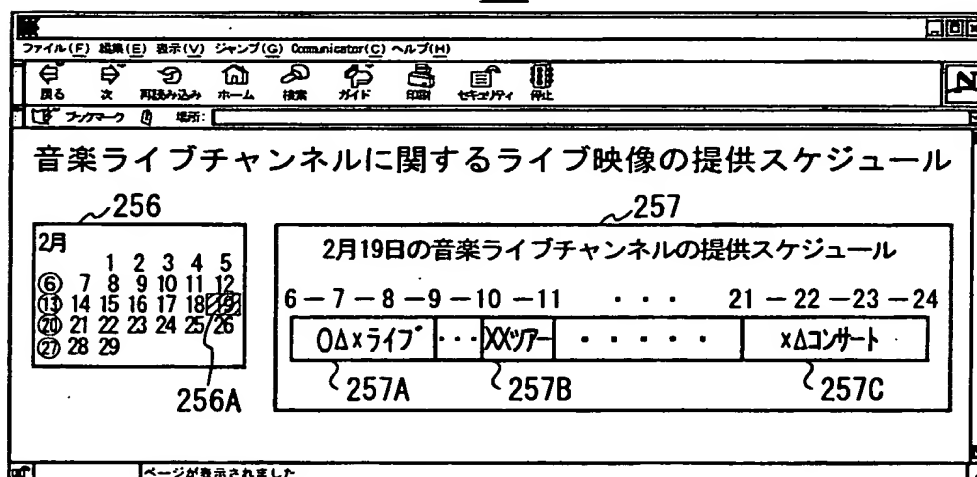


図 4 3

THIS PAGE BLANK (USPTO)

260

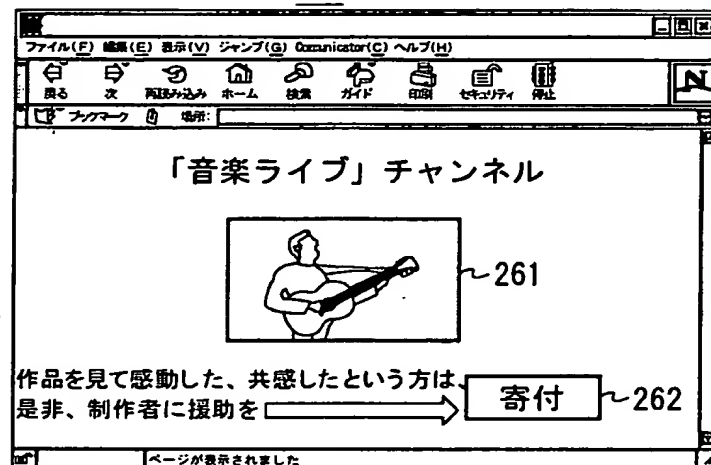


図 4 4

270

500円	~ 271
1000円	~ 272
2000円	~ 273
5000円	~ 274
8000円	~ 275
10000円	~ 276

図 4 5

THIS PAGE BLANK (USPTO)

350

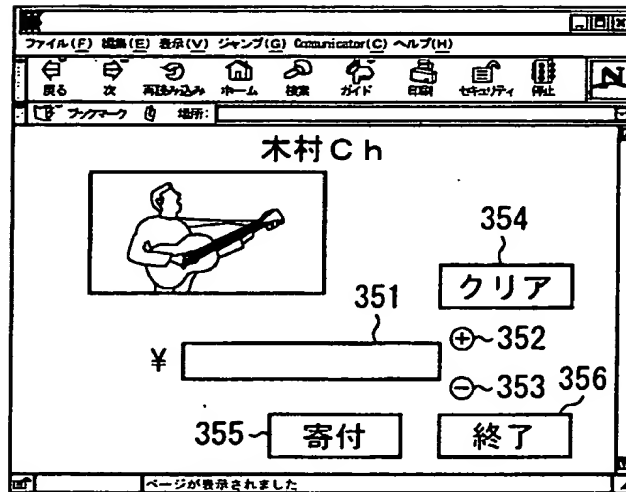


図 4 6

360

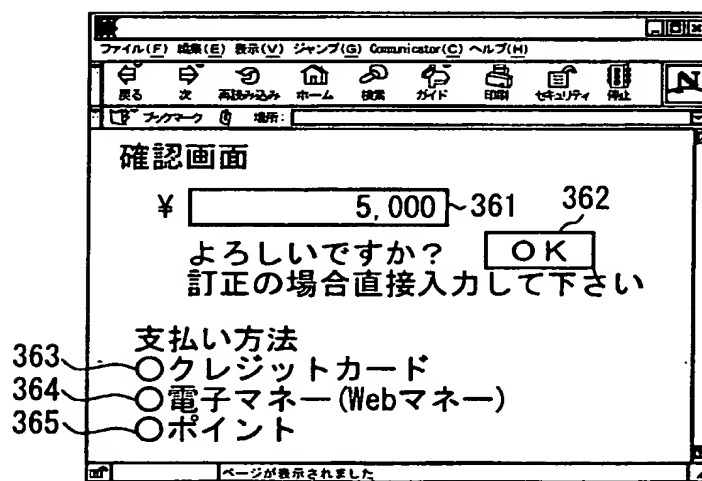
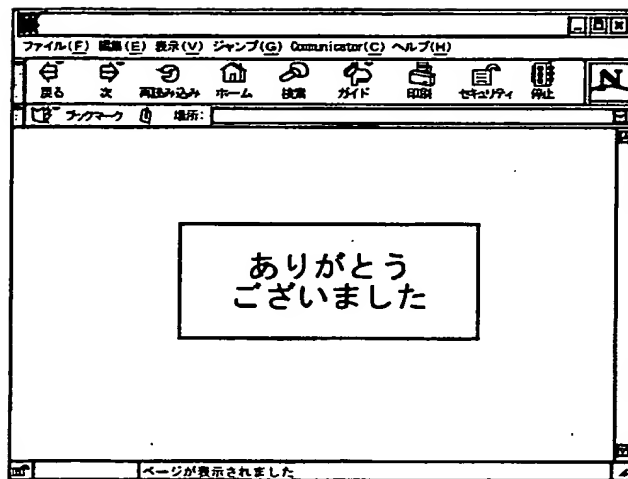


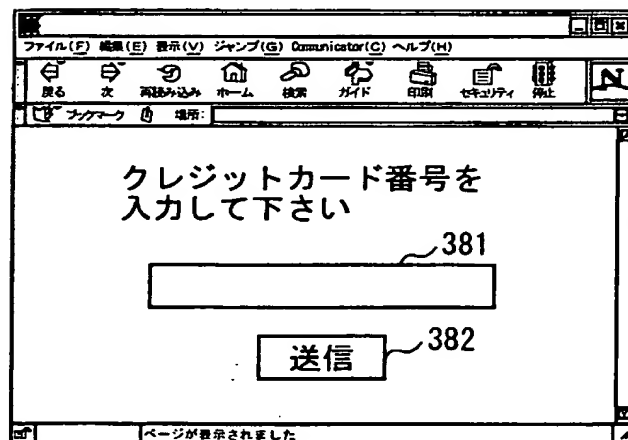
図 4 7

THIS PAGE BLANK (USPTO)



370

図 4 8



380

図 4 9

THIS PAGE BLANK (USPTO)

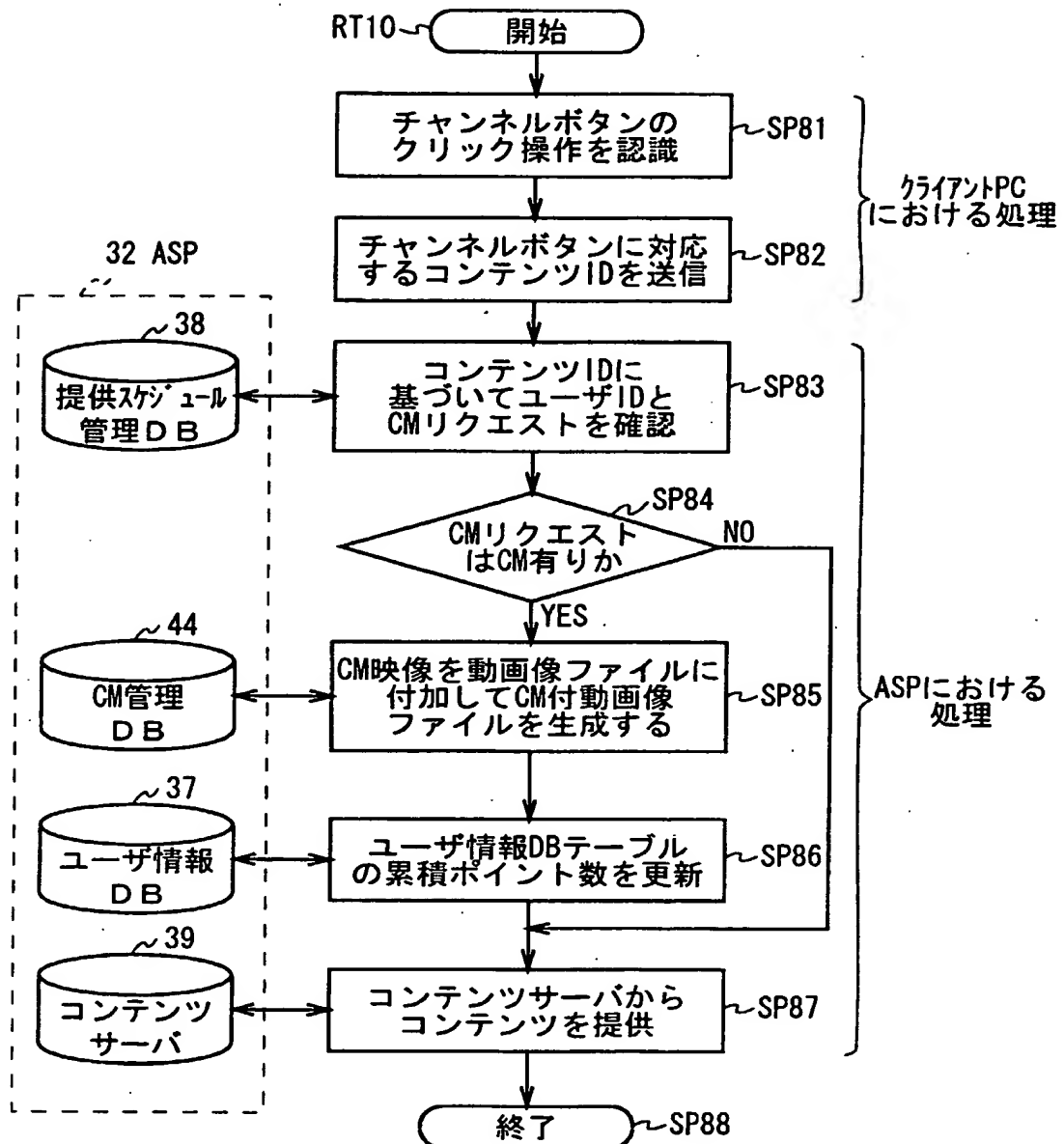


図 5 0

THIS PAGE BLANK (USPTO)

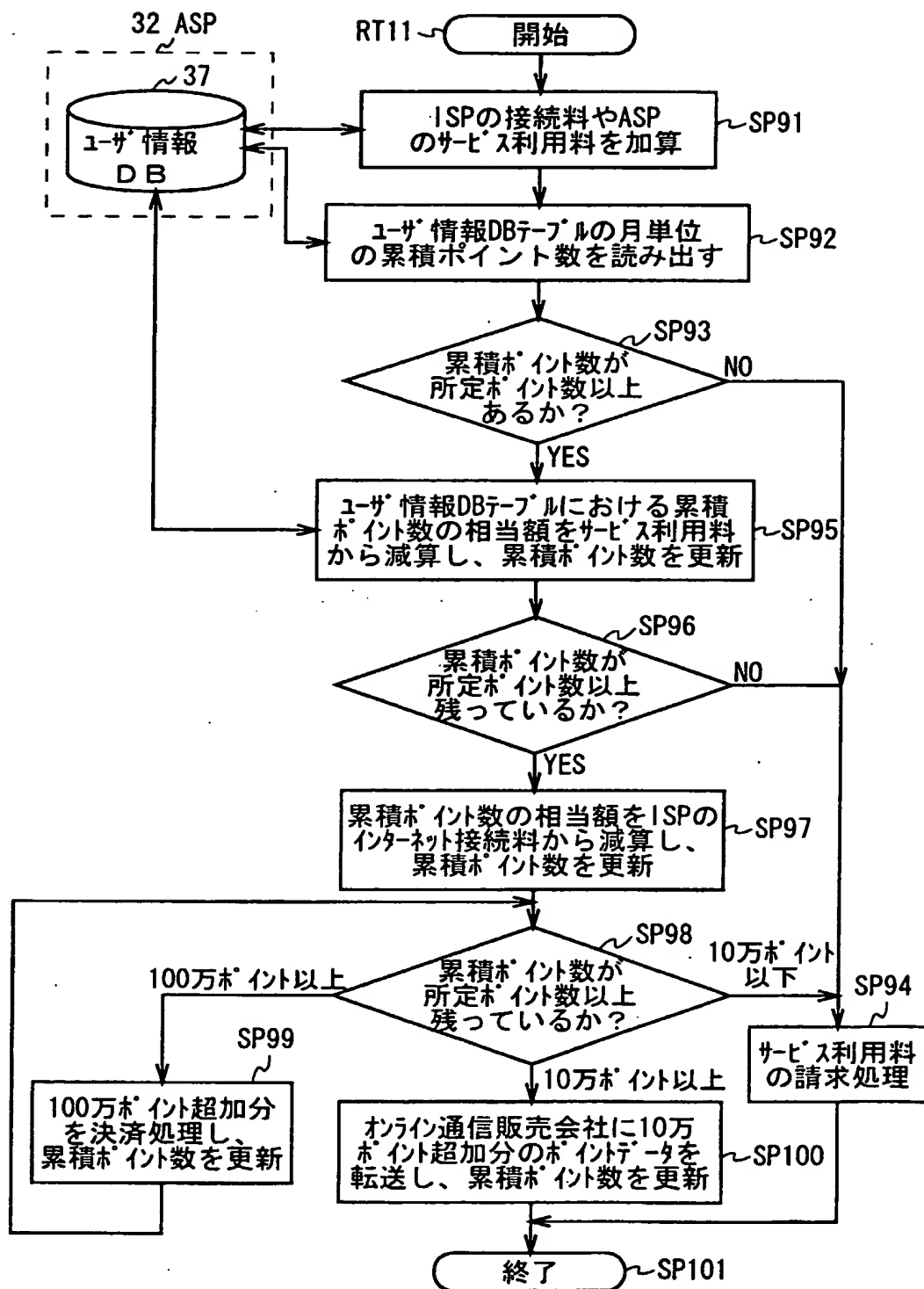


図 5 1

THIS PAGE BLANK (USPTO)

400

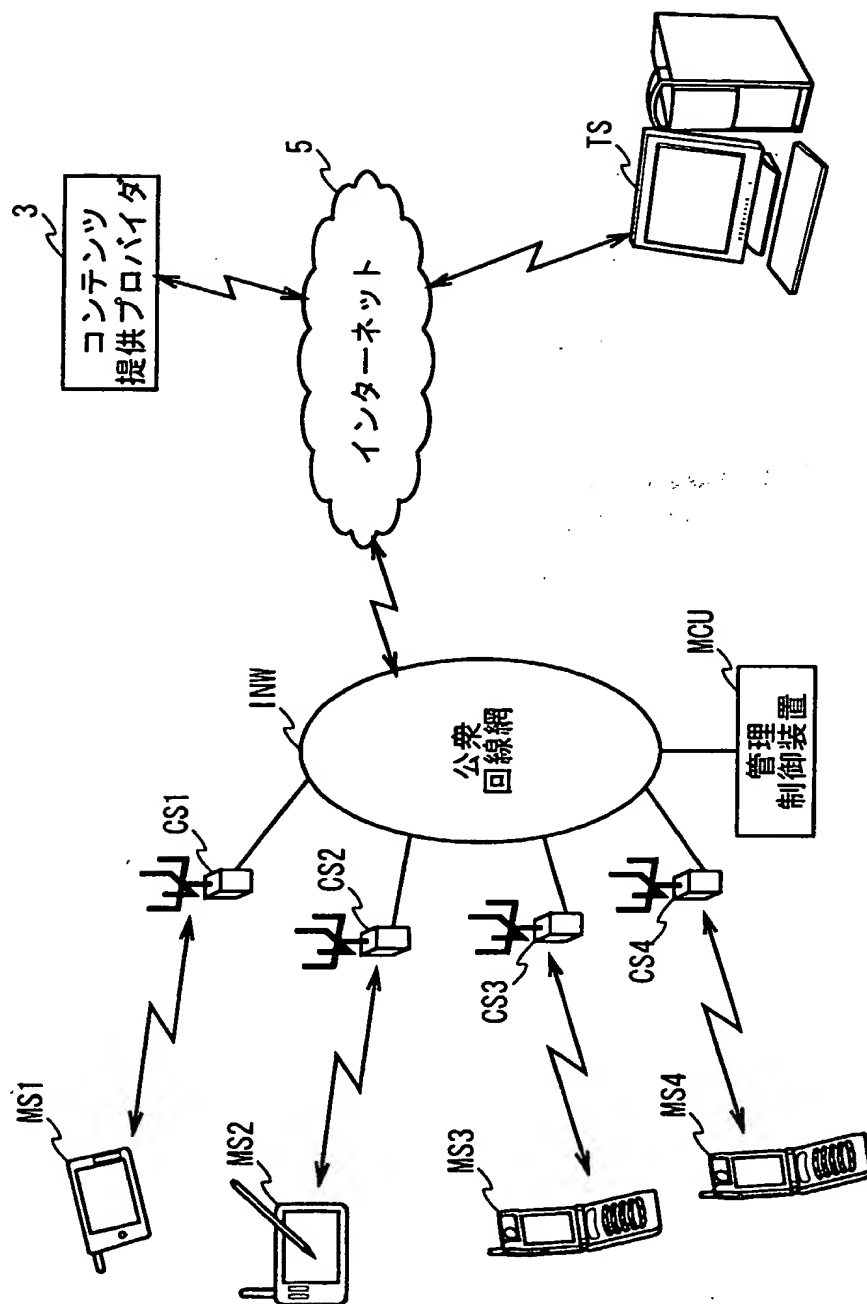


図52

THIS PAGE BLANK (USPTO)

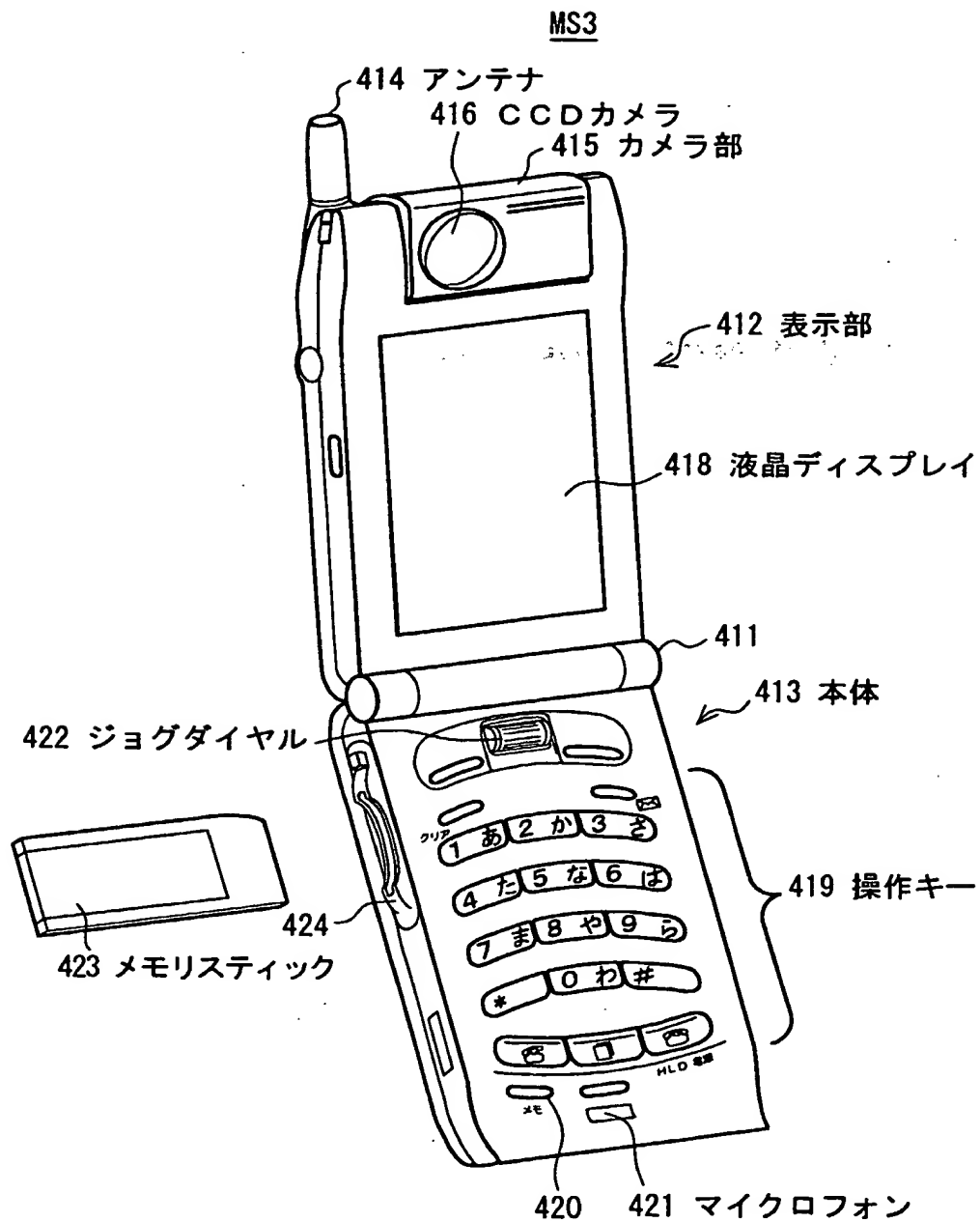


図 5 3

THIS PAGE BLANK (USPTO)

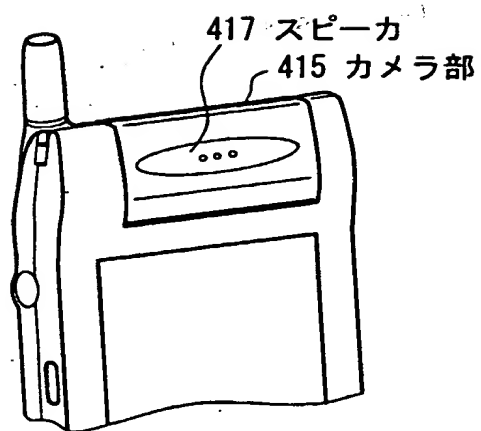


図 5 4

THIS PAGE BLANK (USPTO)

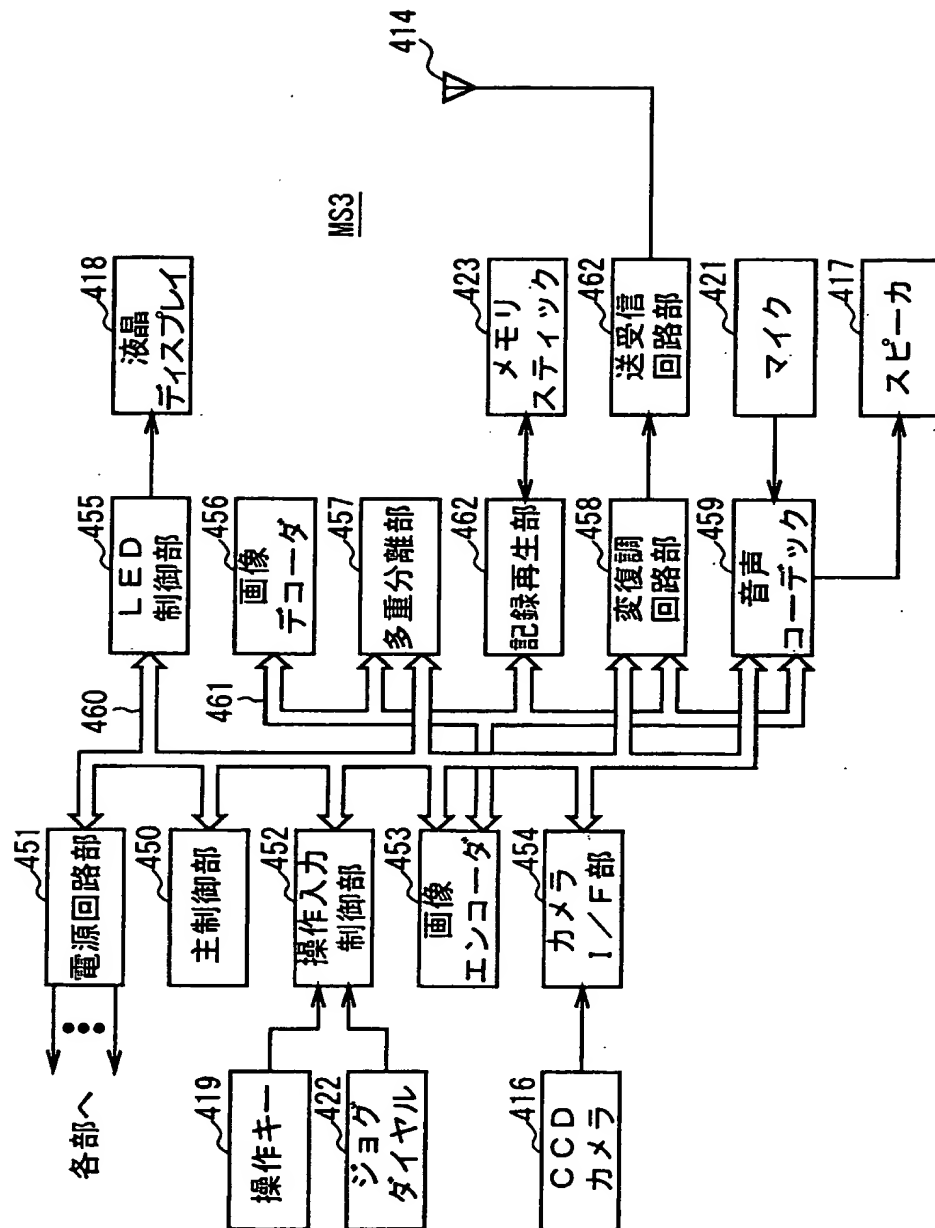


図 55

THIS PAGE BLANK (USPTO)

符 号 の 説 明

1 ……コンテンツ提供サービスシステム、2 ……ユーザPC、3 ……コンテンツ提供プロバイダ、4 ……クライアントPC、5 ……インターネット、6 ……オンライン通信販売会社、7 ……CMクライアント、10 ……CPU、11 ……バス、12 ……HDD、14 ……IEEE 1394 インターフェース、16、35、41 ……ネットワークインターフェース、17 ……表示部、31 ……ISP、32 ……ASP、33 ……制御サーバ、34 ……課金管理データベース、36 ……管理サーバ、37 ……ユーザ情報DB、38 ……提供スケジュール管理DB、39 ……コンテンツサーバ、40 ……ビューワー情報DB、44 ……CM管理DB、45 ……ユーザ情報DBテーブル

THIS PAGE BLANK (USPTO)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP01/02407

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ G06F17/60

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ G06F17/60

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2001
 Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2001 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2001

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

PR Newswire (DAILOG File 613)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP, 10-508708, A (First Virtual Holdings Incorporated), 25 August, 1998 (25.08.98), & WO, 9608783, A1 & AU, 9536309, A & EP, 791202, A1 & AU, 696475, B & US, 5826241, A & NZ, 293783, A & AU, 9897038, A	1-23
Y	JP, 09-171504, A (Sony Corporation), 30 June, 1997 (30.06.97) (Family: none) page 10, Column 17, line 14 to page 11, Column 19, line 34; Figs. 28, 29	1-23
Y	"PNN Online: Technology: Online foundations funnels grants to nonprofits" [online] Philanthropy News Network, 15 October, 1999 (15.10.99), [20 April, 2001 (20.04.01)], retrieved from <URL: http://pnnonline.org/technology/egrants1015.cfm >	1-23
Y	"Millions Can Go Online this holiday season to Feed the World's Hungry", PR Newswire [online], 16 December, 1999 (16.12.99), [23 April, 2001 (23.04.01)],	1-23

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not
considered to be of particular relevance"E" earlier document but published on or after the international filing
date"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is
cited to establish the publication date of another citation or other
special reason (as specified)"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other
means"P" document published prior to the international filing date but later
than the priority date claimed"T" later document published after the international filing date or
priority date and not in conflict with the application but cited to
understand the principle or theory underlying the invention"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be
considered novel or cannot be considered to involve an inventive
step when the document is taken alone"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be
considered to involve an inventive step when the document is
combined with one or more other such documents, such
combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
23 April, 2001 (23.04.01)Date of mailing of the international search report
01 May, 2001 (01.05.01)Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP01/02407

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
	Full text retrieved from Dialog On-line Service (File 613: PR Newswire), Dialog accession No. 00233447	
A	JP, 10-222579, A (Sun Microsystems, Inc.), 21 August, 1998 (21.08.98), & EP, 809221, A2	1-23

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))		
Int. Cl ⁷ G06F17/60		
B. 調査を行った分野		
調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))		
Int. Cl ⁷ G06F17/60		
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1922-1996年 日本国公開実用新案公報 1971-2001年 日本国登録実用新案公報 1994-2001年 日本国実用新案登録公報 1996-2001年		
国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語) PR Newswire(DIALOG File 613)		
C. 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP, 10-508708, A (ファースト ヴァーチャル ホールディングス インコーポレイテッド), 25. 8月. 1998(25. 08. 98) & WO, 9608783, A1 & AU, 9536309, A & EP, 791202, A1 & AU, 696475, B & US, 5826241, A & NZ, 293783, A & AU, 9897038, A	1-23
Y	JP, 09-171504, A (ソニー株式会社), 30. 6月. 1997(30. 06. 97) (ファミリーなし) 第10頁第17欄第14行~第11頁第19欄 第34行及び図28, 29	1-23
<input checked="" type="checkbox"/> C欄の続きにも文献が列挙されている。 <input type="checkbox"/> パテントファミリーに関する別紙を参照。		
* 引用文献のカテゴリー 「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す) 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 の日の後に公表された文献 「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」 同一パテントファミリー文献		
国際調査を完了した日 23. 04. 01	国際調査報告の発送日 01.05.01	
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/J P) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 菅原 浩二 電話番号 03-3581-1101 内線 3560	

C (続き) . 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリ*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	"PNN Online: Technology: Online foundations funnels grants to nonprofits"[オンライン] Philanthropy News Network, 15. Oct. 1999(15. 10. 99)[取得日 20. 4月. 2001(20. 04. 01)]インターネットで下記から取得 <URL: http://pnnonline.org/technology/egrants1015.cfm >	1-23
Y	"Millions Can Go Online this holiday season to Feed the World's Hungry"PR Newswire[オンライン] 16. December. 1999(16. 12. 99)[取得日 23. 4月. 2001 (23. 04. 01)] , Dialog オンラインサービス(File 613: PR Newswire)から全文を取得 Dialog accession No. 00233447	1-23
A	JP, 10-222579, A (サン・マイクロシステムズ・インコーポレーテッド), 21. 8月. 1998(21. 08. 98) & EP, 809221, A2	1-23